

事業報告書

< 令和 6年度 >

(自) 令和6年 4月 1日 ~ (至) 令和7年 3月 31日

社会福祉法人 正 和 会

目 次

I. 法人運営の総括

II. 重点的に推進した事業等報告

1. 理事会・評議員会の運営
2. 安定的かつ継続的な財源確保の報告
3. 経営計画推進本部の運営報告
4. 職員就労意欲の向上と福利厚生の拡充の報告
5. 人事財務本部の事業報告
6. フードプロデュース本部の事業報告
7. 機能訓練本部の事業報告

III. やわらぎの里四施設の運営総括

やわらぎの里清和台

1. 介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉
2. 短期入所生活介護施設運営事業〈ショートステイ〉
3. 通所介護施設運営事業〈デイサービス〉
4. 医務室 医務状況
5. 各委員会の活動報告

やわらぎの里東谷

1. 介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉
2. 短期入所生活介護施設運営事業〈ショートステイ〉
3. 通所介護施設運営事業〈デイサービス〉
4. 医務室 医務状況
5. 各委員会の活動報告

やわらぎの里ぶらす館

1. 介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉
2. 短期入所生活介護施設運営事業〈ショートステイ〉
3. 通所介護施設運営事業〈デイサービス〉
4. 医務室 医務状況
5. 各委員会の活動報告

やわらぎの里西多田

1. 介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉
2. 短期入所生活介護施設運営事業〈ショートステイ〉
3. 通所介護施設運営事業〈デイサービス〉
4. 医務室 医務状況
5. 各委員会の活動報告

令和6年度 事業報告

I. 法人運営の総括

平成15年に設立した『社会福祉法人 正和会』は設立から20年を経過し、本年度も地域福祉の向上に懸命に取り組んで参りました。

様々な課題に直面しながらも恙なく推移できておりますのは、地域のご代表たる役員皆様の熱心なご参画、また、ご利用者様のみならず地域の皆様のご意見やご助言、そして、職員一人ひとりの不断の努力の賜物であることにつきまして、心より御礼申し上げます。

以下、令和6年度の法人全体としての事業運営の結果をご報告申し上げます。

II. 重点的に推進した事業等の報告

1. 理事会・評議員会の運営

法人運営に関わる重要事項を審議、決定される理事会・評議員会の役割は極めて重要であり、日常の業務処理をはじめ一部の事項に関しては、理事長に専決を委ねていますが、理事会・評議員会が法人運営に関する責任と諮問機関として、多くの事項を審議決定して戴いております。

令和5年度におきましても、社会福祉法人としての責務である『公益性』『透明性』『永続性』を更に高め続けるために、理事・評議員各位の貴重なご意見やご助言を賜りました。

次項は、令和5年度における理事会、評議員会におけるご審議の実績でございます。

○令和6年度理事会・評議員会開催実績

☆第1回 令和6年6月1日開催の理事会において

議案第 1号	令和5年度事業報告書について	可決
議案第 2号	令和5年度2次補正予算書について	可決
議案第 3号	令和5年度決算報告書について	可決
議案第 4号	第1回評議員会の招集について	可決

☆第1回 令和6年6月15日開催の評議員会において

議案第 1号	令和5年度事業報告書について	可決
議案第 2号	令和5年度2次補正予算書について	可決
議案第 3号	令和5年度決算報告書について	可決

☆第2回 令和7年3月1日開催の理事会において

議案第 5号	令和7年度事業計画について	可決
議案第 6号	令和6年度補正予算について	可決
議案第 7号	令和7年度当初予算について	可決
議案第 8号	「しせつの損害保険」役員等賠償責任保険契約について	可決
議案第 9号	第2回評議員会の招集について	可決

☆第2回 令和7年3月15日開催の評議員会において

議案第 4号	令和7年度事業計画について	可決
議案第 5号	令和6年度補正予算について	可決
議案第 6号	令和7年度当初予算について	可決
議案第 7号	「しせつの損害保険」役員等賠償責任保険契約について	可決

以上の計4回を開催させていただき、議案9件のご審議を賜りいずれも可決承認戴きましたことを改めて御礼申し上げます。

2. 安定的かつ継続的な財源確保の報告

(1) 稼働率報告

※ 令和4年～令和6年度の平均稼働率実績

<清和台>

4年度 特養：94.40 % ショートステイ：93.17% デイサービス：69.78 %

5年度 特養：97.91 % ショートステイ：92.59% デイサービス：74.83 %

6年度 特養：98.27 % ショートステイ：92.75% デイサービス：75.09 %

<東 谷>

4年度 特養：98.62 % ショートステイ：84.75% デイサービス：79.27 %

5年度 特養：98.11 % ショートステイ：82.73% デイサービス：78.88 %

6年度 特養：99.27 % ショートステイ：83.75% デイサービス：79.14 %

<ぶらす館>

4年度 特養：94.55 % ショートステイ：95.04% デイサービス：73.01 %

5年度 特養：98.59 % ショートステイ：91.47% デイサービス：79.81 %

6年度 特養：99.46 % ショートステイ：92.10% デイサービス：72.01 %

<西多田>

4年度 特養：95.22 % ショートステイ：88.06% デイサービス：80.82 %

5年度 特養：97.18 % ショートステイ：88.96% デイサービス：78.17 %

6年度 特養：98.98 % ショートステイ：88.23% デイサービス：80.54 %

(2) 新たな財源確保の報告

※ 新たな財源確保

上記稼働率の上昇への取り組みの他に、交付金や助成金の積極的な取得に
取り組めます。

「介護職員処遇改善加算金」「介護職員等特定処遇改善加算金」

「ベースアップ等処遇改善加算金」

介護保険改正に伴い「介護職員処遇改善交付金」が廃止になった為、その代わり
なるものです。

令和5年度取得実績 21,474万円 令和6年度取得見込 24,077万円

「その他の助成金」

当法人でも活用できる助成金は積極的に取り組めます。

・結核定期健康診断実施費補助制度	¥368,160
・雇用調整助成金	¥1,980,000
・介護事業者等サービス継続支援事業	¥12,344,000
・介護サービス事業所物価高騰対策支援金	¥6,000,000
・障害者雇用助成金	¥161,000
・EPA等日本語学習助成金	¥3,790,000
・コロナ助成金	¥2,157,380
・処遇改善支援補助金	¥5,801,787

助成金合計 ¥32,602,327

3. 経営計画推進本部の運営報告

令和6年度の運営は、コロナウイルス等感染症に引き続きの対処をしながらも、これまでの豊かな生活を取り戻して頂きながら、新たな取り組みも実施する一年となりました。

引き続き物価や燃料費が大きく高騰し、喜ばしいことながら人件費が著しく向上するなかで、すべての人の福祉を更に向上できるよう、原資に直結する利用率の安定化を図りつつ、引き続きの介護保険外サービスの構築や、社会貢献活動、新たな助成・補助金の獲得を行なってまいりました。

その甲斐の一例として、今期は特養、ショートステイにおいて法人設立以来最高のご利用率を頂戴することができました。この場をお借りし、正和会を選んでご利用頂いている皆様方、そして肝心の支え手であるスタッフの皆さんに心より感謝申し上げます。

また今期は、タブレット機器(i-Pad)を活用した記録システムの活用が始まり、業務効率化がもたらすサービスの質向上につながる、働き方改革にも勤しめた一年でもありました。

これに合わせて、従前から活用開始ができていた眠りSCAN(ベッドに設置したセンサーにより体動や呼吸、心拍などを測定し、睡眠状態を把握するシステム)を連動させ、ご入居者様、ご利用者様の生活リズムの改善や健康状態の把握が可能になったことで、安全安心安楽の向上を図るとともに、スタッフさんの心身負担軽減につながっているものと実感しております。

また、地域貢献、活性化、交流、連携を目的とした、東谷コミュニティーにおけるこども食堂を12回、各所での獅子舞団による演舞を4回など、地域の皆様方とのつながりも深めているところです。

外部への発信力の強化においては様々な取り組みを重ねてきておりますが、現場スタッフさんにSNS担当をお願いした効果も相まって、特にInstagramではとてもメッセージ性の高い発信ができ、ご家族様との交流ツールにもなっております。

すべての福祉向上を目指し、

・3つの常在本部

常在本部①人事財務本部

常在本部②フードプロデュース本部

常在本部③機能訓練本部

(※次頁以降の詳細報告をご参照ください。)

・3つの連携本部

入居連携本部、在宅連携本部、医務連携本部をもって4館の平準化

①ユニットケア、個別ケアの更なる推進

②稼働率安定に向けて、部署間の連携強化による施設力の強化

③様々な分野・人種の人財に対応した教育指導体制と業務マニュアル整備

④無駄のない経費支出や資金繰りなど、より健全な経営管理の確立

⑤「より安全で、よりおいしく」をテーマに食の提供

といった項目について特に、スタッフ全員の経験と知識を結集し、協議と実践を重ねてきた取り組みを、次頁以降で報告させていただきます。

4. 職員就労意欲向上と福利厚生の拡充の報告

(1) 令和6年度の退職者数

清和台(本部含む)

	男子	女子	合計	平均在籍
令和4年度	5名	9名	14名	4年8ヵ月
令和5年度	9名	25名	34名	4年9ヵ月
令和6年度	8名	16名	24名	4年1ヵ月

退職者の在籍期間と退職理由

在籍期間	人数	主な退職理由	
0ヶ月～3ヶ月	4	業務習得困難、業務過多、体調不良	
3ヶ月～1年	7	精神不良、疾患、自己都合、妊娠、転職	
1年～3年	2	高齢、家庭の都合	
3年～5年	4	転職、家庭の事情	
5年～10年	4	家庭の事情、給与面、業務過多	
10年以上	3	転職、高齢、業務過多、家庭の事情、給与面	
合計	24名	平均在籍期間	4年1ヵ月

東谷

	男子	女子	合計	平均在籍
令和4年度	6名	18名	24名	4年5ヵ月
令和5年度	4名	9名	13名	3年8ヵ月
令和6年度	3名	7名	10名	5年2ヵ月

退職者の在籍期間と退職理由

在籍期間	人数	主な退職理由	
0ヶ月～3ヶ月	0		
3ヶ月～1年	1	自信喪失	
1年～3年	2	結婚、転職	
3年～5年	4	家庭の事情、体調不良、金銭面	
5年～10年	2	家庭の事情、転職	
10年以上	1	年齢	
合計	10名	平均在籍期間	5年2ヵ月

ぶらす館

	男子	女子	合計	平均在籍
令和4年度	4名	14名	18名	3年1ヵ月
令和5年度	4名	7名	11名	3年5ヵ月
令和6年度	5名	16名	21名	6年1ヵ月

退職者の在籍期間と退職理由

在籍期間	人数	主な退職理由	
0ヶ月～3ヶ月	1	身体的不調	
3ヶ月～1年	0		
1年～3年	4	身体的不調、体調不良、学業に専念	
3年～5年	3	転職、精神不良	
5年～10年	10	家庭の事情、体調不良、精神不良、転職、Wワーク先が忙しい、年齢	
10年以上	3	転職、年齢、体力不足	
合計	21名	平均在籍期間	6年1ヵ月

西多田

	男子	女子	合計	平均在籍
令和4年度	6名	18名	24名	3年1ヵ月
令和5年度	7名	21名	28名	4年1ヵ月
令和6年度	2名	20名	22名	4年3ヵ月

退職者の在籍期間と退職理由

在籍期間	人数	主な退職理由	
0ヶ月～3ヶ月	3	腰痛、体調不良	
3ヶ月～1年	5	環境に馴染めない、転職、腰痛、精神不良	
1年～3年	1	体力不足	
3年～5年	6	転職、体力不足、病気療養、留学する為	
5年～10年	7	転職、年齢、体力不足、疾患	
10年以上	0		
合計	22名	平均在籍期間	4年3ヵ月

人 事 財 務 本 部

< 令 和 6 年 度 >

(自) 令和6年 4月 1日 ~ (至) 令和7年 3月 31日

社会福祉法人 正 和 会

☆人事財務本部

令和6年度事業報告

今年度は、職員各々がスキルアップを図ると共に、部署内での情報を共有して、しっかりとバックアップできる体制を整えるという観点から下記の4項目を重要課題として活動を行って参りました。

1. 知識と業務の共有

今年度は目標に挙げていた通り施設間の異動や、担当業務の変更等を行い、人事財務施設担当がどの施設でも業務が行える仕組み作りを考えてまいりました。実際に2施設の業務を担当したり、応援等で施設を往来したりと業務の共有を進めております。

また、業務効率化として積極的にオンライン申請を活用し業務の効率化につなげていきました。

2. 収益確保

前年度に引き続き助成金制度等を利用して、法人の収益確保に貢献できるように日頃から情報収集に努め、獲得できる制度は利用出来るよう心掛けてきました。

代表的な助成金

①職員に関する助成金

- | | |
|---------------|--------------|
| ・特定求職者雇用開発助成金 | ・トライアル雇用助成金 |
| ・高齢者雇用安定助成金 | ・健康管理支援事業補助金 |

②施設に関する助成金

- | | |
|-----------|--------------------|
| ・光熱費高騰助成金 | ・介護人材確保・職場環境改善等補助金 |
|-----------|--------------------|

3. 認知症予防

他部署の支えとなり、認知症の予防や早期発見につながる情報の収集をすすめてまいりましたが、今後も継続し情報収集をしていく必要があります。

4. 働きやすい環境づくり

働きやすい職場環境づくりの一環として離職防止に力を入れ、利用可能な制度（育児休業、介護休業等）の周知に取り組んできましたがまだまだ離職率は高く、平均勤続年数が上がるよう、今年度も働きやすい環境づくりに取り組む必要があります。

フードプロデュース本部

< 令和6年度 >

(自) 令和6年 4月 1日 ~ (至) 令和7年 3月 31日

社会福祉法人 正 和 会

フードプロデュース本部

令和6年度事業報告

フードプロデュース本部では、一人ひとりの尊厳を保ちつつ、日々の暮らしを食事の場面からサポートできる様、柔軟に対応できるスタイルで食事を提供しています。

食事を五感で味わって頂きたく、ユニット炊飯及び新調理方式を導入して、ユニットでの最終調理を行いました。さらに、食事形態の加工をユニットで行うことで、食事を一律に刻むのではなく必要に応じてカットし、見た目からも美味しく食べて頂けるようになりました。日々のユニットでの準備を通して、食事への関心を持ち続け、穏やかで安らぎのある暮らしを提案することができました。

栄養管理の面では、栄養ケアマネジメントを実施し、ご利用者様・ご入居者様の栄養管理を行いました。他職種との情報を綿密にすることにより、個々の栄養状態や嗜好を把握した栄養ケア計画書を作成し、計画に基づいた栄養管理を行うことができました。

また、複数の管理栄養士を配置した施設では、より手厚い栄養ケアとなる栄養強化マネジメントに取り組みました。

更に、兵庫県伊丹健康福祉事務所が中心となり運用をしている「栄養管理連携パス」を活用し、病院の入退院などを始めとした施設間の移動時に栄養管理情報を連携しました。

活用にあたり、各施設の嚥下調整食の形態とその呼称を共有するツールとして「食形態マップ」を作成・運用していますが、令和6年度は紙ベースをWEB版に切り替え、情報の確認と更新をスムーズに行えるように取り組みました。

地域全体の病院・施設・在宅の情報をつなげることで、ご利用者様・ご入居者様にご負担をかけることなく、継続した食支援を行うことができ、健康状態の維持、疾病予防、食事動作におけるADLの維持に繋げることができました。

給食管理の面では、季節感のあるメニューや新メニューの開発にも力を注ぎ、各地域の郷土料理やB級グルメの「ご当地メニュー」も楽しんでいただきました。今年度のご当地メニューは以下のメニューを提供しました。

4月 兵庫県「明石焼き」

5月 高知県「かつおのたたき」

6月 沖縄県「ジュシー」

7月 ハワイ「ロコモコ丼」

8月 埼玉県「ゼリーフライ」

9月 韓国「ビビンバ」

10月 山形県「芋煮」

11月 福岡県「とんこつラーメン」

2月 北海道「ガタタン」

3月 愛知県「きしめん・味噌カツ」

(12月・1月は、行事食・イベント食の提供なし)

更に毎月提供した行事食は、季節の風物詩として喜んでいただきました。

また、今年度も食事を通して楽しんで頂く企画に取り組みました。例年好評だった「カレー選手権」は「カレーフェア」に装いを変え、選手権で人気のあったメニューもフェア時に提供しました。新しいメニューとして薬膳カレーを提供し、年間を通して多種のカレーを楽しんでいただきました。

更に、引き続き在宅部門のスイーツに焦点を当て、話題スイーツのお取寄せや、キッチンカーの利用、幅広いジャンルの手作りスイーツにも挑戦しました。また、昭和に流行った懐かしいメニューを「昭和レトロ」としてオムライスやハンバーグ、クリームソーダ等を提供し、食器や雰囲気も当時を再現できる様に工夫しました。秋には新米フェアを企画し、産地の異なる新米を羽釜で炊き、明石の有名な「わかめ煮」をごはんのお供にして提供しました。

令和6年度も4施設のノウハウを合わせ、PDCAサイクル、Plan(計画)⇒Do(実行)⇒Check(計画)⇒Act(改善)を繰り返し、業務の向上に努めてきました。

今後ご利用者様、ご入居者様に喜んで頂けるよう、スタッフ一丸となって、鋭意努力を重ねて行く所存です。

〈清和台事業報告〉

外食が出来ない入居者様に外食気分を味わっていただけるよう、ダイエーの移動販売や、阪急の走るデパ地下(スイーツの移動販売)を活用し、様々な食を提供出来るように努めてまいりました。その方に合った食事形態や、カロリー制限

のある方には食事やおやつとの差し替えなどアドバイスさせていただきました。

普段のお食事では、マンネリ化しないようにパンの種類を増やしたり期間限定の味を取り入れるようにいたしました。

ご利用者様、ご入居者様の適切な栄養管理が行えるように、多職種スタッフ(医務・介護スタッフ・ケアマネ・生活相談員・機能訓練)と日々のコミュニケーションを大切にし、お食事時の様子の確認、検査数値、体重測定の確認、サービス担当者会議に参加し多職種と情報を共有し、栄養ケア計画書の作成業務にあたりました。

日々の体重の増減にも注意を向け、月に一回他部署とカンファレンスを行い、体重に大幅な増減が見られたご入居者様には個別の対応を行ってまいりました。

今後も、ご入居者様一人ひとりに尊厳のある個別ケアができるよう、努めてまいります。

〈東谷 事業報告〉

今年度よりケアパレットが導入され、今までよりもご入居者様の食事・水分摂取量やバイタルがリアルタイムに確認できるようになりました。早期に摂取量の減少に気づくことができ、多職種とカンファレンスを行い、食事形態の見直しや栄養補助食品の付加などを検討し1日でも長く施設での生活が継続できるよう努めてきました。

また、月1回レクリエーションを行い、いつもと違った雰囲気のお食事を楽しんでいただきました。在宅ではスイーツのお取り寄せをし、全国のおやつを楽しんでいただき、特養では居酒屋レクと題してノンアルコールビールで乾杯し、たこ焼きやフライドポテトを準備しとても喜んでいただけました。

今後もご入居者様・ご利用者様とコミュニケーションを取り、信頼していただける関係を築き、よりよい支援ができるよう、継続していく所存です。

〈ぶらす館〉

食事管理では「安全・安心な食事を楽しみながら食べて頂く」こと、栄養管理では、ご入居者様が負担に感じずに必要栄養量を確保できることを目標に取り組みました。

栄養管理の充実を図る為、日々のルーティン業務の適正化・効率化に取り組み、個人の摂取状況・栄養状態・嗜好を踏まえながら、多職種と密に相談・連携を行いました。その結果、食事摂取量や摂食嚥下機能低下に対し、早期に介入し、健康状態の維持に繋げることができました。

今後も、各職種の視点を生かした連携を図り、ご入居者様のQOLの改善・維持向上及び、ふらす館での生活を楽しく過ごしていただくことを念頭に置いて取り組んでいきます。

〈西多田〉

多職種と情報共有、連携を図り、一人ひとりの身体状況・摂取状況及び食習慣から、適した食事形態や量を検討し、嗜好等をできる限り配慮した食事提供に努めました。

月1回ユニット・ブロック毎に感染対策に留意しながら食事レクリエーションの実施すること、行事食やご当地メニューを提供することで、季節を感じていただき、普段の食事と違う雰囲気味わっていただきました。

昨年度の「おでん」に続き、嚥下調整食の方も楽しんでいただける「焼きそば」の提供も行い、ご好評いただきました。

栄養ケアマネジメント面では、食事摂取状況・嚥下状況の確認、体重の推移や検査値等を考慮しながら、健康状態・栄養状態の維持向上に向けた個別ケアができるよう、多職種と協議・検討を行ってきました。

今後もご利用者様、ご入居者様一人ひとりに寄り添い、より満足いただけるよう、支援に努めていきます。

〈フードマネジメント事業〉

やわらぎの里各館で提供させて頂いている「高齢者の皆様にとって安心で安全な美味しい食事」を地域の高齢者に、また将来的には様々な方に召し上がって頂き、やわらぎの里への安心感を更に高める一助となることを目的として「フードマネジメント事業」を行っております。昨年度に引き続き、安心で安全な食事を基本に、薄味ではない減塩食、刻み食ではないソフト食の開発・改善に取り組んで参りました。

さらに、高齢者の健康を食を通じて提案する取り組みを行いました。
高齢者のフレイル予防の為に、今年度も良質のタンパク質を多く含んだスイーツ

をテーマに、乳酸菌を多く用いた低糖質のプリンを考案し、提供しました。
今後も美味しさと健康を備えた創作スイーツ等を通して、高齢者の方に日々の
食事の重要性を伝えていきたいと考えております。

令和6年度も、ご利用者様、ご入居者様の『おいしい！』とたくさんの笑顔を頂
きました。

今後も『目で楽しみ、味覚も楽しんで頂く感動を呼ぶ食事』をモット
ーに、人と向き合い、生活の質を高める食事の提供を目指していきます。
以上



機能訓練本部

< 令和6年度 >

(自) 令和6年 4月 1日 ~ (至) 令和7年 3月 31日

社会福祉法人 正 和 会

☆機能訓練本部

令和6年度事業報告

令和6年度 運営指針

人と繋がり「まち(地域)」を元気にする ～「支えるケア」から「良くなるケア」へ～

令和6年度 運営総括

■機能訓練本部の進路

機能訓練本部が発足して12年目となる令和6年度についても、令和5年からの5カ年計画として大きなミッションを『支えるケアから良くなるケア』として進めてきました。目的とアウトカム(成果・効果)を考えた行動の推奨、そして成果の見える化(日常生活動作に関する改善割合を高める)を事業計画の重点事項として、働く職員が常にホスピタリティの考えと、そして笑顔と優しさをもって他者に接するとした、この心がけを持ちながら、日々の業務に携わる事もできています。私たちは、「原点回帰」から「未来進化」を考え、本質的な自分たちの「らしさ」「あるべき姿」「強み」を活かせるようにチャレンジできたのではないかと振り返っています。また、法人の重点目標事項として「認知症予防と支援の強化」が示される中で、機能訓練本部としては、積極的に取り組めた1年となりました。様々な工夫から認知症を恐れるのではなく、今何が出来るのか、予防法はあるのか、当事者だけではなく、地域で考えられる取り組みも進めてきました。近年では、自然に生活に溶け込ませる予防アプローチも注目されていて、日常的な“五感ケアによる可能性”も示唆されています。薬に頼らず認知症の予防や認知機能の改善を五感(聴覚と嗅覚にフォーカス)に着目する視点は、認知症予防に向けた新たなアクションと考える事も出来ています。本来のセラピスト業務(訓練や運動指導等)だけではなく、「働く」ことが遣り甲斐に繋がるように、目的に向かって、自ら思い切って、まっしぐらに進んで行く「思いっきり」を大切にすることも出来ました。令和5年4月から運営を開始した保険外事業(自費訪問施術:(名称)オーダーメイドリハックス)についても、令和6年7月頃より予約数が増え始め、お客様が望むスタイルでサービスを提供する事が出来ています。基本的には、施設サービス利用外での運営をベースとして考えていましたが、特別養護老人ホーム及び短期入所生活介護(ショートステイ)における施設サービスと併用して訪問施術を利用して頂けるケースが大半を占めているところです。ビジネスではないとできない「支援のあり方」がある事も学んでいます。

■川西市介護度改善インセンティブ事業への参加(成果の見える化)

高齢者の自立支援や重度化防止に資する質の高いサービスを提供している介護サービス事業所の取り組みを評価、支援することにより、川西市内の介護サービス事業所全体のサービス提供水準の向上を図り、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現をめざすことを目的として、令和3年度より3年連続で、同市が推進する「介護度改善インセンティブ事業」に参加しています。ご利用者様の自立支援・重度化防止に繋がるサービスの提供を事業所へ促すインセンティブとして、評価期間の中でADL(日常生活動作)の維持または改善の割合が一定の水準を超えている事業所を評価するという意味では、この事業もアウトカム(結果・成果)評価における加算に類する取り組みと言えます。機能訓練特化型ではない私たちのサービス形態であれば、ADLを「改善」させる事は、対象利用者の介護度やモチベーションにより難しくなります。但し、これらの働きかけと意識の変化が、ADLの「悪化」を最小限にして、ADLの「維持」を増やす、または「維持」できている割合を増やす取り組みとなり、数値として改善率が可視化されるということは、私たちの働きが求められるサービス提供の水準を上回ることが出来たのかとする評価にも繋がります。本年度について、日常生活動作が「改善」したケースは1件でした。但し、「維持」できた割合は、昨年や一昨年に比べて一番高く推移しています。「悪化」した割合は、昨年と同じ割合とする結果となっています。数値のみでご利用者様(評価対象者様)の自立支援・重度化防止を判断することは出来ませんが、出来なかったことが一つでも出来るようになり、出来ていることが継続して維持している事については、素直に喜ばしい事であり、ここには「ケア」とする視点だけではなく、「サポート」とする関わりの重要性も学ぶ機会となっています。

■事業連携と事業協力について

事業連携において、他社の経営資源を活用することで、自社の競争力を高められるという大きなメリットがあります。また、地域ブランド力を高められる点でも差別化したオンリーワンの事業が評判を獲得する事に繋がります。令和5年10月から、野原興産株式会社(複合スポーツレジャー施設 多田ハイグリーン)と正和会の『健康と福祉』における事業連携は、外出が億劫になっているシニア層を複合スポーツレジャー施設の利用に繋げる方法、そして魅力(わくわく感)ある仕掛けを地域シニアの生活をサポートしている高齢者施設の手法を導入する事で介護予防やフレイル対策、そして私たちがSDGs3「すべての人に健康と福祉を」とするミッションを達成するための活動としています。参加人数は多くありませんが、私たちが提供するフィットネスでのレッスンを楽しみにしてくれている会員様もいます。事業連携する事で自社のブランド力を高めることが出来ているのか、また将来的に会員様が介護を必要とする状態となった時に当方が優先的なセレクトの一つとなるのかは、まだ分かりません。但し、法人(施設)と地域、そして地域住民と繋がっておくことは、「街づくり」の為には重要なアクションです。令和6年度より、メインとなる運動効果に加えて、トレーニング(レッスン)で体感・体験できる「付加価値」を同様に得てもらいたい(知ってもらいたい)とする思いもあり、相乗効果として得られる仕掛けについて、予防医学・介護予防の新たな可能性を参加者に伝えるチャレンジも進めることが出来ました。「病気になってから治す」から「病気にならないようにする」への意識転換へのきっかけ作りにフォーカスをあてて、身体健康と心の安心に繋がられるような取り組みとなるだけではなく、認知症に関する啓発を含めた活動にも取り組めたことは、即時的な効果が得られなかったとしても「気づき」や「学び」に繋がったと感じています。

*レッスン(令和5年10月から開始)は、第2日曜日・第4日曜日の月2回の隔週としており、当法人内でも推奨している2本のポールを利用した運動を提供(ノルディックポールエクササイズ)。

■新たなビジネスモデルの創造(訪問型健康応援サービス)について

令和5年4月から、保険外事業として訪問施術の運用を始めて1年が経過しました。運営開始から1年が経過する令和6年7月頃からは、非常に多くの訪問施術における予約を受けることができており、ご家族様やご利用者様のニーズを満たせるサービスが提供できていると感じることもできました。私たちは介護保険や医療保険に頼るだけではなく、新たな事業展開として「訪問型健康応援サービス(オーダーメイド リハックス)」を進めていくことを進むべき進路の一つとしました。このサービスは、保険内で満たされないニーズやお困りごと、そしてご要望を満たすことを目的としています。「保険外サービス」におけるメリットを十分に考慮した上で運動や訓練(リハビリに類するサービスの提供)だけではなく、マッサージや徒手における施術等(リラクゼーション含む)も組み合わせながら、お客様が望むオーダーメイドの施術スタイルを基本としているところに特徴があります。保険外サービスとして外向きの事業を展開することで地域高齢者が必要なサービスを選択的に利用しながら健康を保持増進していく動機づけとサポート、そして介護保険に頼らない事業の柱を作っておくとする視点が今だからこそ、必要です。数値化する事は難しくなりますが、既存事業(デイサービス・ショートステイ)のご利用者様にコストを掛けずに稼働率向上を仕組化することもできていると考察しています。この事業は、イントレプレナー(社内起業家)として、自身が所属している企業からサポートを受けつつ新たな事業を始めるキャリアデザインの道の一つと捉える事も出来るだけでなく、職員のキャリアデザイン構築に向けた企業支援の一つとして、職員自身が持っているスキルや能力、強みを生かし、スペシャリストとしてのキャリアデザインの描き方やビジョンについて支援するシステムとしています。

■施設サービスにおける振り返り

○特養・短期入所

身体面、環境面の不自由な状態から生まれる喪失感を如何に克服し、前向きに生活して頂けるのかを考えご入居者様の支援にあたりました。ご入居者様の想いへの共感から始め、「その人らしさ」を一緒に考える事で信頼感を築く事に努めています。そして、「その人らしさ」を取り戻して頂く手段として、同じ地域(同じユニット)で暮らすご入居者様同士の繋がりのきっかけづくり(より充実した集団機能訓練、小集団機能訓練の提供)を行い、皆様が「その人らしさ」を認め合い、大切に出来る、そして仲間同志で高め合いチャレンジ出来る環境作りが出来たと思います。

○通所介護

心と体の健康は表裏一体です。加齢や病気で出来ない事が増え自信を喪失する事は、身体機能の衰えにも直結します。そこで、「出来ないこと」を良しとする、「出来ないからチャレンジできる」という考えを、ご利用者様に理解して頂ける仕掛けを用意し実践しました。機能訓練において、「出来ないということは「伸びしろがあるという事です」」「チャレンジする事を楽しみましょう」等々、前向きな言葉かけを意識することで、笑顔で訓練に励んでいるご利用者様が増えたように感じます。その笑顔が身体機能向上の鍵と考えます。今後も「チャレンジできる喜び」の提供を大事にし、「楽しいをゴールとする」を合言葉にご利用者様と共に成長していきたいと思っております。

令和6年度 施設報告

やわらぎの里 清和台の事業報告

1、特養/ショートステイ

〔他職種と連携する〕

事故の再発や褥瘡の改善に向けた支援を目的として、他職種との連携を意識して特養へ関わりました。新入居やご利用者様の状態変化があった退院後の福祉用具の選定について、他職種で協議を重ねる機会を設けたことで、対象のご入居者様に対して効果的で迅速な支援を行う事ができ、連携することの有用性を再認識しました。各職種の専門的な視点から情報交換を行い、それぞれのニーズに応じた対応や協議を行い、ケアの質の向上を図れたらと考えます。

2、デイサービス

〔長所を伸ばす〕

ご利用者様の長所を伸ばす取り組みとして、ご利用者様を賞賛することを大切にしました。ご利用者様の中には、ご家庭内での役割が少ない方やご家族様との関係性が希薄な方もおられます。これらの背景により、自信をなくしたり、様々なことへの興味や気力の低下がみられている方が増えていると感じています。小さなグループにおける体操(5人以下の小集団グループ)や指導員とマンツーマンでの訓練時の関りの中で「チャレンジできた」事を賞賛されたり、周囲の仲間にも認められることで、運動に対して消極的な方々の意欲が向上したり、介護に対する拒否や消極的な発言が減少するケースもみられました。課題に対する達成率が大幅に向上するような結果とはなりませんでした。自信を取り戻して運動を楽しみにされる方の増加がみられました。

やわらぎの里 東谷の事業報告

1、特養/ショートステイ

〔新入居・新規ご利用者様への手厚いケアを〕

新入居・新規ご利用者様が増えている現状があり、計画書の立案やご入居者様の身体情報の収集・共有が増えています。新しい方々を受け入れる中で、機能訓練が実施する訓練だけではなく、生活内で実施する身体機能や生活動作を維持するためのサポート(生活リハビリ)の提案がフロアスタッフに周知出来なかった部分もありました。良くなるケアを実現させる為に、ご入居者様を深く知る(見る)事を重要視しながら、おからだや精神的面でのサポートも力を入れていきたいと考えています。

2、デイサービス

〔今まで以上に手厚い関わりを〕

施設内の動きとして、人事異動や新入職もあり、ご利用者様の混乱も見られましたが、現在は機能訓練指導員と良好な関係性が築けています。人員体制が充足することで、機能訓練指導員がご利用者様と関わる時間、そして訓練に掛ける時間が確保されたことにより、お困りごとや相談・悩み等に寄り添いながら対応することが出来ています。そして、ご利用者様への安心にも繋がっています。また、個別の訓練だけではなく、グループ(小集団:5人以下のグループでおこなう集団体操)における訓練も大切にしており、特定の機能訓練指導員だけではなく全ての機能訓練指導員とコミュニケーションを取れる機会もあり、そしてセラピストのオリジナリティーを活かした運動についてもバリエーションを豊富に準備して取り組んでいます。人の充足により、「今まで以上に手厚い関わり」が実施できたと感じることが出来ています。

やわらぎの里 ぷらす館の事業報告

1、特養/ショートステイ

年齢という枠にとらわれず、「チャレンジがしたい」「身体を動かしたい」こう思っただけの「環境作り」をテーマに行ってきました。同じ場で生活されているご入居者様にとって施設は「住まい」であり「地域の集いの場」です。身体機能も生活機能もご入居者様一人一人違います。同じ目的を持っていただくことでコミュニティが生まれ、仲間でチャレンジができます。課題に対して仲間と考え、支え合う、そうした環境を作ることで、ご入居者様の諦めない、チャレンジしたいという気持ちや自信に繋がる働きができたと考えます。

2、デイサービス

「できないこと」を知り、それを悲観的にとらえるのではなく、「楽しいがゴール」をキーワードに、成功を目指すだけでなく、挑戦できる喜びが生き甲斐へと繋げられる方法を研究してきました。居心地が悪いと消極的になることがあります。意欲の減退へと繋がり身体を動かす機会が失われてしまいます。「できなくても大丈夫」「チャレンジすることが大切」を合言葉に、ご利用者様が前向きに運動へ参加できるための雰囲気作りを行いました。「失敗は恥ずかしいことではないですよ。」「できないほうがいいですよ。」指導者の声掛けにより居心地の良い環境を作ることで、できない事を楽しみ成長に繋げ、前向きに自分らしく生きていただけるサポートができたと考えます。「年を取るごとに、できていたことが徐々にできなくなっている。」と悲観的になるご利用者様も数多くおられます。「歩くことがしんどくなってきた。」「物忘れが増えた。」こうした機能の低下が消極的な気持ちにさせてしまいます。「年を取るのではなく、年を重ねる」表面的な部分ではなく、内面的な成長は日々成熟していきます。寛容さや多角的な物事の見方など、年齢や経験を重ねることでしか得られないことがあることも、ご利用者様の自身に繋がるのではないかと考えます。

やわらぎの里 西多田の事業報告

1、特養/ショートステイ

〔「施設」ではなく、生活の場としての住まいを目指す〕

ケア(寄り添いお世話をする)とサポート(相手が何をしたいのか定まった段階で必要な用具や方法を提案する)を常に考えながら機能訓練業務を努めました。また、ご入居様一人一人の生活に寄り添い、ご本人様の望みや意見を尊重し計画書を作成し訓練を実施しています。今後もお世話をする側、される側といった一方的な関係ではなく、時には支え、時には支えられるという双方向の関係を目指し支援努めたいと思います。

2、デイサービス

〔できる「楽しさ」から意欲を引き出す〕

意欲が低下すると、十分に身体を動かさなくなり、体力や筋力、認知機能が低下する原因になります。ご利用者様にとって困難で辛い運動を実施するのではなく、ご利用者様一人一人に合った今のご利用者様にふさわしい目標を立て、焦らずじっくりと歩んで目標達成、できる「楽しさ」を感じて頂きました。今後もできる「楽しさ」から意欲を引き出すだけでなく、積極的な「楽しい」と「やってみたい」を一緒に考えながら支援努めたいと思います。

やわらぎの里清和台

〈 令和6年度 〉

(自)令和6年4月1日 ～ (至)令和7年3月31日



やわらぎの里 清和台

介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉

(1) 適時適切な入居計画の推進と確立

令和6年度について年度初めからやむを得ない理由での退居者が続きました。ご入居に向けた動きを相談員中心に積極的に行い、他館の協力のもと、退居者数を上回るご入居数を確保しすることができ、昨年度から低調であった入居率・生活率を持ち直すことができました。7月に満室を達成した後も安定して高い入居率・生活率をキープする事が出来ました。昨年度と比較すると、退居者数は増加しているものの、今年度は昨年度よりも入居者数が大幅に増加しており、新入居者数を支える為の面接数の確保をしっかりと行い、ご入居に繋げる事が出来たと考えられます。

(2) 行き届いた相談、生活援助等の実施

ご家族様の面会規制が緩んだ事もあり、施設に面会に訪れるご家族様も増加し、直接お話しする機会も増えました。電話では伝えにくい、伝わりにくい内容のお話しも、直接お話しする機会が増えた事で、より濃い密度で伝達する事ができ、お話しの中の細かい機微を感じる事が出来ました。継続して行っているLINEによる連絡者登録数も増えており、軽微な内容は全てLINEで送らせて頂く事で、施設から突然電話がかかってくる事によってご家族様にご心配をおかけしたり、無理をして折り返しをかけて頂く事も減少し、本当に必要な内容のみ電話や直接お会いし対応して参りました。ご家族様からのご要望やご質問をLINEで送って下さる方も増えてきており、ご家族様も気軽に相談して頂く環境が整いました。

(3) ケアプラン等の策定及び実施・評価

昨年度より継続して入退院時のカンファレンスや、入居時のカンファレンスを行っている。ご入居者様の現在の状況や今後考えられる方向性等について多職種で話し合いを行う機会が増えた事で、よりご入居者様が安全安心に過ごす事が出来る環境作りが出来ていると考える。また、毎月月初には全ご入居者様の体重の増減をチェックし、喫食状況に問題はないか、体調面や認知面から食事に影響を与えていないかを検討している。全てのカンファレンスに参加し、中心となるケアマネジャーが情報収集を行いケアプランを策定し、策定したケアプランの評価の場となっている。

(4) ユニットケアの充実に向けて

昨年度から継続して利用している移動販売は、今年度も多くのご利用者様が利用し、ご入居者様の趣味嗜好に合わせた飲食物を、ご入居者様ご自身が選んで購入し、召し上がって頂く事が浸透してきました。ご入居者様がくつろいで過ごす事が出来る空間づくりの為にユニット費を計上し、各ユニットリーダーに使用を促してきた。現在食事等の部分での使用でご入居者様から喜びの声は頂いているものの、設えの部分に対する取り組みが不十分である為、今後は設えの部分についてもより積極的に取り組めればと考えている。

(5) 潤いのある生活を実現するレクリエーション

ご入居者様が外出や外食をするようなレクリエーションが出来ないか模索した一年であった。感染対策を実施した上での外出に関しては、ルールも少し緩和され、イオンに行く事があったりと少しずつ行動範囲の幅は広がりをを感じる事が出来た1年であった。しかしご入居者様が以前のように回転寿司を食べたり、フードコートで選んでたこ焼きを食べる等といったところまで踏み込むところまでいけず、満足できる1年とはならなかった。しかし、ご入居者様のご意見をお伺いしながら、職員が購入し、フロアに持ち帰った食べ物を召し上がって頂く企画を継続して行っており、ご入居者様が今月は何をするのかと楽しみにされる姿を見る事が出来た。

やわらぎの里 清和台 ご入居者様の概況報告

特別養護老人ホーム(令和7年3月末日現在)

年 齢

男性	85歳
女性	88.2歳
全体	87.5歳

最高齢者	103歳4ヵ月
最低齢者	60歳10ヵ月

介 護 度

2階	3階	4階	全体
3.66	3.70	3.40	3.20

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	6	13	38	34	19	110
比率	5.5%	11.8%	34.5%	30.9%	17.3%	100%

介護保険負担限度額

	第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
人数	1	12	5	38	54	110
比率	0.9%	10.9%	4.5%	34.5%	49.1%	100%

保険者

川西市	82人	74.5%	茨木市	2人	1.8%
猪名川町	4人	3.6%	箕面市	2人	1.8%
宝塚市	4人	3.6%	能勢町	2人	1.8%
西宮市	2人	1.8%	大阪市	1人	0.9%
尼崎市	1人	0.9%			
伊丹市	2人	1.8%			
姫路市	1人	0.9%			
豊能市	1人	0.9%			
洲本市	1人	0.9%			
豊中市	1人	0.9%			
池田市	4人	3.6%			
合計				110人	100.0%

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年4月3日、4月13日	ベランダから花見
実施フロア	満開に咲いたエドヒガンをベランダから眺め春を感じて頂く	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 約25人		
桜の花が満開に咲いているのをご覧になられ非常に喜ばれていた。悪天候が続いてしまいベランダに出る事が出来ないご入居者様が数人おられた事が残念であった。		
実施日	令和6年4月14日	牛乳パックで小物入れを作ろう
実施フロア	牛乳パックを使用し、小物入れを作成する。居室で使用するご自分専用の小物入れを作って頂く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 10人		
久しぶりの工作レクリエーションだった為ご入居者様はとても喜んで下さった。もう少し多くのご入居者様に参加して頂ければと思ったが、準備が足りずに10人となってしまった。		
実施日	令和6年4月17日	和菓子レクリエーション
実施フロア	CD間に和傘や椅子を設置し和菓子と合う写真撮影スポットを作成した。ご入居者様の写真撮影を行った。	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 27人		
食事形態にこだわる事なく全員が参加できるレクリエーションで良かった。皆様が笑顔で喜んで下さった。		
実施日	令和6年5月12日	ペットボトルボーリング
実施フロア	ペットボトルをボーリングのピンに見立て、ボーリング大会を行った。	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 12人		
参加して下さっている方から自然と応援する声が出て、盛り上がったと思う。安全性の観点からボールを軽いものにしたのだが、軽い分あまり倒れなかった為、今後の検討点としたい。		
実施日	令和6年5月13日	塗り絵大会
実施フロア	塗り絵大会を開催し、出来上がった作品を掲示板に飾った。	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 3人		
当初の予定人数より大幅に少なくなってしまった事が残念であった。		
実施日	令和6年5月14日	ケーキを食べよう
実施フロア	ユニット費を使用し、ご入居者様にケーキを選んで頂き召し上がって頂く。	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 39人		
ご入居者様からかなり喜びの声があがった。今後定期的に開催出来ればと考えている。		

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年5月23日	バラ公園へ
実施フロア	バラ公園に行き、バラを鑑賞する	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数2名		
沢山咲いており視力が弱い私でも凄く綺麗に咲いているのがわかったと喜ばれていました。		
実施日	令和6年5月31日	阪急オアシスへお買い物
実施フロア	感染対策を万全に行い、阪急オアシスに買い物に行き持ち帰った購入品を召し上がって頂いた。	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数2名		
感染対策を万全に行う為にも、参加人数が2名と少人数となってしまったが、参加された方は非常に喜ばれていた。		
実施日	令和6年6月13日	バナナジュースを作ろう
実施フロア	バナナジュースを作成し、皆様に召しあがって頂く。	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数10人		
バナナの自然な甘みだけでもとても甘かったと喜んで下さった。		
実施日	令和6年6月18日	ウナギのかば焼きを食べよう
実施フロア	ウナギを購入し、施設にて加熱調理しご飯に載せて召し上がって頂いた。	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数37人		
日頃召し上がる事が出来ない料理である事もあり、皆様美味しい美味しいと喜んで下さる事が出来た。		
実施日	令和6年6月30日	綿菓子を作って食べよう
実施フロア	お好きなフルーツの飴を選んで頂き、そこから綿菓子を作成、召し上がって頂いた	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数9人		
レクリエーションに向きあえるスタッフの調整がうまくいかず、9人のみの参加となってしまったのが残念であった。		
実施日	令和6年7月4日	七夕飾りを作ろう
実施フロア	飾りを作り、短冊に願いを書いて頂いた	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数全員		
ご入居者様はもちろんのこと、スタッフにも書いてもらい、ご入居者様と一緒に和気藹々盛り上がる事が出来た。		

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年7月9日	ケーキレクリエーション
実施フロア	前回好評であったケーキレクリエーションを行った。	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数39人		
心待ちにされているご入居者様もおられ、非常に喜ばれた。今後も定期的に開催したい。		
実施日	令和6年7月26日	金魚すくいをしよう
実施フロア	金魚すくい用のおもちゃを使用し、スタッフと一緒に楽しんで頂く	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数27人		
ご入居者と一緒にスタッフも参加し、盛り上げながら実施。皆様に喜んで頂く事が出来た。		
実施日	令和6年8月4日	牛丼を食べよう
実施フロア	日頃召し上がる事が出来ない外食産業の食事を召し上がって頂き楽しんで頂く	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数39人		
すき家にて牛丼を購入し、食事形態に合わせて提供した。肉がやわらかく美味しいわと喜んで頂く事が出来た。		
実施日	令和6年8月19日	綿菓子作り
実施フロア	皆様に選んで頂いた飴を使用し、綿菓子を作成、召し上がって頂く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数10人		
前回参加出来なかったユニットのご入居者様に綿菓子を提供した。もっと食べたいとの声がかかるほど喜んで頂く事が出来た。		
実施日	令和6年8月21日	2階の夏祭り
実施フロア	2Fご入居者様の夏祭りを行う	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数40人		
ショートステイのご利用者様も含めて参加して頂いた。ユニットごとに分けて開催した為大きな混乱なく実施する事が出来たものの、細部まで綿密な計画が出来ておらずバタバタした部分はあったのが反省点であった。		
実施日	令和6年9月14日	ケーキレクリエーション
実施フロア	定期開催となったケーキレクリエーションの実施	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数39人		
心待ちにされている方もおり、皆様喜んで頂きました。		

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年9月15日	ミックスジュースを作ろう
実施フロア	ご入居者様にミックスジュースを作成し召し上がって頂く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数39人		
皆様喜んで下さったものの、沢山のミックスジュースを作成するのに手間がかかり、少しバタバタとしてしまったのが反省点でした。		
実施日	令和6年9月17日	ドキドキワクワクボール並べ
実施フロア	ユニット単位で実施。	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数20人		
ご入居者様は真剣な表情で行って下さり、もう一回やりたいとおっしゃって下さりました。		
実施日	令和6年9月20日	敬老会
実施フロア	施設全体でご入居者様の長寿のお祝いを行った。	
全体		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数110人		
ありがとうございますと言って下さる方が多く、非常に心に残った。普段あまり表情がない方も、獅子舞をご覧になると、表情を緩められているのがはっきりとわかった。時間の調整と、職員への通達に不備があり、ユニットに訪問するタイミングに臥床されている方がおられる等、スムーズに進まない部分があった。		
実施日	令和6年9月24日	焼き餃子を食べよう
実施フロア	王将にて餃子を購入し、皆様に召し上がって頂く	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数10人		
餃子の良い香りがし、皆様期待の声をあげておられた。召し上がられると、美味しい美味しいと喜んでくださった。		
実施日	令和6年10月17日	宝塚歌劇団のDVDを観よう
実施フロア	宝塚歌劇団のDVD鑑賞をユニットにて行う	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数9人		
宝塚歌劇団が大好きな方を中心に、ユニットのテレビで鑑賞して頂いたが、興味がない方もおられる為別のジャンルでの鑑賞会も企画する。		
実施日	令和6年11月1日	秋の遠足(猪名川イオン)
実施フロア	雨天の為、ご入居者様2名をイオンにお連れした。	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数2名		
一般のお客様から離れた場所で暖かい飲み物を召し上がって頂いたが、非常に喜ばれていた。		

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年11月5日	秋の遠足バラ公園
実施フロア	バラ公園に遠足に行く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 2名		
喜んで下さったものの、春に比べて半分程度しか咲いておらず、少し残念な部分はあった。		

実施日	令和6年11月6日	秋の遠足 猪名川総合公園
実施フロア	猪名川総合公園に遠足に行く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 2名		
お天気も良く気温も高かった為、ご入居者様はかなり喜んで下さった。		

実施日	令和6年11月7日	荒牧バラ公園
実施フロア	荒牧バラ公園への秋の遠足	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 7人		
気温も高く、ご入居者様はかなり喜んで下さった。		

実施日	令和6年11月11日	秋の遠足 猪名川総合公園
実施フロア	猪名川総合公園に遠足に行く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 2人		
気温が高かった事もあり、ご入居者様は外出を喜ばれていたものの、総合公園は散歩のみになってしまう為、今後秋の遠足に関しては、何か違う場所を検討したい		

実施日	令和6年11月12日	ケーキレクリエーション
実施フロア	定期開催のケーキレクリエーション	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 39人		
ケーキを選ぶ事も楽しく、召し上がって頂くまで楽しみにされている方も多く、今後も開催していきたい。		

実施日	令和6年11月19日	秋の遠足(車窓ドライブ)
実施フロア	気温が低く車窓ドライブへと変更	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 2名		
気温が予想より低かった為、せっかくの外出の機会を活かす事が出来なかった。来年以降は気温を考慮に入れた時期に開催したいと考えている。		

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年11月29日	お菓子釣りをしよう
実施フロア	夏祭りで余っていたお菓子を使用し、釣って頂いたお菓子を召し上がって頂く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 18人
マグネットを使用しお菓子を釣って頂いた。どのようにして釣るのか？と皆様興味津々であった。釣って頂く事もお菓子も喜んで頂く事が出来た。		
実施日	令和6年12月16日	ケンタッキーフライドチキンレクリエーション
実施フロア	ケンタッキーフライドチキンを購入し、召し上がって頂く	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 38人
この様な企画を定期的に行っているが、毎回皆様が非常に喜んで下さり、楽しみにされておられる方も多くおられる。		
実施日	令和6年12月18日	ホットチョコレートを作って飲もう
実施フロア	ホットチョコレートを作って召し上がって頂く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 10人
暖かく甘い飲み物をご入居者様はとても喜ばれた。今後別のユニットでも開催出来ればと思う。		
実施日	令和6年12月21日	クリスマス会
実施フロア	クリスマス会を実施する	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 40人
ケーキを召し上がって頂き、撮りためていた皆様の画像を使用したスライドショーをご覧になって頂いた。プレゼントもお渡しし、皆様に喜んで頂く事が出来た。		
実施日	令和6年12月25日	クリスマス会
実施フロア	クリスマス会を実施する	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 30人
ケーキやプレゼントを喜んで下さった。		
実施日	令和6年12月26日	クリスマス会
実施フロア	クリスマス会を実施する	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 40人
ケーキを召し上がって頂き、プレゼントをお渡しした。皆様とても喜んで下さった。実施日がクリスマス後になってしまった為、購入したケーキがクリスマスバージョンでなかったのが残念であった。		

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和7年1月7日	手作り神社で初詣
実施フロア	手作りで神社の鳥居と賽銭箱を作成し、初詣気分を味わって頂く。	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 30人		
鈴をならして真剣にお祈りされている方もおられた。3が日に実施したかったが、職員の出勤数の関係上難しく実施出来なかった。		
実施日	令和7年1月26日	福笑いをしよう
実施フロア	お正月の遊びである福笑いをして楽しんで頂く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 30人		
昔からの遊びである福笑いを、なつかしがりながら楽しんでいた。出来た顔をご覧になられ、爆笑されているご入居者様もおられた。		
実施日	令和7年2月3日	節分の豆まき
実施フロア	新聞紙を丸めた豆を鬼役にぶつけて1年の無病息災を祈る	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 30人		
鬼役に新聞紙をぶつけるのを皆様楽しそうにされていたが、鬼役の衣装がなかった為、来年は用意したいと思う。		
実施日	令和7年2月3日	節分の豆まき
実施フロア	新聞紙を丸めた豆を鬼の口に入れる豆まきを行う	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 3F全員		
楽しそうに鬼の口めがけて新聞紙豆を投げ入れておられた。		
実施日	令和7年2月3日	節分の豆まき
実施フロア	新聞紙を使用し、豆まきを行う。	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 4F全員		
スタッフが鬼の面をつけて逃げ、ご入居者様が新聞紙を丸めた豆をぶつけ無病息災を祈る。皆様豆をぶつける事に一生懸命になり、喜ばれた。		
実施日	令和7年2月12日	ケーキクレーション
実施フロア	定期開催のケーキクレーション	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 3F全員		
名前だけでなく画像も使用し、皆様にケーキを選んで頂いた。期間限定の物を注文される等、ケーキが来るまでの間もドキドキされ楽しんでいた。		

○特養・ショートご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和7年2月16日	チョコフォンデュを作ろう
実施フロア	チョコフォンデュを作りバナナと一緒に召しあがって頂く。	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 9人
当日のオヤツであるバナナにチョコフォンデュでチョコをコーティングし召し上がって頂いた。予定しているより出来る量が多かった為余らせてしまった。		
実施日	令和7年2月19日	焼きガニ
実施フロア	焼きガニを皆様に召しあがって頂く	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 19人
カニに皆様気分が盛り上がり、とても喜んで下さった。		
実施日	令和7年2月25日	天津飯と焼き餃子
実施フロア	王将の天津飯と焼き餃子を召し上がって頂く	
4F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 20人
皆様美味しい美味しいと喜んで下さった。		
実施日	令和7年3月2日	甘酒を作って飲もう
実施フロア	ひな祭りに合わせて甘酒を作り楽しんで頂く	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 39人
久しぶりに飲んだわと、喜んで下さった。		
実施日	令和7年3月13日	ケーキレクリエーション
実施フロア	定期開催のケーキレクリエーションを行う	
3F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 20人
定期開催だが、毎回ご入居者様は喜んで下さる。		
実施日	令和7年3月13日	ひな人形で写真撮影
実施フロア	施設1階に飾っているひな人形の前で写真撮影を行う。	
2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 30人
ひな壇のひな人形をご覧になられ、昔こんなのがあったと懐かしまれているご入居者様が沢山おられた。		

事故報告及び出来事報告(R6年4月～R7年3月)

種別	対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
骨折	受診	1	1	2		1	1		2			1	2	11
	経過観察													0
打撲・捻挫・脱臼	受診							2	1	1				4
	経過観察		3	1			1					4		9
切傷・擦過傷	受診	2			1			1		1				5
	経過観察	1			1	1	1	3	5		3	3	1	19
異食・誤嚥	受診													0
	経過観察		1							1				2
やけど	受診													0
	経過観察													0
その他の外傷	受診				1							1	1	3
	経過観察	1		1				1	2	1		1		7
食中毒	受診													0
	経過観察													0
感染症・結核の伝染	受診													0
	経過観察													0
スタッフの法令違反、不祥事	受診													0
	経過観察													0
誤薬・服薬忘れ	受診													0
	経過観察		2	1	1		2	1	1	3	1		2	14
その他(外傷なし)	受診													0
	経過観察	4	3	1	6	12	2	4	6	3	6		5	52
発生後、受診総数		3	1	2	2	1	1	3	3	2	0	2	3	23
発生後、経過観察総数		1	9	4	8	13	6	9	14	8	10	8	8	98
		4	10	6	10	14	7	12	17	10	10	10	11	121

令和6年4月～令和7年3月までに発生した件の誤薬・与薬忘れについて

①誤薬・与薬忘れ 14件

②骨折事故 11件

総括

前年度に比べ服薬ミスが2件多くなり、骨折事故は2件少なくなっている。

骨折、服薬ミスは横ばいですが総事故件数が増えてしまっている。

ご入居者様の身体状況にあわした生活環境の調整やケアの仕方を、日頃から早期に取り組みができるよう職員への指導を行い、介護力を高めていくことで事故件数は減ると考えています。

①入居待機者数(令和7年3月末日現在)

計110名の待機者の内訳…平均要介護 3.4

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
6	13	38	34	19

②月別入退居者数

令和5年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	6	0 2	2	95.48%
5月	1	0 0	0	98.71%
6月	0	0 1	1	97.42%
7月	3	0 2	2	95.43%
8月	1	1 2	1	95.81%
9月	3	2 2	0	96.45%
10月	1	3 6	3	94.08%
11月	3	1 1	0	93.94%
12月	1	3 4	1	92.99%
1月	4	3 3	0	89.68%
2月	3	3 3	0	89.50%
3月	1	3 3	0	89.03%
計	27	29		
月平均	2.25	2.42		94.04%

令和6年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	5	2 4	2	88.39%
5月	6	2 3	1	89.65%
6月	7	4 4	0	90.52%
7月	4	2 2	0	94.96%
8月	2	1 3	2	95.43%
9月	3	2 2	0	94.30%
10月	1	1 2	1	95.54%
11月	4	4 5	1	94.39%
12月	3	1 1	0	95.34%
1月	1	1 1	0	95.16%
2月	1	1 1	0	96.36%
3月	1	3 3	0	89.03%
計	38	31		
月平均	3.17	2.58		93.26%

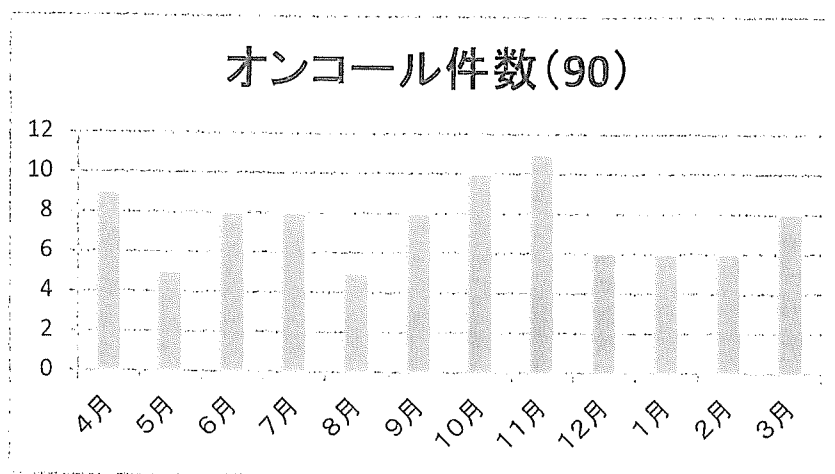
身体拘束防止委員会 総括

4月にご入居されたご入居者様にご入居日とその翌日に再度転倒された事で、ご家族様も含めてお話しを行い、暫くの間車椅子ベルトを使用する事となった。当該フロアで多職種でのカンファレンスを行った上で、再度身体拘束委員会にて審理を行う形で経過観察を行っていたが、新入居されたご入居者様の事も理解できるようになり、9月のカンファレンスにて身体拘束解除を決定し、ご家族様とも話し合いをさせて頂き同意を頂いた。何年も続いた身体拘束0であったが、継続する事が出来ず残念であったが、再度0を続ける事が出来るよう今後も取り組み続けていきたいと考えている。

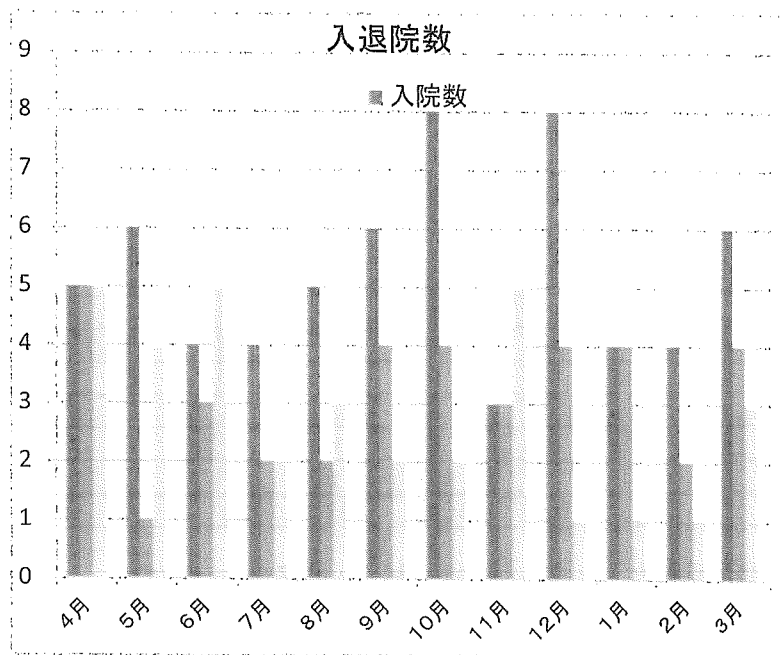
令和6年度 身体拘束対象者数一覧表

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ベッド柵による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミトンによる拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柵の固定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抑制ベルト	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
つなぎ服着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0

オンコール件数	
4月	9
5月	5
6月	8
7月	8
8月	5
9月	8
10月	10
11月	11
12月	6
1月	6
2月	6
3月	8
合計	90



	入院数	退院数	死亡・ 転院退
4月	5	5	5
5月	6	1	4
6月	4	3	5
7月	4	2	2
8月	5	2	3
9月	6	4	2
10月	8	4	2
11月	3	3	5
12月	8	4	1
1月	4	4	1
2月	4	2	1
3月	6	4	3
合計	63	38	34



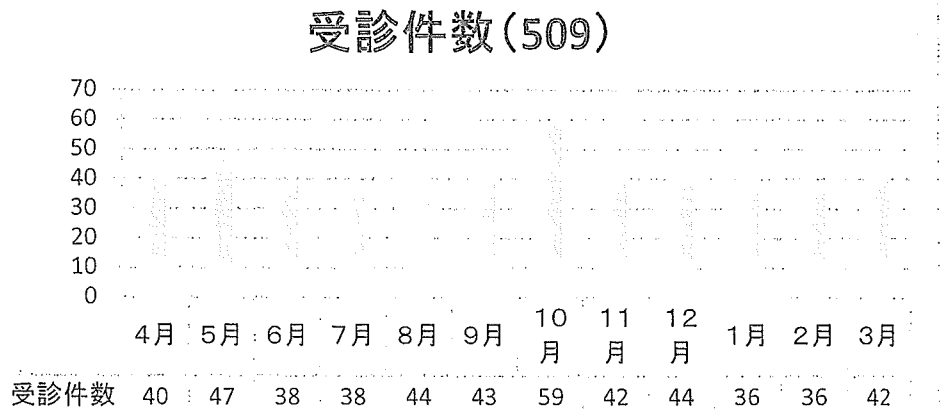
医療状況 前年度・今年度の比

	5年度	6年度
受診	458	509
オンコール	62	90
救急搬送	46	63
入院	65	63
退院	37	38
退居	29	34
心肺停止	2	4
診療情報提供書	112	129
歯科往診(口腔ケア)	843 283	1018 312

医療処置対象者	
胃瘻	4
尿バルン	4
インスリン	3
在宅酸素	1

やわらぎの里 清和台 医務室
令和6年度 総括
医療状況
月別受診件数

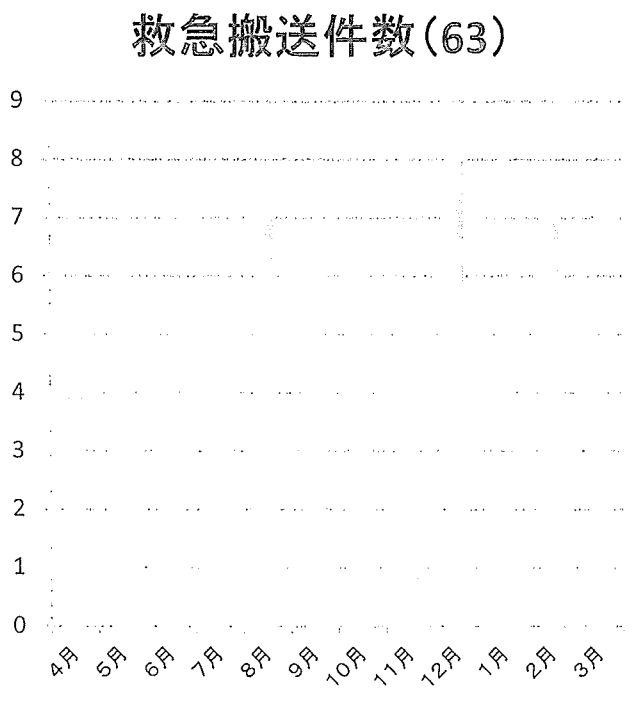
受診件数	
4月	40
5月	47
6月	38
7月	38
8月	44
9月	43
10月	59
11月	42
12月	44
1月	36
2月	36
3月	42
合計	509



月別受診内訳	外科	内科	整形	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	心療内科	脳外科	胃瘻交換	その他
4月	2	9	6	10	4	0	5	1	1	0	2
5月	5	9	10	9	5	0	3	3	2	0	1
6月	0	11	6	8	4	0	3	3	1	0	2
7月	0	8	5	10	7	0	3	1	0	0	4
8月	0	8	7	11	3	0	6	3	1	0	5
9月	1	15	8	8	1	0	1	2	2	1	4
10月	3	8	14	10	8	0	4	5	2	1	4
11月	2	6	13	8	5	0	3	2	1	0	2
12月	5	7	9	11	4	0	1	2	1	0	4
1月	3	6	6	5	6	0	2	5	0	0	3
2月	3	9	8	6	2	0	1	3	2	1	1
3月	4	7	12	6	4	0	1	2	1	1	4
合計	28	103	104	102	53	0	33	32	14	4	36

その他は耳鼻科、形成外科、婦人科、乳腺等を含みます。

救急搬送件数	
4月	5
5月	6
6月	4
7月	5
8月	7
9月	6
10月	6
11月	4
12月	8
1月	2
2月	7
3月	3
合計	63



救急搬送内訳	
誤嚥	0
熱発	11
吐血/喀血	0
転倒(骨折・外傷)	15
脳梗塞	0
呼吸、意識不良	27
痙攣	0
心肺停止	4
低血糖	1
嘔吐、下痢	1
腹痛	0
他	4

オンコール件数内訳	
転倒	27
薬関係	8
熱発	15
その他	40
合計	90

<総括>

・総受診数は昨年458件から509件と1割増しとなっています。内訳としては昨年84件だった整形外科受診が104件と増えています。原因は骨折による整形外科入院やその後のフォロー受診・偽通風での受診者が多かったためです。今年度は転倒による救急搬送も4件から15件、転倒でのオンコール件数も16件から27件と見守り不足や認知症による危険認知度が低く立ち上がりなどのリスク回避が不十分であったため増えたと考えられます。その上転倒による頭部裂傷による外科受診数も11件から28件と増えていきます。

・バルーンカテーテル留置者数はあまり変わらないものの閉塞やバルーン部の亀裂破損などバルーントラブル件数が多く泌尿器科受診数も87件から102件と増えました。バルーンカテーテル破損については、メーカーと協議しシリコン製からラテックス製へ変更することでトラブル回避・減少へつなげました。その他、胃ろう造設者が1名から4名に増え胃ろう交換数が倍増しました。

・摂食障害での入院数は昨年7名、今年度6名 栄養補助食品の使用や食事形態の見直し、移動販売車利用での嗜好品購入など自らも買い物を楽しみながら食事量アップへつなげる取り組みも効果的です。その半面、誤嚥性肺炎での入院数は昨年度の10名から21名と多くなっています。看取りはしていないものの摂食不良の方に少しでも長く施設で暮らして頂く取り組みを行う中で嚥下機能低下の見極めの難しさもあり結果誤嚥性肺炎発症者増加となっています。

・救急搬送数が昨年46件から63件に増えているのも発熱やSPO2の低下による誤嚥性肺炎疑い・転倒に伴う骨折の疑いで救急要請が増えたためです。

・退居件数の増加も誤嚥性肺炎後嚥下機能の回復がかなわず医療ニーズが高いために療養型病院へ転院され退居につながった方が今年度は多かったことが考えられます。

・今年度、悪性腫瘍により化学療法を受けたり緩和ケア病院への転院など悪性腫瘍と診断されている方が6名いました。認知症や高齢であっても進行性がんの診断を受け治療をうけている方へ安心安全安楽なケアの提供を心がけています。

・今年度介護施設と医療機関との連携強化のため、情報を共有することでより質の高いケアの提供を構築することを目的に生駒病院と協力医療機関連携を結び定例会でお互いの状況報告を行っています。入居者の病状が急変した場合病院に相談し診療・入院が出来る体制が整っていることは介護者サイドには大きな安心感があります。

・医務看護師人員については、デイサービス専任看護師の退職と特養への移動に伴い、デイサービス専任看護師が不在となったため、特養看護師が輪番制でデイサービス担当となり応援体制となりました。介護職員と協働し対応できています。

・ITによる効率化・情報共有のためケアパレットが導入されましたが、スムーズに業務移行できています。

・今年度は食中毒やインフルエンザの感染症の研修に加え、褥瘡・スキンケアについてと高齢者の脱水についても資料研修を行いました。

・今年度の感染症発生状況

・コロナウイルス感染	:ご入居者様5名 職員17名 職員家族9名
・インフルエンザ	:ご入居者様1名 職員7名 職員家族11名
・ノロウイルス	:ご入居者様 職員 職員家族 なし

・インフルエンザワクチン接種率 職員85.6%

今年度もコロナ感染予防対策を継続して行いました。

7月職員の感染が発端となりご入居者様1名・ショートステイご利用者様2名・職員2名へ感染が拡がり、8月にも職員1名・ご入居者3名の感染拡大がありました。職員の持ち込みによる感染拡大防止に充分注意喚起をしてきたつもりでしたが、長く続く感染対策・5類感染症への移行により感染対策に対する意識低下があったと反省し、手洗いチェッカーによる手洗い方法の見直し、継続した換気、マスクを外す・鼻を出すなど遵守できない職員に向けマスク着用方法見直し・マスクの形を変更するなどの対策を講じ、1月と2月には職員1名がコロナ感染するも他に拡大することなく終息することが出来ています。2月の感染職員については咳嗽出現と同時に自主的に2重マスクにしたことで感染拡大を防げたと思われます。個々の感染対策への意識や注意することで拡大防止につながる事を発信しました。インフルエンザ感染については、12月にショートステイご利用者様の感染から職員1名・ご入居者様1名へ感染拡大となりました。職員一人一人が媒介者とならないよう常に感染対策を心がけていくよう注意喚起しました。

EPA職員・技能修習生に対しては言葉の壁もあり、理解度の把握が難しいこともありますが、先輩EPA職員による通訳やYouTubeでの研修を活用し理解度を深めています。今年度ノロウイルス発生のニュースが多く報道されていました。コロナ期にはほとんど報告のなかったノロウイルス感染が増えてきた要因のひとつにコロナ対策として行っていた手洗い強化やマスクをすることで飛沫予防のみならず無意識に手で口を触る行為も減らせていたことが5類感染症移行に伴いおそろさかになっているためと言われています。施設内でノロウイルスは発生していませんが、5類感染症移行後の昨年度、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎など呼吸器感染症の流行したのと同じメカニズムと考えられているため基本的な感染対策がいかに大切か職員に伝えていきたいと思います。その他インフルエンザと食中毒について資料研修を行いました。

(2) 短期入所生活介護施設運営事業<ショートステイ>

1, 事業報告

残念ながらコロナウイルス感染症は今年も出てしまいましたが、昨年のコロナウイルス感染症から比較しても、ユニット型の特性を生かし短期間で解除できたことは本当に良かったと思います。継続した感染対策の徹底を行い、安心してご利用いただけるよう努めて参ります。また以前に比べて創作レクリエーションや季節ごとの行事など出来ており、短期入所ですが充実した生活を送って頂けるようにこれからも努めて参ります。

2, 相談業務及び援助

ご利用者様の表情や、日々の施設での生活状況などを細かく確認し、ご家族様ならびにケアマネジャー様への連絡や情報の共有などを行って参りました。

ご家族様や、ケアマネジャー様に信頼頂けるよう、施設でのご様子の中で小さな気づきを大切に、職員やご家族様、ケアマネジャー様が情報の共有ができるよう引き続き対応して参ります。

3, 稼働率の安定

地域の居宅支援事業所にも空き情報などの情報の共有をしながら、急なお問い合わせにも柔軟に対応できるよう心掛けており、新規事業所を含め定期利用を増やすことを目標にしてきた結果、一年を通して稼働を安定させることが出来ました。

今後も安定した稼働率が確保できるよう運営に努めて参ります。

4, 健康管理

ご自宅でのご様子の確認を行い、ご家族様との薬剤情報提供書などの情報をしっかりと共有することで利用時には安心して安全に過ごして頂けるよう心掛けております。

日々の健康観察もしっかりと行っており、状態の変化があった場合にはご家族様や居宅のケアマネジャー様に報告し、ご自宅に帰った後でも安心して過ごして頂けるよう努めております。

今後も細やかな情報確認と情報共有を行いながら、ご家族様やご利用者様共に安心できるサービスを提供して参ります。

5, レクリエーション・機能訓練

ご利用者様にお楽しみ頂ける幅は少しずつですが増えていっているように思います。体を動かすレクなどではみなさんと一緒に楽しんで頂いており、ラジオ体操などはしっかりと頂くことで習慣になり、ご自宅でも行っておられる方もいるようです。ロングのショートステイをご利用の方には気分転換で外への散歩も行っております。

お一人おひとりの個性もありますが、寄り添った介護を行いながらご利用者様が意欲的に参加して頂けるレクリエーションを介護職員と共に考え行なって参ります。

(3)通所介護事業施設運営事業<デイサービス>

1.事業報告

感染対策をしっかりと行いながら、以前よりも出来ることが増えていけるようになってきております。外出レクリエーションなど少しずつですが以前のようにサービスを提供することが出来てきております。今後も出来ることが増えていくと思いますが、清和台の広さを生かしサービスの質を上げていけるよう努めて参ります。

2.レクリエーション

今年度も外出レクリエーションで桜見や紅葉ドライブに出かけることが出来ました。外出することでご利用者様も大変喜ばれており、喜ぶ顔を拝見することで介護職員もやりがいを感じていました。また今年はスポーツを重点的にレクリエーションを取り入れており、基本的に「楽しんで頂く」ですが「動いて楽しんで頂く」に少しずつ変化しており、これからも末長くご利用頂けるようなサービスを提供して参ります。

3.稼働率の安定

結果的に今年度、低い水準で推移する稼働率となりました。

地域のケアマネジャー様が在籍する、居宅介護支援事業所に営業へ赴くことである程度の反響は頂きました。清和台の広さを生かしてスポーツを多く取り入れた機能訓練、モルック、卓球台などレクリエーションのチラシを配ることで他とは違ったサービスを受けられることや空き情報など最新の情報をお配りすることで当事業所の認知度を広め、また粘り強く営業を継続していくことでお客様の獲得に努めていきます。

4.健康管理

利用開始前に自宅にて体温を測定して頂いており、発熱があれば利用中止を行うなどし、ご家族様には十分ご理解して頂き外部からの「感染を持ち込まない」「感染を拡大させない」ことは今年度も達成できたと思います。

コロナだけではなく感染対策と体調の観察や感染対策マニュアル等を利用しつつ引き続き感染対策と健康管理、デイサービスに来所し健康で楽しく過ごして頂くよう実施して参ります。

○デイサービス ご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年3月29～4月4日	お花見ツアー
実施フロア	春の桜を満喫していただき、また季節を感じていただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 1週間を通して各曜日の桜ツアー希望ご利用者様 60名 桜は咲いていないが、菜の花が綺麗で、久しぶりの外出で楽しかった。		
実施日	令和6年4月15日・16日	プリンアラモード
実施フロア	おやつ作りを通して親睦を深めていただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 20名、26名 プリン は市販の商品「プッチンプリン」を使用しており、ツマミをプッチンと折ってプリンを出す仕掛けが初めての方がおられ、とても楽しかった。フルーツや生クリームをトッピング行いとても豪華でありボリュームがあり満足していただけた。		
実施日	令和6年5月6日・7日	端午の節句
実施フロア	季節を感じる行事の催し物を通して交流していただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 20名、23名 一日目ゲームの内容が少し難しく、二日目にはご利用者様に分かりやすく、内容を工夫し楽しんで頂けた。職員手作りのメダルに鯉の飾りを付けお持ち帰りいただくと、ご家族様からの喜びのお言葉もいただけた。		
実施日	令和6年5月22日・23日	お菓子 バイキング
実施フロア	バイキング形式で色々なお菓子を選び楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 19名、26名 お菓子の種類もいくつもあること、ご自分で選べる楽しさもあり大変喜ばれていました。		
実施日	令和6年6月12日・13日	お抹茶会・紫陽花の作品づくり
実施フロア	雨の中室内でのレクリエーションにて楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 25名、28名 野点の傘等準備行い、雰囲気 をまずは楽しんでいただき、ご自分でお抹茶を初めて点てた、久しぶりに点てた等他のご利用者様と会話も弾みました。紫陽花やてるてる坊主の作品も好評でした。		
実施日	令和6年6月21日・22日	雪見大福あんこ&黒蜜添え
実施フロア	おやつ作りを通して親睦を深めていただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 20名、20名 市販のアイス「雪見大福」を使用し、黒蜜をかけ和風のアイスクリームが完成し、美味しい、毎日このおやつが良いと喜んでくださいました。		

実施日	令和6年7月5日・6日	七夕祭り
実施フロア	季節を感じる行事の催し物を通して交流していただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 20名 24名		
短冊づくりに紫陽花の花を飾るのが可愛らしく、喜ばれていました。また、作品を作り終えてから笹竹へ直接吊るすことができ大変喜ばれていました。		
実施日	令和6年7月22日・23日	台湾ケーキ・生クリームとマンゴー添え
実施フロア	おやつ作りを通して親睦を深めていただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 25名 23名		
流行の台湾ケーキがとても柔らかく、ふわふわの食感であり、そこへ生クリームとマンゴーのトッピング行いとても喜んでいただきました。		
実施日	令和6年8月14日・15日	納涼祭
実施フロア	ご利用者様の親睦をはかりながら、夏の風物詩を味わっていただく。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 22名 29名		
ゲーム(射的やビンゴ)やたこ焼き、炭坑節等、納涼祭を楽しんでいただけた。特にビンゴは中々揃わず時間はかかったが、ご利用者様皆様に盛り上がり楽しんでいただけた。		
実施日	令和6年8月30日・31日	葛饅頭&きな粉・黒蜜添え
実施フロア	おやつ作りを通して親睦を深めていただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 20名 21名		
暑い季節の中、冷たい葛饅頭を召し上がっていただき、夏の終わりを感じていただけた。普段おやつを召し上がらないご利用者さまも完食されました。		
実施日	令和6年9月16日・17日	敬老会
実施フロア	ご利用者様の健康と長寿を祝い、日頃の感謝の気持ちを伝え喜んでいただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 24名 28名		
太鼓や獅子舞がとても迫力があり大変喜んでくださいました。頭を噛まれた時「これで長生きできるかな」と笑顔でお言葉もいただいた。ハーモニカの演奏と共に一緒に合唱することができ終始笑顔がみられました。		
実施日	令和6年9月25日・26日	おやつバイキング
実施フロア	バイキング形式で色々なお菓子を選び楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 21名 28名		
ご利用者様ご自分でお買い物に行けない方が「食べたことのないお菓子が食べれて、嬉しい、美味しい」と喜んでいただきました。小さい個包装のお菓子にて「今回は菓子パンを追加してね」とのご希望があった。		

実施日	令和6年10月10日・11日	運動会
実施フロア	無理なく身体を動かしていただき、ご利用者様同士の親睦をはかる。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 19名 25名		
今回チーム戦にてご利用者の本気度が違い、競っておられる姿を見て職員一同感動した。また、例年になく盛り上がりお楽しみでいただけた。ご家族様からも手作りのメダルについてご本人の喜びを連絡ノートを通じて温かいお言葉も頂戴できた。		
実施日	令和6年10月21日・22日	ケーキデコレーション
実施フロア	ご利用者様同士の親睦を深めていただく	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 26名 25名		
プチケーキにイチゴのクリームやカラースプレー、生クリームをトッピングしていただく。出来上がりは小さくかわいいケーキとなり喜んでいただけた。ご自分でトッピングをしていただき、色とりどりのカラフルなプチケーキとなった。		
実施日	令和6年11月15日・16日	カステラのティラミス風
実施フロア	おやつ作りを通してご利用者同士のコミュニケーションを図っていただく。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 23名 22名		
透明なグラスを用意してトッピングしながら層を作り、ご利用者様に見た目でも喜んでいただけるように工夫をこらした。		
実施日	令和6年11月25日・30日	紅葉ドライブ
実施フロア	秋の紅葉を満喫していただき、季節感を感じていただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 64名		
全体的な紅葉が進んでいなかったが、天気も良くもみじが真っ赤で綺麗でした。久しぶりに外出で喜ばれるご利用者様もおられた。お茶とお菓子があればいいなど冗談も飛び楽しく外出ができた。		
実施日	令和6年12月19日・20日	お菓子バイキング
実施フロア	バイキング形式で色々なお菓子を選び楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 23名 26名		
色々なお菓子から選べることを大変喜んでいただけた。人気のメニューが偏った(レアチーズケーキ)為、今年度のおやつバイキングの中からの人気メニューを振り返り今後のバイキングに活かしたい。		
実施日	令和6年12月24日・25日	クリスマス会
実施フロア	クリスマスにちなんだゲームや出し物で季節を感じ楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご利用者様の声 参加人数 25名 15名		
ビンゴゲームが特に盛り上がり、笑顔あふれる会でした。ご利用者様と職員で鈴を鳴らしながら、クリスマスソングを数曲歌い楽しいひと時でした。		

実施日	令和7年1月6日・7日	新春会
実施フロア	各種ゲームなどを楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 21名 22名		
紙粘土を使用して今年の干支「蛇」を作成して頂いた。個々の特徴がある干支の置物が出来上がり大変喜んでいただけた。家に飾れるから嬉しいと作成中も会話が弾んでいた。		
実施日	令和7年1月24日・25日	豆腐のチョコレートムース
実施フロア	おやつ作りを通して親睦を深めていただく。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 22名 27名		
今回個々にご用意させていただいた豆腐とココアの袋をまずは揉んでいただくことからスタートした。手で豆腐を揉むことがない為、ご利用者様は大変興味をもたれ、ご利用者様同士、職員との会話が弾んで楽しそうでした。		
実施日	令和7年2月 5日・6日	節分
実施フロア	節分にちなんだゲームや歌で楽しんでいただきご利用者様同士の交流を図る	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 14名 19名		
赤鬼、青鬼に紛した職員に豆まきを行ったが、豆まき自体家庭でもしない為久しぶりの豆まきで楽しかったと喜んでいただけた。		
実施日	令和7年3月1日・3日	ひな祭り
実施フロア	季節を感じる行事の催し物を通して交流していただく。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 27名 24名		
お雛様の作品作りに夢中でとても集中しておられた。孫にあげる、家に飾る等、思い思い出来上がった時に会話が弾んでいました。その後出来上がった作品と共に写真撮影行いお渡しした。		
実施日	令和7年3月26日・27日	さくらバイキング
実施フロア	バイキング形式で色々なお菓子を選び楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご利用様の声 参加人数 21名 17名		
おやつの種類が沢山あり、すぐに決まるご入居者様、迷って決まらない方とそれぞれの楽しみ方で喜んでおられました。味の感想を近くの席の方と話をされ、ご入居者様同士のコミュニケーションを図ることができた。		

やわらぎの里東谷

〈 令和6年度 〉

(自)令和6年4月1日 ～ (至)令和7年3月31日



やわらぎの里 東谷

令和6年度事業目標『和顔』を求めて～四方良しの継続～の共通認識のもと、以下の通り、活動いたしました。

介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉

(1) ユニットケアの充実

ユニットのスケールメリットを活用し、季節を感じていただけるような設えをしたり、環境整備のためのラックの購入しました。ご入居様が望まれる食レクやカラオケ、ゲーム等、生活習慣や趣味、嗜好や日常のコミュニケーションから得た情報を基にご入居者様お一人おひとりが役割や存在意義を見出し、安心して穏やかに過ごしていただける「我が家のようなくつろぎ」の環境の構築に努めました。

(2) 信頼と安心の相談窓口

(1) 入居者の個別性・要望を尊重したうえで、入居という新たな生活を送られる為環境の向上・職員との情報共有を行うことで、安心して入居していただくよう準備を行ってまいりました。

(2) 自ら経験してきた、医療・介護・福祉の知識を再度、確認し退居時により安心して適している医療機関に案内出来るよう努めて参りました。

(3) 感染症への対策強化

今年度は2月のコロナ感染拡大にて、ご入居者様、ご家族様にご心配をお掛けすることとなってしまいました。改めて、標準予防策の徹底に加え、「持ち込まない」「拡げない」「持ち出さない」ことを意識し、平時からの感染対策及び職員教育に努めてまいります。感染対策マニュアルの周知に加え、職員全員が初動の対応を的確且つ迅速に行えるよう、ゾーニングや必要物品の準備、配置ガウンテクニックの実践訓練を全職員対象で行いました。ご入居者様の平穏な生活が継続できるよう、今後も引き続き、感染対策委員が主体となり、様々な取り組みを推進してまいります。

(4) 職員の資質向上

今年度も接遇や認知症ケア、介護技術等の施設内研修を行ってまいりました。また、日々のケアを振り返る中で、不適切なケアになっていないかを考え、事故身体拘束委員会等で多職種での様々な視点を基に、改善策の検討を行ってまいりました。次年度も継続してこの取り組みを行ってまいります。今年度よりタブレット端末が導入され、紙媒体での記録物を最小限にすべく研修等を行いながら移行作業を進めております。記録作業や情報伝達がスムーズになる事で作業効率を上げ、ご入居者様と関わる時間を更に増やし、質の高いサービスを提供できる様、努めてまいります。

5 防ぐことのできる事故0(ゼロ)へ

事故には複数の要因が絡み合っている事が多いため、「本人要因・職員要因環境要因」様々な角度から分析し、それぞれへの対策を考える事が重要です。この考え方を事故身体拘束委員が主体となり、施設内研修や委員会活動にて職員一人ひとりに定着させる事を目標に取り組んでまいりました。委員会では、各フロアでの事故の事例を基に情報共有を行い、同様の事故を未然に防ぐ事ができる様努めました。リスクマネジメントの強化にはヒヤリハット事例の記録と共有が不可欠ですが、事故件数に対して報告が少ないのが現状です。次年度はヒヤリハットの収集から事故防止の対応策を多角的な視点から検討し、PDCAを継続的に行う事ができる様、取り組んでまいります。

(6) 社会資源としての役割

社会資源としての役割を果たす場面として、施設職員としての特性上、地域へ出ていく機会が持ちにくいことは否めません。ただ、入居についての問い合わせや相談等の電話や来館時には、単に質問に答えるだけでなく、簡単なアセスメントを行いつつ役立つ情報や視点、また社会資源へのアクセス方法などを短時間で効率的に提供出来るよう意識して取り組んできました。特に最近、高齢者・要介護者の方自らから相談してこられることも多くなっています。その方の状況を的確に把握し、理解いただけるような説明や言葉遣いに努め、必要時には地域包括支援センター紹介させていただきました。引き続き、「相談出来て良かった」「安心出来た」と一人多くの方に思ってもらえるよう努めてまいります。

やわらぎの里 東谷 ご入居者様の概況報告

特別養護老人ホーム(令和7年3月末日現在)

年 齢

男性	84.86歳
女性	90.71歳
全体	89.41歳

最高齢者	105歳
最低齢者	71歳

介 護 度

2階	3階	4階	全体
3.41	2.90	3.38	3.19

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	8	19	29	32	11	99
比率	8.0%	19.0%	29.0%	32.0%	11.0%	99%

介護保険負担限度額

	第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
人数	1	9	5	31	53	99
比率	1.0%	9.1%	5.1%	31.3%	53.5%	100%

保険者

川西市	60人	60.6%	奈良市	2人	2.0%
能勢町	2人	2.0%	大阪市	1人	1.0%
猪名川町	19人	19.2%	枚方市	1人	1.0%
豊能町	4人	4.0%	丹波篠山市	1人	1.0%
伊丹市	1人	1.0%	神戸市	2人	2.0%
寝屋川市	1人	1.0%	尼崎市	1人	1.0%
三田市	1人	1.0%	木津川市	1人	1.0%
芦屋市	1人	1.0%	箕面市	1人	1.0%
			合計	99人	100%

○特養ご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年4月10日	おやつレク(いちごゼリー)
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
2階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 30名		
「美味しいわ」と普段あまり食事召し上がらない方も、沢山召し上がってくださいました。		
実施日	令和6年 4/21. 29. 5/26	お取り寄せでいつもと違うティータイム
実施フロア	入居者様の好みのケーキやプリンなどを購入し、いつもと違うおやつを召し上がっていただく。	
3階ABDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 20名		
「美味しそうやなあ」「豪華やなあ」などいつもと違うおやつに心弾ませておられました。		
実施日	令和6年5月20日	ホットケーキ作り
実施フロア	日本の伝統行事に触れ合ってくださいことで、昔の思い出に浸っていただいたり、季節を感じていただくことを目的に実施しました。	
2階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 10名		
いつもと違う焼きたてふわふわのホットケーキを召し上がられ喜ばれていました。		
実施日	令和6年 5/23.27	DVD上映会
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
2階AB・3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 40名		
カニなどの豪華なネタもあり、お寿司を食べたいとリクエストしてくださったご入居者様も大変喜んでくださいました。		
実施日	令和6年5月24日	お取り寄せでいつもと違うティータイム
実施フロア	ゼリーやプリンを購入し、美味しい飲み物と一緒に提供しました。	
3階Cユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 20名		
お皿にもこだわり、いつもと違うおやつでほっこりとした時間をお過ごしいただくことができました。		
実施日	令和6年5月29日	お取り寄せでいつもと違うティータイム
実施フロア	ゼリーやプリンを購入し、美味しい飲み物と一緒に提供しました。	
3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 20名		
お皿にもこだわり、いつもと違うおやつでほっこりとした時間をお過ごしいただくことができました。		

実施日	令和6年6月8日	カラオケレク
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
4階全ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 23名		
「美味しいわ」と普段あまり食事召し上がらない方も、沢山召し上がってくださいました。		
実施日	令和6年6月29日	果肉入りゼリーでさっぱり 初夏のティータイム
実施フロア	果肉入りゼリーと飲み物を提供しました。	
3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 20名		
フレッシュな果肉の入ったのど越しの良いゼリーを召し上がり「冷たくて美味しいわ」と喜ばれていました。		
実施日	令和6年7月29日	アイスクリーム
実施フロア	日本の伝統行事に触れ合っていただくことで、昔の思い出に浸っていただいたり、季節を感じていただくことを目的に実施しました。	
3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 20名		
ひんやり口溶けの良いアイスクリーム。リクエストが多いため、皆様大変喜ばれていました。		
実施日	令和6年7月30日	ホットケーキ、プリン
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
3階Cユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 10名		
カニなどの豪華なネタもあり、お寿司を食べたいとリクエストしてくださったご入居者様も大変喜んでくださいました。		
実施日	令和6年8月9日	フルーツポンチ
実施フロア	スイカや色々なフルーツにサイダーを投入して目にも楽しいフルーツポンチを召し上がっていただきました。	
2階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 20名		
カラフルなフルーツと清涼感のあるサイダー。夏にぴったりのデザートを召し上がり、「美味しいわ」「綺麗ななあ」と喜んでくださいました。		
実施日	2024/8/25、31	アイスクリーム
実施フロア	リクエストの多いアイスクリームを召し上がっていただき、一服の清涼感を味わっていただく。	
3階ABDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 10名		
「冷たくて美味しいわ」と夏にぴったりのデザートを皆様喜んでくださいました。		

実施日	令和6年8月21日	うな井(スタミナつけて夏を乗り切ろう)
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
4階全ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 40名		
「美味しいわ」と普段あまり食事召し上がらない方も、沢山召し上がってくださいました。		
実施日	令和6年8月30日	あんみつ、水ようかん
実施フロア	季節のおやつを食べて涼んでいただく	
3階Cユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 10名		
普段なかなか食べることのないあんみつを食べ皆様喜んでおられました。		
実施日	令和6年9月9日	花火鑑賞会
実施フロア	日本の伝統行事に触れ合ってくださいことで、昔の思い出に浸っていただいたり、季節を感じていただくことを目的に実施しました。	
特養・ショート全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 120名		
ダイナミックな花火をご覧いただきたく、今年は打ち上げ花火のみに限定しました。夏の夜空に美しく咲き誇る花火と音色を鑑賞され、「きれいやなあ」「良かったわ」「びっくりしたー」といったお言葉をいただきました。		
実施日	令和6年9月16日	敬老の日のお祝い
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 100名		
カニなどの豪華なネタもあり、お寿司を食べたいとリクエストくださったご入居者様も大変喜んでくださいました。		
実施日	令和6年 9/18, 20, 24	居酒屋レク
実施フロア	居酒屋風の空間でノンアルコール飲料とおつまみを提供し、非日常のひとときをお過ごしいただく。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 95名		
ビールは好まれないと思っていたご入居者様からも続々とビールのご注文が入り、新たな一面が垣間見えました。出来立てのたこ焼きやフランクフルトなどおつまみを食べながら、ご入居者様同士の会話も弾み、楽しいひとときを過ごされていました。		
実施日	令和6年9月27日	プリンと果汁入りジュース
実施フロア	モンブランプリンとジュースを召し上がっていただく。	
3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数 20名		
プリンは大きめでしたが、モンブランが季節に合っていて「きれいし、美味しい」と喜んでくださいました。飲み物は施設では味わえないマスカット・パイナップル味が好評でした。		

実施日	令和6年9月30日	酷暑をスッキリデザートでサラッと乗り切るデザートタイム
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
4階全ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 40名
「美味しいわ」と普段あまり食事召し上がらない方も、沢山召し上がってくださいました。		
実施日	令和6年10月15日	プリンアラモード
実施フロア	昔懐かしいおやつでティータイムを楽しんでいただきました。	
2階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 20名
フルーツが贅沢に盛り付けられたプリンアラモードを皆様美味しそうに召し上がっておられました。		
実施日	令和6年 10/26, 31	秋祭り
実施フロア	日本の伝統行事に触れ合っていただくことで、昔の思い出に浸っていただいたり、季節を感じていただくことを目的に実施しました。	
3階全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 120名
童心に帰り、無我夢中で金魚すくいや魚釣りを楽しませていました。射的の名手も誕生し、職員も一緒になって楽しませていただくことができました。		
実施日	令和6年10月26日	菓子パン、クロワッサンでティータイム
実施フロア	クロワッサンやデニッシュ生地のパンをトースターで少し焼いて召し上がっていただきました。	
3階Dユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 20名
クロワッサンなど「サクサクして美味しい」と皆様喜んでくださいました。		
実施日	令和6年10月31日	パンケーキと紅茶でティータイム
実施フロア	チーズクリームが間に入っているパンケーキと蜂蜜入りの紅茶を提供する。	
3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 20名
パンケーキはボリュームがあり、大変好評で、ほとんどの方が完食されていました。紅茶もはちみつがほんのり香り、味も甘すぎず「ちょうど良かった」と仰っていました。		
実施日	令和6年11月11日	マンドリンアンサンブル
実施フロア	普段とは違った雰囲気の中、ギターやマンドリンの音色を聴きながら楽しんでいただく。	
特養・ショート全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 65名
穏やかな音色に涙しながら口ずさんでおられるご入居者様や、気持ちよくウトウトとされていた方もおられゆったりとした時間を過ごしていただくことができました。		

実施日	令和6年 11/14、20、21	秋の運動会
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
特養・ショート全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 110名
「美味しいわ」と普段あまり食事召し上がらない方も、沢山召し上がってくださいました。		
実施日	令和6年11月22日	和菓子処『うませ』の和菓子をいただく
実施フロア	暦に合わせて作られた目にも楽しい和菓子を召し上がっていただき、秋のひとときを過ごしていただく。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 100名
紅葉をモチーフにした練り切りときざみ以下の方にはもみじを散りばめた錦玉羹風の寒天をご用意しました。美味しい緑茶と共に「綺麗な色やねえ」「美味しいわ」と皆様喜んでくださいました。		
実施日	令和6年 11/25、29	ABおやつレク(ワッフル) CDおやつレク(ケーキとプリン)
実施フロア	AB:ホワイトチョコのかかったワッフルとミルクコーヒーを提供する。 CD:ケーキとプリンを提供する。	
3階全ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 40名
AB:「たまに珍しいおやつが出て嬉しい」やコーヒーもミルクが多めのため「美味しい」仰られていました。 CD:季節のケーキを召し上がられ、好評でした。		
実施日	令和6年 12/17、21	クリスマスパーティ
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
4階全ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 40名
カニなどの豪華なネタもあり、お寿司を食べたいとリクエストしてくださったご入居者様も大変喜んでくださいました。		
実施日	令和6年12月24日	クリスマス会
実施フロア	サンタに扮した職員と写真撮影をしたり、ホールのケーキを取り分けて召し上がっていただきました。	
3階全ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 40名
普段とは違うサンタに扮した職員を見て微笑まれていたたり、いちごたっぷりのクリスマスケーキを召し上がられ楽しまれていました。		
実施日	令和6年12月24日	クリスマス会
実施フロア	クリスマスソングを唄ったり、漢字クイズやビンゴ大会などを実施しました。	
2階A・Bユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 20名
漢字クイズでは物知りのご入居者様が大活躍され、ビンゴ大会も盛り上がっていました。最後にクリスマスケーキを召し上がられ、楽しいひとときを過ごされていました。		

実施日	令和7年 1月1日	お屠蘇
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
特養・ショート全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 120名
「美味しいわ」と普段あまり食事召し上がらない方も、沢山召し上がってくださいました。		
実施日	令和6年11月22日	和菓子処『うませ』の和菓子をいただく
実施フロア	暦に合わせて作られた目にも楽しい和菓子を召し上がっていただき、秋のひとときを過ごしていただく。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 100名
紅葉をモチーフにした練り切りときざみ以下の方にはもみじを散りばめた錦玉羹風の寒天をご用意しました。美味しい緑茶と共に「綺麗な色やねえ」「美味しいわ」と皆様喜んでくださいました。		
実施日	令和7年1月17日	もちつき
実施フロア	日本の伝統行事に触れ合っていただくことで、昔の思い出に浸っていただいたり、季節を感じていただくことを目的に実施しました。	
特養・ショート全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 120名
拍手や声援を送ってくださる方、お餅を搗いてくださる方、外国人職員も初めてのもちつきを体験し、ご入居者様、職員共に楽しい時間を過ごすことができました。		
実施日	令和7年2月2日	節分(豆まき)
実施フロア	豆まきで1年間の無病息災を願い、季節を感じていただく。	
全フロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 100名
豆に見立てた玉を鬼に扮した職員めがけて「鬼は外ー」と力いっぱい放り投げてください、「あれ誰や?」と仰りながら職員のコスチューム姿をご覧になり、涙を浮かべて大爆笑されていた方もいらっしゃいました。職員にとっても思い出に残る行事となりました。		
実施日	令和7年2月17日	おやつレク(ケーキ、プリン)
実施フロア	普段なかなか食べることができないお寿司を召し上がっていただきました。	
2階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 20名
カニなどの豪華なネタもあり、お寿司を食べたいとリクエストしてくださったご入居者様も大変喜んでくださいました。		
実施日	令和7年2月18日	ケーキでティータイム
実施フロア	桃の様なデザインのケーキと飲み物を召し上がっていただきました。	
3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 20名
飲み物は何種類かスティックの物を用意し、お好きな物を飲んでいただきました。桃の様なケーキも可愛らしく好評でした。		

[illegible]

入居計画委員会 総括 資料

①入居待機者数(令和7年3月31日現在)

計 122名の待機者の内訳

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
7	20	45	35	15

②月別入退居者数

令和5年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	6	3	1	97.33%
		3		
5月	1	0	0	100.00%
		0		
6月	1	1	0	100.00%
		1		
7月	3	4	0	98.87%
		4		
8月	3	4	0	96.94%
		4		
9月	4	2	0	97.80%
		2		
10月	2	4	0	98.03%
		4		
11月	3	0	1	97.87%
		1		
12月	2	2	0	97.97%
		2		
1月	3	4	1	97.45%
		5		
2月	3	1	0	96.86%
		1		
3月	1	1	1	98.13%
		2		
計	32	29		
年平均	2.67	2.42		98.10%

令和6年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	3	1	0	99.53%
		1		
5月	3	4	0	99.26%
		4		
6月	3	2	1	98.70%
		3		
7月	3	2	0	99.55%
		2		
8月	2	0	2	99.52%
		2		
9月	1	1	1	99.93%
		2		
10月	3	2	1	99.23%
		3		
11月	3	3	1	99.03%
		4		
12月	4	4	0	99.10%
		4		
1月	4	3	0	98.45%
		3		
2月	3	1	1	100.00%
		2		
3月	5	4	0	98.87%
		4		
計	37	34		
年平均	3.08	2.83		99.26%

総括

ご利用者様に住み慣れた我が家での生活と同様に安心して過ごしていただけるようユニット型の特性を生かし個別性を重視したサービスを提供してまいりました。

そのために、在宅生活を支えるご家族様や居宅介護支援事業所のケアマネジャー様との情報共有に努めてまいりました。

(1) 【質の高いサービスの提供】

ご利用者様一人ひとりのこれまでの生活歴や既往歴等の情報収集に勤め、個別性の高いサービスを提供してまいりました。サービスご利用中の様子観察で得た情報の共有をスタッフ間で確実にを行い、対応の統一化をはかり、ご利用者様が混乱することなく安心してご利用していただけるよう努めてまいりました。

(2) 【スタッフの資質向上】

施設内研修への参加を重ね、介護に関する知識や技術を習得し、現場でのサービス提供に生かしてまいりました。

ご利用者様への気持ちの良い挨拶や声掛けを心掛け、対応の仕方ではスタッフ間でお互いに気付きを伝えあい、ご利用者様に気持ちよく過ごしていただけるよう努めてまいりました。

認知症の方への適切な対応ができるよう、病気の知識と理解を深め対応することが今後の課題です。

(3) 【多職種の連携強化】

ご利用者様一人ひとりの状況に応じた支援を行う為、健康や栄養管理、歩行状態等日常生活動作の確認や日常生活のサポートなどそれぞれの職種が専門知識を生かしながら連携することでより良いサービスの提供に努めてまいりました。

他職種間では日頃から良好なコミュニケーションを心掛け、気軽に相談できる関係性を築いてまいりました。

(4) 【レクリエーションの提供】

ご利用者様の身体的、精神的な健康を支える為、それぞれの健康状態や趣味嗜好を勘案し個別のニーズに合わせたレクリエーション活動を行いました。ご利用者様の身体機能や認知機能に配慮し、簡単な手作業や軽い運動を取り入れた活動、認知症のご利用者様向けに記憶を刺激する活動などを実施しました。

集団で行うレクリエーション(歌やゲームなど)を通して他者とのコミュニケーションを取ることで社会的交流を促してまいりました。

季節に合わせたレクリエーションを行い、ご利用者様に季節の移り変わりを感じていただき楽しさや新鮮さを提供してまいりました。

活動への参加を強制せず、ご利用者様が自身のペースで参加できる機会を整えてまいりました。

(5) 【ご利用者様の生活の質の向上への貢献】

ご利用者様やご家族様からの相談を受け、日常生活に関する問題や悩みを聴き、解決策を提案してまいりました。

ケアマネジャー様と連携し、ご利用者様の状態に応じたケアプランの作成をサポートし、ケアプランに基づいてご利用者様が入所中に、必要な支援やサービスを提供する為の計画書を作成しました。

ケアチーム全体がご利用者様の状況を正確に把握でき、適切な支援が提供されるよう健康状態や生活状況の把握に努めてまいりました。

多職種と連携しご利用者様の支援に必要な情報を共有することにより、最適なケアを提供する為の調整を行い、ご利用者様の生活の質を向上させることに貢献してまいりました。

○ショートステイ ご利用者様 お楽しみ行事一覧

※特養と合同で実施した行事は「特養行事」に記載しています。

実施日	令和6年5月26日	行事名:プリンアラモード
実施フロア	ご利用者様に好きな果物を選んで頂きワイワイと楽しみいただきトッピングしていただく	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		
		参加人数 19名
皆様、大きなプリンでありましたが完食されておられました。		
実施日	令和6年6月24日	行事名:世界でたった一つのパンケーキ作成
実施フロア	生地を混ぜたり、焼く工程も出来る限り挑戦して頂き楽しさやおいしさを感じて頂く	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		
		参加人数 21名
ソフト食のご利用者様も(佐藤悠紀子様)「パンケーキ食べたい」と仰い、デイサービスの相談員に確認し、お召し上がりいただき喜んでいただけました。あるご利用者様は「こんな日に来られて幸せや」と仰っていただきました。		
実施日	令和6年7月18日	行事名:ビアガーデン
実施フロア	初夏の暑さをお祭り雰囲気ですビアガーデンで沢山笑って食べて楽しむ	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		
		参加人数 17名
お好きな飲み物を選んで頂いたこ焼き、焼きそばと一緒に提供。量があるけれど皆様「お腹いっぱい」とほぼ全部召し上がられていました。ノンアルコールビールを提供し、「ビール飲むの久々や」と喜んでおられました。準備や、調理の手伝いも積極的にして下さったご利用者様もいました		
実施日	令和6年8月15日	行事名:スイーツレクリエーション
実施フロア	ひんやりと冷たいかき氷に好きなフレーバーを選んで頂き厳しい暑さを乗り越えて頂く	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		
		参加人数 17名
毎年尋常じゃない暗い暑さが厳しくなっている中、かき氷をお召し上がりいただき暑さをふっとばせたように感じます。		
実施日	令和6年9月26日	行事名:園庭で秋を散策、喫茶ルームでティータイム
実施フロア	普段と違う場所でお茶とお好きなケーキを楽しんで頂き、少しずつ訪れる秋を感じて頂く。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		
		参加人数 17名
いつもと違うティーカップでおしゃれな雰囲気の中バックミュージックもかざなり男女問わずお喜びいただけました		
実施日	令和6年12月24日	行事名:2024 ハッピークリスマス会
実施フロア	クリスマスの雰囲気を存分に楽しんでいただき、笑顔溢れる時間をすごしていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		
		参加人数 20名
スタッフがトナカイや、サンタに扮し皆様と楽しむ。ケーキもぺろりと召し上がられていた。		

○ショートステイ ご利用者様 お楽しみ行事一覧

※特養と合同で実施した行事は「特養行事」に記載しています。

実施日	令和7年2月23日	行事名: あったかおでん
実施フロア	寒い冬に、温かいおでんと炊き込みご飯を提供し身も心もぽかぽかになっていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 17名		
普段あまり召し上がらない方でも、「ちょうどおでん食べたかったの」と発言があり、皆様喜ばれていました。おでんの屋台風の皆様の席前で盛り付けを行い、お召し上がりいただきました。		
実施日		
実施フロア		
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 名		
実施日		行事名:
実施フロア		
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 名		
実施日	令和6年8月15日	
実施フロア		
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 名		
実施日		
実施フロア		
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 名		
実施日		
実施フロア		
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 名		

総括

(1) 通所介護計画に基づくサービス提供と生活相談

今年度も、各ケアマネジャーから頂いた計画書にもとに、通所介護計画を作成し、計画書をもとにサービス提供を実施しました。ご利用者様の状態観察を行い、日々のご様子で気になる出来事などがあれば、ケアマネジャー様・ご家族様に状況の報告を行い、必要に応じて、サービス担当者会議に参加し、計画書の見直しを実施しております。次年度についても、継続して、ご利用者様の状態に合わせた計画書が作成できるよう、各担当者と協議を行い対応してまいります。

(2) 機能訓練

機能訓練指導員により、ご利用者様お一人おひとりの日常動作の把握と残存機能の活用による生活の質の改善の為に目標の設定を行っております。ご利用者様のご意見を訓練中にコミュニケーションを通じて確認させていただき、日々の生活での困りごとなどを確認しながら個別目標の設定に役立て、ご利用者様が望まれる機能訓練の実施。またご家族様のご意見も踏まえて、機能訓練を実施してまいりました。今後もご利用者様のお声を大切に、安全な在宅生活が送れるよう対応してまいります。

(3) 入浴・食事・その他の日常生活の援助

入浴では、ご利用者様の安全ご入浴して頂けるよう援助し、心身のリフレッシュと全身状態の確認を行い、ご家族様やケアマネジャー様に情報共有を行っております。食事については、今年度も東谷にしかない鉄板を使用して、食べる楽しみだけでなく、職員が作る姿をまじかで見てもらい、見る楽しみにもプラスして食の提供を実施してまいりました。その他の生活援助についても、ご利用者様お一人おひとりのご様子を確認し、その方に応じた援助を実施しております。

(4) 健康管理

看護師・介護職員が連携して、ご利用者様の状態観察・バイタル測定を行い異常の早期発見に努めてまいりました。ご利用者様の急変時には、嘱託医への連絡も行い往診診療にもつなげております。今年度もご利用者様に数名、新型コロナウイルスに感染されご利用できない方もおられましたが、デイサービスでの蔓延は防止する事ができています。デイサービスでは、特養と比較して感染を持ち込みやすい事業ですが、日々の体調確認をしっかりと行い、感染対策の徹底を行い、今後も感染症の蔓延を防止できるよう、対応してまいります。

(5) 職員の資質向上

今年度も研修検討委員会メンバーが研修を企画して毎月施設内研修を実施しております。介護技術や知識の向上を目的に研修へ参加、デイサービス担当者会議で、ご利用者様への声かけや接し方などお一人おひとりの状況に合わせた細かな援助方法についても、協議し各職員が考える場面をつくるなど職員教育を実施しております。今後も継続して、各職員1人ひとりの資質向上につながるよう進めてまいります。

○デイサービス ご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年4月5・6日	お花見ドライブ
実施フロア	桜の満開の時期に、バスに乗ってドライブを楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数20名
14時からと14時半からの2便で桜通りから白金方面をドライブ、皆さん景色を楽しまれていました。		
実施日	令和5年5月15日	屋外でのティータイム
実施フロア	屋外で爽やかな季節を感じて頂きながらのティータイムを楽しんでいただく	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数22名
今回当日の天候が悪く、フロアでの開催となった。次回の開催は、時期を検討して実施したい。シャトレゼのプリンを提供し皆さん美味しそうに召し上がられる。		
実施日	令和5年5月23・24日	フラワーアレンジメント
実施フロア	季節の花を使いアレンジメントをする。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数23日22名・24日23名
綺麗なお花を前にすると皆さん明るい表情になり大変喜んでいただけた。送迎時にもご家族様との話題になり、お礼を言って下さるご家族様もおられとても喜んでいただけた。		
実施日	令和6年6月14日	鉄板を使用してのお好み焼き
実施フロア	鉄板を使用して、お好み焼きを作り、食べて頂く。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 25名
「今回も美味しかった。また食べたい」とのお声を頂く、皆さん好評でした。ご家族様からも父が喜んでいましたとお声をいただく。		
実施日	令和6年7月13日	おやつレク(ヨーグルトゼリーパフェ)
実施フロア	手作りパフェを召し上がって頂く。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数名 27名
ヨーグルト・アイス・フルーツ・コーンフレークを使用してパフェを作り提供した。皆さんとても美味しかったと好評でした。		

実施日	令和6年8月27日	夏祭り
実施フロア	夏祭りで季節を感じて頂く。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 17名
ゲームの千本引きがとても好評だった、その他にも輪投げや射的・パターゴルフ・ボーリングなども実施し楽しんでおられた。		
実施日	令和6年9月11日	敬老会
実施フロア	敬老の日のお祝い	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 21名
職員がウクレレや獅子舞を披露する。ご利用者様からは、あなたたちが弾くの！いつ練習したの？といったお声も頂き、リズムに合わせて歌っていただける方もおられ、とても好評だった。		
実施日	令和6年10月15日	昼食レクお好み焼き
実施フロア	鉄板を使用して、昼食にお好み焼きを提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 27名
鉄板を使用して、お好み焼きを提供、皆さんとても喜んで召し上がられる。		
実施日	令和6年11月14日	運動会
実施フロア	運動会を開催	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 29名
皆さん、笑顔で積極的に参加され、楽しんでおられる。綱引きが好評で一進一退の勝敗に盛り上がった。		
実施日	令和6年12月20日	クリスマス会
実施フロア	クリスマス会に参加して楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 24名
参加していただいたご利用者様がとても喜んでおられ、参加者の中には、「今年が一番良かった」とも言ってくださる方もおられた。今年のご利用者様も参加型のクリスマス会にした事で、一緒に歌を歌ってもらえたり、ゲームにも参加していただいた。		

実施日	令和7年1月9日	初釜
実施フロア	新年の行事として、初釜で楽しんで頂く。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数25名		
職員も着物に着替えた事で、ご利用者様も喜んでおられ、ご自宅に保管している着物の事や、昔に習っていた、お茶の事を話されていました。お抹茶が今年は、味が甘めで好評だった。		

実施日	令和7年1月18日	餅つき大会
実施フロア	新年の行事として、お餅つき大会を開催し楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数21名		
皆さん、手拍子をしながら、「よいしょ、よいしょ」と元気よく掛け声をかけてくださり、「懐かしかった」「昔、家でも餅をついてた」などの話をされていました。参加者全員にお餅つきを体験して頂き、とても喜んでいただけました。		

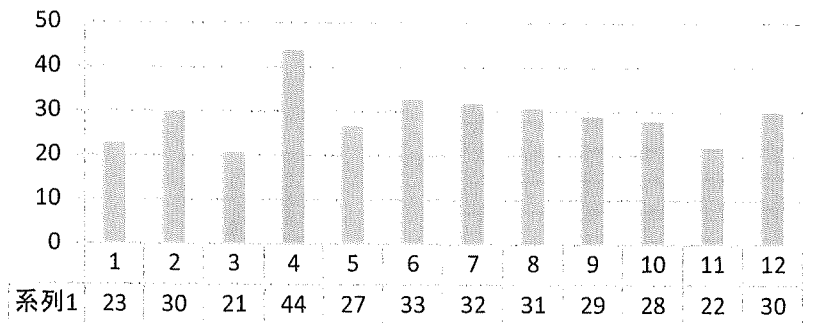
実施日	令和7年2月3日	節分
実施フロア	季節行事として節分を開催	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数27名		
参加頂いたご利用者様から「節分行事がとても楽しかった」とのお声を頂けた。普段レクリエーションに参加されない方でも、節分行事には参加され、積極的に豆まき用のボールを投げられる姿が見られた。		

実施日	令和7年2月19日	おやつレク(たこ焼き)
実施フロア	おやつにたこ焼きを作り、食べて頂いた。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数24名		
参加されたご利用者様から「とても美味しかった」とすごく好評でした。ご利用者様のなかには、「もっと食べたい」とおっしゃっていただける方もおられた。		

実施日	令和7年3月6日	お好み焼き
実施フロア	食レクでお好み焼きを召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数30名		
今回も、参加されたご利用者様から、「美味しかった」「あつあつで良かった」など皆さん喜んでおられました。		

受診件数	
4月	23
5月	30
6月	21
7月	44
8月	27
9月	33
10月	32
11月	31
12月	29
1月	28
2月	22
3月	30
合計	350

受診件数(350件)

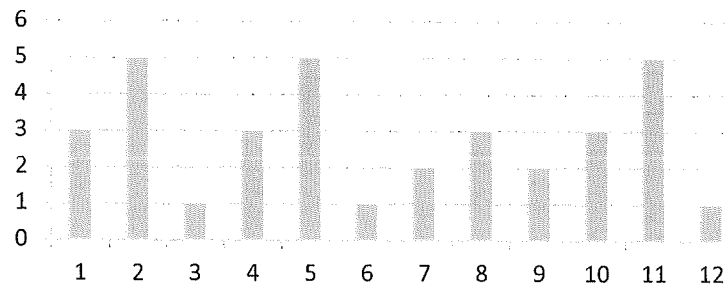


月別受診内訳	外科	内科	整形外科	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	心療内科	脳外科	胃瘻交換	その他
4月	0	7	2	9	2	1	2	0	0	0	0
5月	0	10	2	9	0	0	5	0	1	0	3
6月	0	8	0	10	1	0	2	0	0	0	0
7月	2	17	4	12	4	1	3	0	0	0	1
8月	0	8	3	12	0	0	3	0	0	0	1
9月	0	13	2	12	2	0	3	0	0	0	1
10月	0	13	2	11	3	0	3	0	0	0	0
11月	0	10	3	13	0	1	3	0	0	0	1
12月	0	7	3	13	1	0	4	1	0	0	0
1月	1	2	4	13	1	0	1	0	1	0	5
2月	0	1	2	11	1	0	1	0	2	0	4
3月	0	3	3	14	1	1	1	0	1	0	6
合計	3	99	30	139	16	4	31	1	5	0	22

その他は耳鼻科、形成外科、婦人科、乳腺等を含みます。

救急搬送件数	
4月	3
5月	5
6月	1
7月	3
8月	5
9月	1
10月	2
11月	3
12月	2
1月	3
2月	5
3月	1
合計	34

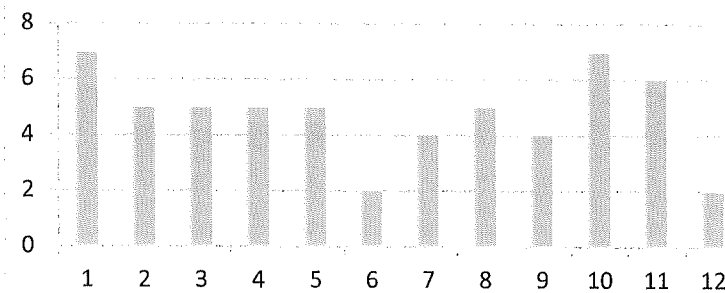
救急搬送件数(34件)



救急搬送内訳	
熱発	10
嘔吐・吐血	3
転倒(骨折・外傷)	3
脳梗塞	1
呼吸・意識不良	11
痙攣	1
心肺停止	3
心筋梗塞	1
誤嚥	1
合計	34

オンコール件数	
4月	7
5月	5
6月	5
7月	5
8月	5
9月	2
10月	4
11月	5
12月	4
1月	7
2月	6
3月	2
合計	57

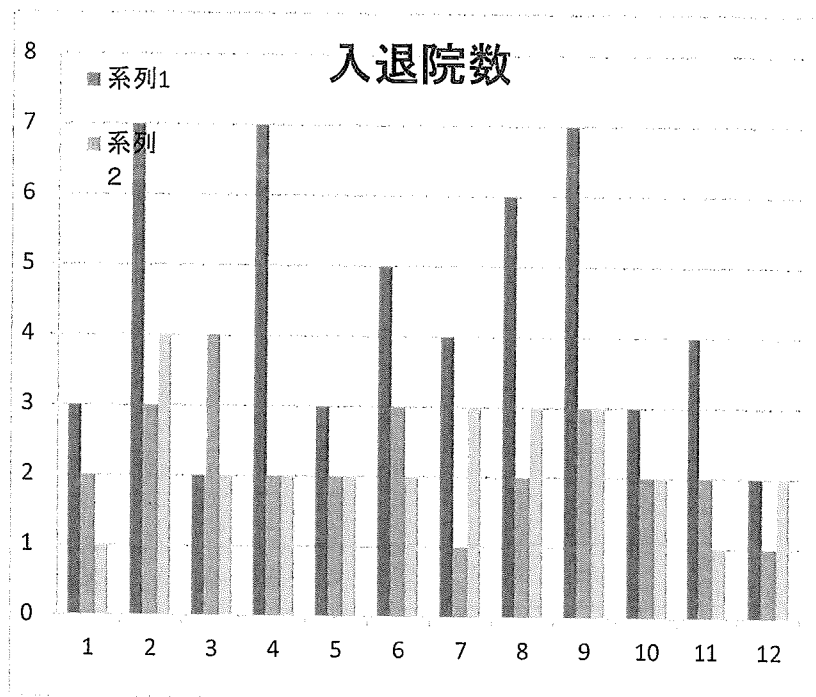
オンコール件数(57件)



オンコール件数内訳	
転倒	8
薬関係	10
熱発	9
その他	30
合計	57

	入院数	退院数	死亡・ 転院退
4月	3	2	1
5月	7	3	4
6月	2	4	2
7月	7	2	2
8月	3	2	2
9月	5	3	2
10月	4	1	3
11月	6	2	3
12月	7	3	3
1月	3	2	2
2月	4	2	1
3月	2	1	2
合計	53	27	27

医療処置対象者	
胃瘻	0
尿バルン	8
在宅酸素	1
インスリン	3



医療状況 前年度・今年度の比

		R5年度	R6年度
受診		435	350
オンコール		56	57
入院		67	53
退院		34	27
退居		24	27
心肺停止		0	3
診療情報提供書		96	68
歯科往診	口腔ケア	710	833
	治療	305	312

<総括>

1. 受診件数について

昨年度と比較して、85件減少となっております。内科や整形などの受診については減少に繋がったものの泌尿器科の受診が大幅に増加しています。泌尿器科の受診が増加した要因としては、昨年と比べ、バルーンカテーテルをつけられている方が増加した事で、定期的バルーン交換での受診が増えております。内科や整形の受診が減少した事については、転倒事故などの減少や、体調管理などの徹底により、受診件数が大幅に減少したと考えます。歯科の受診についても、昨年と同様に、カラー歯科の訪問により、外部受診になる件数が減少しており、ご入居者様にとって、施設内で治療ができ負担の少ない状況となっております。また今年度はその他の受診が増加となっております。

2. 救急搬送について

昨年度より増加しておりませんが、減少にも繋がっていません。今年度の救急搬送については、意識低下・酸素濃度の低下・急な発熱・脳梗塞・心肺停止などが理由となっています。意識低下・呼吸状態の悪化の原因が一番多く、その次に急な発熱となっており、救急搬送の三分の二の割合となっています。今後も継続して夜間のご入居者様の観察と、夜勤職員の緊急時対応の研修を行い、ご入居者様の安全確保を進めてまいります。

3. オンコールについて

昨年度より1件増加しています。転倒・発熱・薬関係のオンコールについては、それぞれ減少となっていますが、その他の内容が増えております。その他については、嘔吐やバルン抜去・胸痛・呼吸苦・意識低下などが要因となっています。

4. 入退院数・ご退去について

入院件数・退院件数共に、昨年度から減少しています。昨年度より、受診件数も減少しており、今年度は、ご入居者様の症状が落ち着いており、介護・看護ともに適切なかかわりができていたのではと考えます。継続的な健康管理の徹底を行い、来年度に繋げていきたいと考えます。また東谷では、看取りの対応が出来ておらず、退居者の状況を考え、少しでも早く看取り対応が可能になるよう各部署連携して取り組んでまいります。

5. 感染症発生について

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策を継続し、ご入居者様・ご利用者様への感染防止に努めてまいりましたが、残念ながら、今年も新型コロナウイルス感染が発生しております。幸いにも感染者は出たものの、数名の入院者は出ましたが、ご逝去にいたる状況にはならず、皆様回復に向かわれました。今年度の反省を踏まえて、臨時の感染対策委員会を開催し、再度東谷での感染対策マニュアルを改正し、その後職員に感染対策の研修を行っております。次年度には、感染拡大を防止できる

6. 人員などその他

人員について、今年度については、12月末で看護主任の退職があり、医務体制の不安もありましたが、新しく採用した看護師が経験豊富な方が入職され、即戦力として活躍してくれており、また川浪室長のお力も借りる事ができた事で、安定した医務体制を維持しています。現在でも医務主任不在となっておりますが、各看護師と相談連携をとりながら、ご入居者様・ご利用者様の日々の健康管理と異常の早期発見に努めてまいります。

感染対策委員会 総括

- (1) R6年11月11日～11月30日にかけて、ご入居者様および職員に対してインフルエンザ予防接種を実施しました。

しかし、令和6年12月にはご入居者様3名、職員4名のインフルエンザ感染が確認されました。

- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止策について

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止策については、法人全体で情報を共有し感染対策委員会からの情報発信に基づき、適宜対応を行いました。
- ② 厚生労働省や行政機関からの情報は速やかに発信し、全職員と共有しました。
- ③ R7年に感染が2度大規模拡大した事を踏まえて感染対策を見直しました。
変更したマニュアルを各階のファイルに挟み、全職員と情報を共有しました。
- ④ 新型コロナウイルスワクチン予防接種を施行しました。

8回目R年11月11日からご希望されるご入居者様に施行しました。

- ⑤ 新型コロナウイルス感染者発症 R6年7月 ご入居者様3名、職員2名
ショートステイご利用者4名
R6年8月 ご入居者様2名、職員13名
ショートステイご利用者3名
R7年2月 ご入居者様23名 職員11名

世の中の情勢とは異なり感染がなくなったわけではなく、油断はできない状況です。感染経路を確認し、発症者、濃厚接触者を確認し、分かった時点で行動に移せるよう初動対応に力を入れましたが、感染のスピードは早く、あっという間に拡大していったといった状況でした。また感染期間が長期化したことの原因追及をする余裕もなく拡大していった状況でした。今後は職員とより密に情報共有し、確実に感染対策を行っていきます。

- ⑥ R6年10月コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスの感染対策について介護職員全員に小テストを施行して回答と解説を記載し配布しました。
感染対応のガウンテクニックの講習も研修として年に2回取り組みました。
- ⑦ 他施設でもコロナウイルス感染者が多数あり、クラスターが発生していると医務連携本部会議で情報共有を行いました。各施設構造が違い対象の感染対策が違っていました。良い情報も悪い情報もは共有し、東谷の感染対策の参考にしました。

* 今後も法人全体で情報を共有し、感染対策に取り組んでいきます。

事故報告及び出来事報告(R6年4月～R7年3月)

種別	対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
骨折	受診	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	1	0	5
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打撲・捻挫・脱臼	受診	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	4
	経過観察	0	0	2	1	1	3	0	3	0	0	0	0	10
切傷・擦過傷	受診	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	経過観察	0	1	3	1	2	0	3	1	1	0	2	2	16
異食・誤嚥	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	経過観察	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
やけど	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の外傷	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	3	3	2	0	2	5	1	3	2	2	4	4	31
食中毒	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症・結核の伝染	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフの法令違反、不祥事	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬・服薬忘れ	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	3	3	1	2	2	2	4	4	2	2	1	5	31
その他(外傷なし)	受診	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	経過観察	9	5	9	2	5	3	8	4	9	4	2	7	67
発生後、受診総数		0	3	0	5	1	0	1	0	1	2	1	2	16
発生後、経過観察総数		15	13	17	7	12	13	16	15	14	8	9	18	157
計		15	16	17	12	13	13	17	15	15	10	10	20	173

次年度に向けて

今年度の事故総件数173件と昨年度比73%となりました。中でも、服薬に関する事故の件数が昨年は全体の約69件と多かったですが、今年度は31件とかなりの減少となっております。令和5年度の69件がかなりの異常数値であったことも踏まえて、令和6年の7月に服薬に関する意識調査や、服薬マニュアルの再周知、フロア長が中心となって服薬事故の削減するための取り組みや注意事項の確認など、重点的に取り組みました。

事故の総数が令和5年度より減少した事の一つに、事故報告書の書式変更をすることで、事故に対する意識の変化や3方向からの要因を考えたことなどが考えられます。

事故報告書を報告するものから、再発を防止するものに意識変化に繋げることができています。

毎月開催している事故・身体拘束廃止委員会にて、施設全体で起きている事故の情報共有を行い、過去に起きた事故に関して、再発防止や着眼点の変化などに取り組んでいます。

身体拘束防止委員会 総括

今年度も「身体拘束ゼロ」を目指して取り組んでまいりましたが、やむを得ず1件、2/21～2/28迄、4本柵の身体拘束を実施せざるを得ない状況がありました。これは退院後ご入居者様の安全確保を最優先に判断したものであり、当該ケースについては事故・身体拘束委員会にて詳細な振り返りと再発防止策の検討を行いました。

引き続き、職員への研修や情報共有を通じて、身体拘束がもたらす心理的・身体的影響についての理解を深め、認知症ケアの質の向上にも力を入れてまいります。ご入居者様の行動の背景にある要因を丁寧に見極め、残存機能の活用や環境整備など多角的な視点から拘束に頼らないケアを追求し、次年度も「身体拘束ゼロの実現」に向けて施設全体で取り組んでまいります。

令和6年度 身体拘束対象者数一覧表

[illegible]

やわらぎの里ふらす館

＜ 令和 6 年 度 ＞

(自)令和6年 4月1日 ～ (至)令和7年3月31日



やわらぎの里 ぷらす館

介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉

(1) ご入居者様、ご家族様が安心できる入居相談:報告 入居検討委員会

令和6年度は、新規ご入居者様32名、ご退居者様32名となりました。月平均入居率99.46%、生活率94.47%で、入居率は目標値を上回ることができましたが、生活率の目標値にはわずかですが届きませんでした。

毎月の面談数を5人以上行うために、近隣の病院・老人保健施設・居宅支援事業所だけでなく、遠方の病院からの入居申し込みなどにも積極的に動き、申し込みしやすい環境を作りました。また、ブログやInstagramなどのSNSで生活の様子や行事を発信することで、興味を持っていただき申し込みに繋がった事例もありました。

ご入居者様、ご家族様と信頼関係を構築するために、丁寧なやりとり、迅速な対応を心掛け、最初の窓口として、相談しやすい環境づくりに努めました。

(2) 看取りケアの開始

看取りケアが行える環境や体制の整備、職員への研修を実施していく中で、ご家族様より慣れ親しんだぷらす館で最期を過ごしてほしいという意向が受け、嘱託医とも相談しながら最初の看取りケアを行いました。ご家族様や看取りに関わる職員との連携を図り、ご入居者様やご家族様の意向を十分尊重しながらケアに努めました。

看取りケアは個別ケアの延長線上にあり、その方らしい生活のあり方を改めて話し合い、一人ひとりがその方のためにできることを考えました。

施設で最期を過ごしたいとの意向に添えるように、今後も看取りケアの研修、環境整備を行っていきます。

(3) 個別ケアの充実

個別ケアにおいて、その人らしい生活が実現できるよう各職種からの意見はもちろん、ご入居者様、ご家族様の生活史を踏まえたケアプラン作成に努めました。また、評価しやすい短期目標を策定し、定期的に評価を行っていくと共に、多職種連携し適切にケアの方針や計画が反映出来るよう取り組みました。

今年度はLIFE(科学的介護情報システム)を活用した個別ケアの見直しやPDCAサイクルを推進し、ケアの質の向上に取り組んでいきます。

(4) 職員の成長

職員一人ひとりが自身のケアに自信が持てるように、サービス担当者会議のあり方を見直し、より多くの職員が参加できるように変更しました。その結果、ご入居者様のことについて、一人ひとりがより考えるようになり、担当者会議の中でもたくさんの職員が発言するようになりました。

また、ユニットリーダーに外部研修に参加していただき、ユニット運営やユニットケアの視点を学びました。今までとは違った新たな視点に気づき、学んだことを少しずつ自身のユニットに取り入れています。

現在多くの外国人スタッフがたくさん働いている中で、外国人スタッフだけでも体調不良者の対応や急変者の対応ができるようにマニュアルの見直しを行い、業務の中で周知していきました。

(5) 感染症拡大に留意し心残る思いで作

感染対策に留意しながら、ユニットリーダー中心に日々の行事や四季を感じて頂けるようなレクリエーションを立案し、ご入居者様の「心」に残るような取り組みを行う事が出来ました。その他にも昨年に引き続き、「やわらぎcafé」を継続して行い、またその内容も創意工夫し実施する事で、昔を思い出して頂くほか、非日常的な空間を味わって頂くことが出来ました。

その他にも、年末に忘年会を開きご入居者様とスタッフ一同で様々なお話やゲームなどを行い最後に職員の出し物を見て頂くことで、いつもは介助拒否をする方なども表情を緩めて楽しそうな様子でした。

今後も、感染対策・レクリエーションに対する知識を深めながら、ご入居者様の心身の活性化を目的に、年間を通して様々なレクリエーション活動を計画・実施していきたいと思

やわらぎの里 ぷらす館 ご入居者様の概況報告

特別養護老人ホーム(令和7年3月31日現在)

年 齢

男性	87.12歳
女性	88.09歳
全体	87.85歳

最高齢者	102歳
最低齢者	73歳

介 護 度

2階	3階	4階	全体
3.20	3.30	3.38	3.29

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	7	13	37	28	15	100
比率	7.0%	13.0%	37.0%	28.0%	15.0%	100.0%

介護保険負担限度額

	第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
人数	2	9	9	35	45	100
比率	1.1%	8.7%	9.8%	38.0%	42.4%	100.0%

保険者

川西市	66人	66.0%	大山崎町	1人	1.0%
能勢町	2人	2.0%	尼崎市	1人	1.0%
猪名川町	12人	12.0%	かつらぎ町	1人	1.0%
豊能町	1人	1.0%	鳥取市	1人	1.0%
伊丹市	3人	3.0%			
宝塚市	1人	1.0%			
箕面市	2人	2.0%			
豊中市	4人	4.0%			
大阪市	2人	2.0%			
池田市	1人	1.0%			
神戸市	2人	2.0%			
合計				100人	100.0%

○特養ご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年4月4日	お花見ドライブ
実施フロア	車に乗車し、猪名川桜ロード・イナホールに行き、桜の様子を見る	
特養2F		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 8名
お花見とittedただけで、各ご入居者様は外出用の服に着替えたり、アクセサリなども付けて、かなり喜ばれていた様子だった。		
実施日	令和6年5月18日	食レク(クレープ作り)
実施フロア	感染対策行いながら皆でクレープを召し上がって頂く。	
特養4FCDフロア		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 20名
皆様普段出ないおやつを召し上がられて、大変喜んでる様子でした。普段はおやつを残される方も、全量召し上がられて、「美味しい」とかなり好評でした。		
実施日	令和6年5月26日	やわらぎCafe
実施フロア	普段と違ったおやつので雰囲気かを味わって頂く。デイサービスで『やわらぎCafe』をオープンし各ユニット毎にご案内してミックスジュースの提供行う。	
特養全ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 92名
ご入居者様に普段と違った雰囲気のでデイサービスでおやつを提供し大変喜ばれている姿みられていました。		
実施日	令和6年5月28日	食レク(餃子作り)
実施フロア	感染対策を行いながら、餃子を手作りにて行い、提供する。	
特養2階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 18 名
用意から積極的にお手伝いされるご入居者様もおられ、味も美味しいと好評でした。		
実施日	令和6年6月23日	食レク(カラオケ喫茶)
実施フロア	当初ぶらす館駐車場内にて外cafeの予定も、雨により中止。代わりにユニット内にてカラオケ喫茶レク行いました。おやつはシャトレーゼにて購入行ったゼリーを提供行う。	
特養4階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 20名
ご入居者様皆様楽しそうに過ごされていました。ゼリーも、皆様全量摂取されていました。		
実施日	令和6年7/18、8/4、8/20、8/21、8/22、8/27、8/28	夏祭り
実施フロア	特養の各ユニットにて様々な出し物行い、非日常を味わって頂く	
特養全館		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 40 名
普段味わうことのできない、非日常的な体験をして頂くことが出来ました。皆様大変喜ばれていました。		

実施日	令和6年9/14、9/15、9/17、9/26、9/27	敬老会
実施フロア	特養全館、各ユニットにて敬老会の出し物をさせて頂きました。 お寿司を出したり、昔懐かしの音楽などを流したりしました。	
特養4階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 95 名
皆様いつもと違う食事や雰囲気を楽しんでおられる様子でした。		
実施日	令和6年10月27日	行事レク/ハロウィン
実施フロア	ユニット内にて季節の行事を行い、雰囲気を楽しんで頂く。 カボチャケーキ・プリン提供、インドネシアのスタッフより、踊りを披露する。	
特養4FABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 19 名
皆様季節の雰囲気を楽しんでいらっしゃる様子でした。かぼちゃのケーキ・プリンは、「美味しい」と大変好評でした。		
実施日	令和6年11月21日	食レク(パフェ作り)
実施フロア	昼食後よりパフェ作りの準備行い、おやつの時間にて作成行ったものを提供行う。	
特養4FCDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 10 名
普段と違う、豪華なおやつの様子に、皆様喜ばれている様子でした。 「美味しい」と大変好評な様子でした。		
実施日	令和6年12月27日	忘年会
実施フロア	ご入居者様とスタッフ一同にて様々なお話やゲームなどをして頂く。 また、職員のマツケンサンバのダンスを見て頂く。	
特養各ユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 19 名
ゲーム大会では、ご入居者様も必死に取り組まれ、足の運動も兼ねたゲームを一生懸命楽しそうにやられていました。いつもは介助拒否が強い方も手や表情を緩めて楽しんでいる様子でした。		
実施日	令和7年2月26日	食レク(たい焼き、ぜんざい)
実施フロア	たい焼きを解凍し、ぜんざい温めて3時のおやつの時に提供行います。	
特養3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 10 名
ご入居者様の嚥下状態などに留意しながら、おやつの時間に提供行いました。皆様、「美味しい」と大変好評な様子でした。		
実施日	令和6年3月3日	ひな祭り
実施フロア	スタッフと共に歌を歌ったり、ピンポン玉ゲームをしたりします。 その後作成した顔出しパネルに入り写真撮影行います。	
特養2階CD、4階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 19 名
お歌を歌うなどして、ご利用者様が昔を思い出している様子がうかがえました。また、ピンポンゲームなどでは普段掴むことのないボールをつかんだり、仲間とコミュニケーションを図るなどして生活の中の刺激になりました。 また、今回4階はフロア全体で行う事が出来、皆様喜ばれていました。		

入居計画委員会 総括 資料

①入居待機者数(令和6年3月31日現在)

計 66名の待機者の内訳

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1	10	35	15	5

②月別入退居者数

令和5年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	7	1 0	1	96.10%
5月	3	1 0	1	99.19%
6月	2	1 3	4	98.13%
7月	3	0 1	1	98.68%
8月	3	4 0	4	99.68%
9月	2	3 2	5	96.80%
10月	4	0 0	0	97.65%
11月	1	1 1	2	99.33%
12月	3	0 2	2	99.65%
1月	2	1 1	2	99.06%
2月	1	0 1	1	99.86%
3月	2	1 1	2	98.84%
計	33	25		
年平均	2.8	2.1		98.59%

令和6年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	2	2 0	2	99.93%
5月	1	1 0	1	99.90%
6月	4	3 1	4	99.53%
7月	1	1 0	1	99.74%
8月	2	2 0	2	99.97%
9月	2	2 0	2	99.83%
10月	4	4 1	5	98.97%
11月	3	2 0	2	99.23%
12月	2	3 0	3	99.90%
1月	3	1 3	4	98.52%
2月	5	3 1	4	98.14%
3月	3	2 0	2	99.87%
計	32	32		
年平均	2.7	2.7		99.49%

短期入所生活介護施設運営事業〈ショートステイ〉

(1) サービス全般に関して

今年度は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行後2年目となり、社会全体としてもより一層、コロナ前の生活様式を取り戻す動きが進んだ一年となり、新規のご依頼件数も安定した推移となりました。

また、生活の質を高める取り組みの一環として、月2回のレクリエーション活動を継続的に実施いたしました。中でも、季節行事や食事を伴うイベントはご利用者様からもご好評をいただき、日々の楽しみや生活の活力となる時間を提供することができました。

感染症については、コロナウイルス感染症も発生しましたが、これまでに培ってきた感染対策の知見を活かし、速やかかつ適切な対応を行うことができました。

人員体制においては、中堅・リーダー層が中心となり、ご利用者様に対するサービスの質を維持・向上させる取り組みを継続して行いました。

(2) ご利用者様・ご家族様に寄り添ったサービスの提供

ご利用者様お一人おひとりの想いに寄り添いながら、個別性の高いケアの提供に努めてまいりました。また、ご家族様の不安やご要望にも丁寧に耳を傾け、安心してご利用いただけるよう心がけてまいりました。

特に今年度は、スタッフが主体的にアイデアを出し合い、季節の行事やレクリエーションなど、日々の生活に楽しみや笑顔をもたらす取り組みを積極的に実施しました。こうした活動は、ご利用者様の生活の質の向上につながったと実感しております。

一方で、居室の空きが限られていたことから、新規や緊急でのご利用希望に対応できない場面もあり、やむを得ずお断りせざるを得ないケースも見られました。この課題に対しては、引き続きご利用期間の適正化を意識しながら対応してまいります。

また、病院からの退院直後にショートステイをご利用される際には、看護スタッフと連携しながら体調の変化をこまめに観察し、感染症の予防にも細心の注意を払うことで、ご利用者様が安全かつ安心して過ごせるよう努めました。

(3) 質の高いサービスの提供

本年度は、法人全体で記録ソフトが導入され、記録業務の効率化が図られました。これにより、スタッフの記録入力にかかる時間が短縮され、日々の業務負担が軽減されました。

また、記録内容がリアルタイムで共有されるようになったことで、スタッフ間の情報共有も一層スムーズになり、ご利用者様への対応の質の向上にもつながりました。業務の効率化によって生まれた時間は、ご利用者様との関わりにしっかりと充てることができました。これまで以上に丁寧に寄り添うことができるようになり、お一人おひとりの気持ちや日々の変化に目を向けた支援が可能となりました。

今後もスタッフの働きやすさと支援の質の両立を目指しながら、より質の高いサービスの提供に努めてまいります。

○ショートステイ ご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年4月3日	お花見散歩と鯛めし(炊き込みご飯)
実施フロア	施設から見える山の桜の景色を楽しみ、春を感じていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 20 名
ベランダからのお花見を楽しまれ、昼食には鯛めしを提供。良い匂いがすると喜んでいただけました。		
実施日	令和6年5月7日	母の日
実施フロア	母の日のお祝いをする	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 15名
カーネーション(ソープフラワー)をお渡しし、洋風と和風のケーキを提供。とても好評でした。		
実施日	令和6年6月3日	食レク 梅としらすの混ぜご飯
実施フロア	初夏の食材で混ぜご飯を堪能していただく	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 15 名
お粥の方には大葉を入れない予定でしたが、みじん切りにすることで、食べられる大きさまでカットでき、あっさりしていて美味しいと喜んでくださいました。		
実施日	令和6年7月5日	七夕
実施フロア	七夕の気分を味わっていただく	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 20 名
短冊に願い事を書いていただき、お一人では難しい方は代筆しました。笹飾りを準備している際に「手伝うわ!」と声をかけてくださる方もおられました。		
実施日	令和6年8月21日	夏祭り
実施フロア	夏の雰囲気を感じて頂く	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 20 名
ビーチボールを使用したスイカ割りや盆踊りなど、積極的に参加して下さり「懐かしいねー」と笑顔がたくさん見られました。		
実施日	令和6年9月25日	敬老会
実施フロア	敬老の日をお祝いする	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18 名
メッセージカードに写真を添えてお渡しし、おやつにはケーキをご提供しました。皆様早いペースで喜んで召し上がられていました。		

○ショートステイ ご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年10月29日	食レク さつまいもご飯
実施フロア	秋の食材で季節を感じていただく	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 19 名
準備の段階から、「手伝うよ」と声をかけてくださる方もおられました。さつまいもを1cmやペーストにすることで、お食事形態に関係なく、全ご利用者様に召し上がっていただきました。		
実施日	令和6年11月28日	食レク 栗赤飯
実施フロア	秋の食材で季節を感じていただく	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18名
炊飯時から「良い匂いがするね」と楽しみに待ってらっしゃる方もおられ、美味しいと喜んでくださいました。		
実施日	令和6年12月24日	クリスマス会
実施フロア	クリスマスの雰囲気を楽しんでいただく	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 19 名
クリスマスツリーを点灯し、サンタの帽子をかぶってツリーの前でお写真を撮らせていただきました。おやつにはクリスマスケーキをご提供し、プレゼントも喜んでいただきました。		
実施日	令和7年1月10日	書初め
実施フロア	お正月の気分を味わっていただく	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 16 名
事前に名札を準備しておき、筆ペンを使用してお一人ずつお名前を書いていただきました。お名前の漢字はご自身で書ける方が多く、すらすらとペンを進めておられました。		
実施日	令和7年2月5日	節分 鬼のお面作り
実施フロア	節分の鬼のお面を作り、季節を感じて頂く	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18 名
鬼の顔がお一人お一人違い、皆様の個性が出た作品となりました。		
実施日	令和7年3月5日	ひなまつり
実施フロア	桃の節句のデコレーションケーキをご提供	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 20 名
桃の節句のデコレーションケーキを悩みながら選ばれていました。飾りも可愛く、味だけでなく目でも楽しんでいただきました。		

(1) 個別性と専門性を兼ね備えたサービスの提供を目指す。

今年度は新旧のご利用者様の入れ替えが激しく、慌ただしさを感じた一年となりました。またご利用者様の心身状態についても、すでにご利用されている方だけでなく、新規利用の方の中にも不安定な方が多く、介護技術だけでなく医療的な知識の必要性を感じる一年でもありました。特に今年度後半は認知症の憎悪による介護施設への入所や転倒事故等による入院が多く、ご利用者様の心身状態の把握だけでなく、ご家庭での生活状況等の情報の収集や居宅介護支援事業所との連携がいかに重要かを改めて感じる事となりました。その反省を活かし、契約や担当者会議等の席での情報収集をさらに密に取り、またご家族様や居宅介護支援事業所とは些細なことでもこまめに連絡相談を行ない、転倒等の事故を未然に防ぐ為の対策や持病等からくる体調の悪化防止に努めました。

職員についてもご利用者様の変化に適時対応できるように日頃より情報交換を行ない、また研修だけでなく個別指導を行う等技術の伝達の機会を設けて介護技術の向上を図りました。医療の知識についても個々のご利用者様の持病に合わせて知識や対処方法の伝達を行ない、職員の専門性の向上とご利用者様に安心してご利用いただける環境作りに尽力しました。

(2) 機能訓練について

今年度は新しいご利用者様の中に認知症による行動障害をお持ちの方が多くみられ、機能訓練についてもご家族様から従来の身体機能の向上だけでなく、認知面へのアプローチを希望されるお話を多くいただきました。その希望にできるだけ沿うよう、機能訓練指導員と共に、対象のご利用者様に合わせた訓練内容を検討し、提供することに努めました。反面、最近は機能訓練の充実を希望されるご利用者様も多く、ノルディックポールを使用した訓練を新しく取り入れたり体操の時間を増やしたり、また自主リハビリに活用できる訓練機材を新しく取り入れる等、できるだけご利用者様の声に応え、ご満足いただける機能訓練の提供に尽力しました。

(3) 心と体にご満足いただけるお食事の提供

食事は体だけでなく心の栄養にもなり得るものですので、なるべく美味しく召し上がっていただけるように、栄養士等関係機関と連携し、ご利用者様のご意見も伺いつつ、日々改善に努めてきました。また味だけでなく食事の時間を楽しんでいただけるように、ゆったりとした音楽を流す等雰囲気作りにも注力しました。

またご高齢になるにつれ、身体機能や体調等が変化して食べられるものが少なくなったり食欲の減退がみられる方が多くなることを鑑み、おやつ作り等の食レクも徐々に増やして食べるだけでなく作ることの楽しさを感じていただく場を設けることで、食への関心を取り戻していただき、食べることの楽しさや喜びを取り戻していただけるよう努めました。

安全な食事についても配慮し、ご利用者様の体調や心身状態の変化に合わせて食事形態を変え、安心して食事を召し上がっていただけるよう努めました。

(4) レクリエーションの目的を考え、内容の充実を図る。

前年度より趣味活動の充実を図り、クラブ活動として麻雀や手作業、書道等のご利用者様が希望される活動を楽しんでいただく場を増やしてきました。その成果もあり、居宅介護支援事業所には「レク活動が充実している」と趣味活動目的に体験を申し込まれる方が増え、契約数の増加に繋がりました。認知症憎悪により個人活動が難しいご利用者様についても、周囲のご利用者様のご理解と協力を得て集団でのゲーム等に参加していただくことで疎外や孤立を感じることなく、デイの一員として色々な活動を楽しんでいただける機会ができ、またご協力いただいた方についても「自分も誰かの助けになることができる」という自己の可能性や役割を発見できる機会となるという良い互助関係の構築に繋げることができました。今までもご利用者様の心身の活性化等を目的にレクリエーション内容を考えてきましたが、新たにご利用者様同士の関係作りや個々の可能性の発見に活用できるレクリエーションの在り方についても検討、内容の改善に取り組むことができました。

(5) 同法人各施設との連携について

今年度は相談員の顔ぶれが変わる等今までの連携が難しくなることもあり、まずは新しい関係作りに注力しました。会議等の顔を合わせる機会を利用して交流を図ることで、互いに連絡や相談を行いやすい環境作りを行い、日々の業務が滞りなく行えるように努めました。

○デイサービス ご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年4月1日～4月6日	お花見ドライブ	52名
実施フロア	綺麗な桜を見て季節を感じていただきました。		
デイサービス			
ご利用者様の声			
開花が予想よりも遅く、予定を変更して実地しましたが、それでも初日は2.3分咲程度でした。が、数か所見頃の桜があり、菜の花も咲いているところがありましたので、色々な景色を楽しんでいただきました。最終日には満開の桜を楽しんでいただくことができました。			
実施日	令和6年5月11日	たこ焼き作り	15名
実施フロア	関西の粉もんを味わっていただきました。		
デイサービス			
ご利用者様の声			
お休み等によりご利用人数が少なく、盛り上げる為に急遽実施しました。たこ焼き作りは久しぶりだったので皆様に喜んでいただきました。本来のタコは噛みにくいこともあり、カニカマで代用しましたが好評でした。			
実施日	令和6年5月25日	パフェ作り	12名
実施フロア	冷たいデザートをご自分で好きなように作って楽しんでいただきました。		
デイサービス			
ご利用者様の声			
気温が高くなってきたこともあり、冷たいデザートはとても好評でした。皆様思い思いに果物等で飾り付を行ない、見た目や味を楽しんでいただきました。			
実施日	令和6年6月7日	フラワーアレンジメント	13名
実施フロア	ご利用者様の創作意欲を高めて作品作りの楽しさを感じて頂きました		
デイサービス			
ご利用者様の声			
元々は清和台デイと合同で、外部からの講師を呼んで行う予定でしたが、参加人数等の都合により急遽当館のみで実施することになりました。花材の手配から色々と慌ただしかったですが、参加された方からは「綺麗に生けた」と満足のお声を多くいただきました。			
実施日	令和6年6月15日	クリームあんみつ作り	15名
実施フロア	冷たいデザート作りを楽しんでいただきました		
デイサービス			
ご利用者様の声			
ご高齢者ではお好きな方が多いあんみつだったのでとても好評をいただきました。寒天に味をつけなかったのですが、かえってさっぱりとめしあがっていただくことができました。			
実施日	令和6年6月26日	フルーツパフェ作り	25名
実施フロア	ご家庭ではなかなかできないスイーツ作りを楽しんでいただきました		
デイサービス			
ご利用者様の声			
スポンジやフルーツをカットしていただいたり、準備段階からご参加いただきました。久しぶりに包丁を使った方もおられ「まだできるわ」とご自分で調理することに喜びを感じていただけました。出来上がったデザートも「美味しい」と喜んでいただきました。			

○デイサービス ご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年7月23日	冷やしぜんざい作り	24名
実施フロア	冷たいデザート作りを楽しんでいただきました		
デイサービス			
ご利用者様の声			
冷たいぜんざい？と最初は首を傾げる方もおられましたが、暑い中冷たいデザートに「涼しくなった」「冷たくて美味しい」と大好評でした。			
実施日	令和6年8月8日	納涼祭	23名
実施フロア	季節の行事を楽しんでいただきました		
デイサービス			
ご利用者様の声			
金魚すくいや輪投げ等昔懐かしい遊びを楽しんでいただき、お祭りの雰囲気味わっていただきました。			
実施日	令和6年9月16日	敬老会	27名
実施フロア	皆様で敬老の日をお祝いしました。		
デイサービス			
ご利用者様の声			
スタッフの段ボール太鼓の演技がとても好評でした。その後のビンゴゲームもとても盛り上がり、それぞれがご自分で選んだ景品に満足されていました。			
実施日	令和6年10月19日	おはぎ作り	16名
実施フロア	手づくりおやつを味わっていただきました		
デイサービス			
ご利用者様の声			
ご飯の固さも良く、残される方もおられず、皆様完食されていました。「昔はよく作った」と懐かしそうにおっしゃられながらも手際よくおはぎを作られていました。			
実施日	令和6年10月30日	ハロウィンゲーム	26名
実施フロア	ハロウィンに因んで普段とは違う雰囲気でゲームを楽しんでいただきました		
デイサービス			
ご利用者様の声			
毎年の恒例となっている行事ですが、全員で行うじゃんけんゲームは多いに盛り上がり、上位三名に入った方は景品を手にとっても喜ばれました。上位以外も残念賞を用意していたので、皆様にご満足いただけました。			
実施日	令和6年12月23日～25日	クリスマス会	51名
実施フロア	クリスマスのゲームやケーキを楽しんでいただきました。		
デイサービス			
ご利用者様の声			
クリスマスのゲームや歌を皆様で楽しんでいただきました。クリスマスケーキも豪華で、まずはホールごと皆様にご披露したのですが「すごいね」「美味しそう」ととてもよろこんでいただきました。			

○デイサービス ご利用者様 お楽しみ行事一覧

[illegible]

やわらぎの里・ぷらす館（医務室）

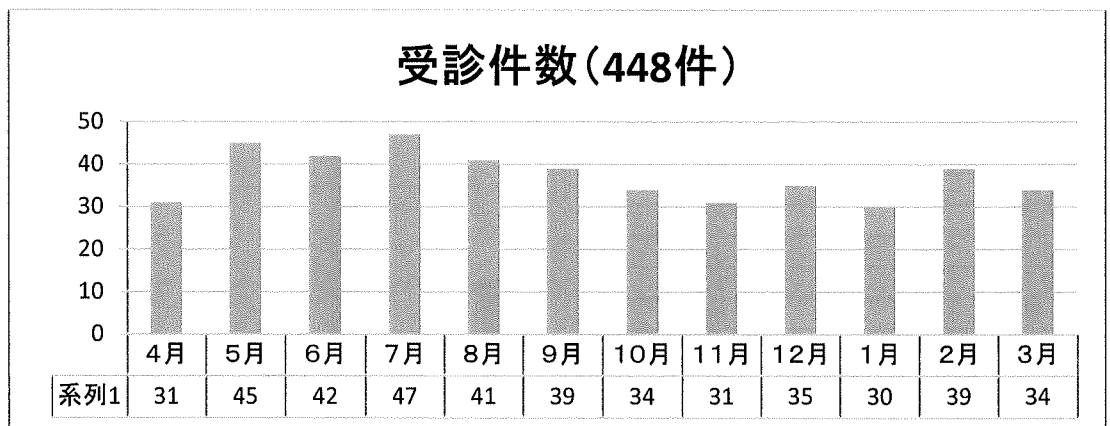
令和6年度 総括

医療状況

月別受診件数

受診件数

4月	31
5月	45
6月	42
7月	47
8月	41
9月	39
10月	34
11月	31
12月	35
1月	30
2月	39
3月	34
合計	448

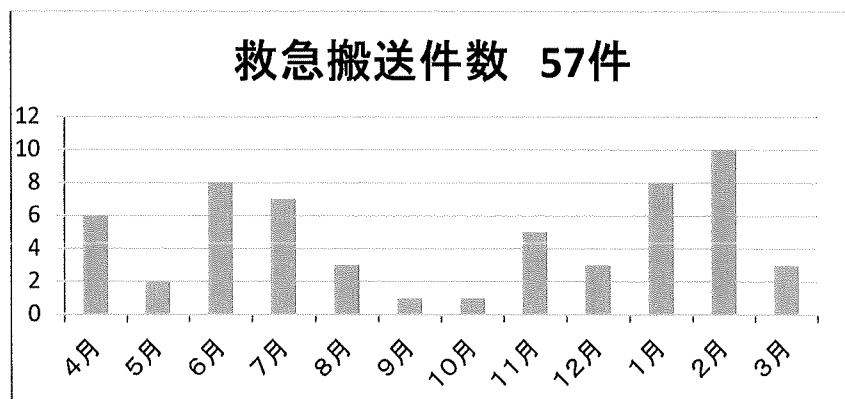


月別受診内訳	外科	内科	整形	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	心療内科	脳外科	胃腸交換	その他
4月	0	11	7	1	4	1	3	0	3	0	1
5月	1	17	6	3	6	2	8	0	1	1	0
6月	0	15	10	2	2	1	9	0	3	0	0
7月	2	15	11	2	5	1	5	0	5	0	1
8月	1	10	10	3	2	0	10	1	2	0	2
9月	0	12	13	1	5	0	3	0	4	0	1
10月	4	10	7	4	1	0	4	0	3	0	1
11月	0	13	3	1	5	0	5	0	2	1	1
12月	2	14	7	3	2	0	3	0	4	0	0
1月	2	17	1	4	3	0	1	0	2	0	0
2月	1	20	7	2	4	0	1	0	3	0	1
3月	1	11	2	5	5	0	1	0	4	0	5
合計	14	165	84	31	44	5	53	1	36	2	13

その他は耳鼻科、形成外科、婦人科、乳腺等を含みます。

救急搬送件数

4月	6
5月	2
6月	8
7月	7
8月	3
9月	1
10月	1
11月	5
12月	3
1月	8
2月	10
3月	3
合計	57

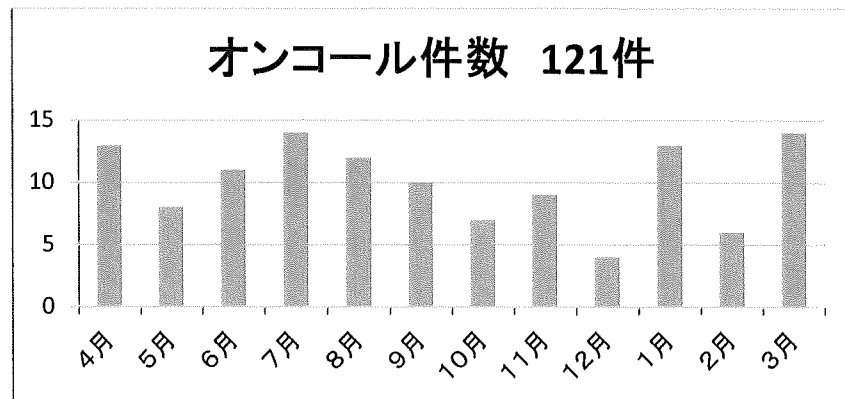


救急搬送内訳

熱発	19
転倒(骨折・外傷)	9
酸素濃度低下	18
呼吸、意識不良	6
心肺停止	1
嘔吐・誤嚥	0
血圧低下	1
その他	3
合計	57

オンコール件数

4月	13
5月	8
6月	11
7月	14
8月	12
9月	10
10月	7
11月	9
12月	4
1月	13
2月	6
3月	14
合計	121

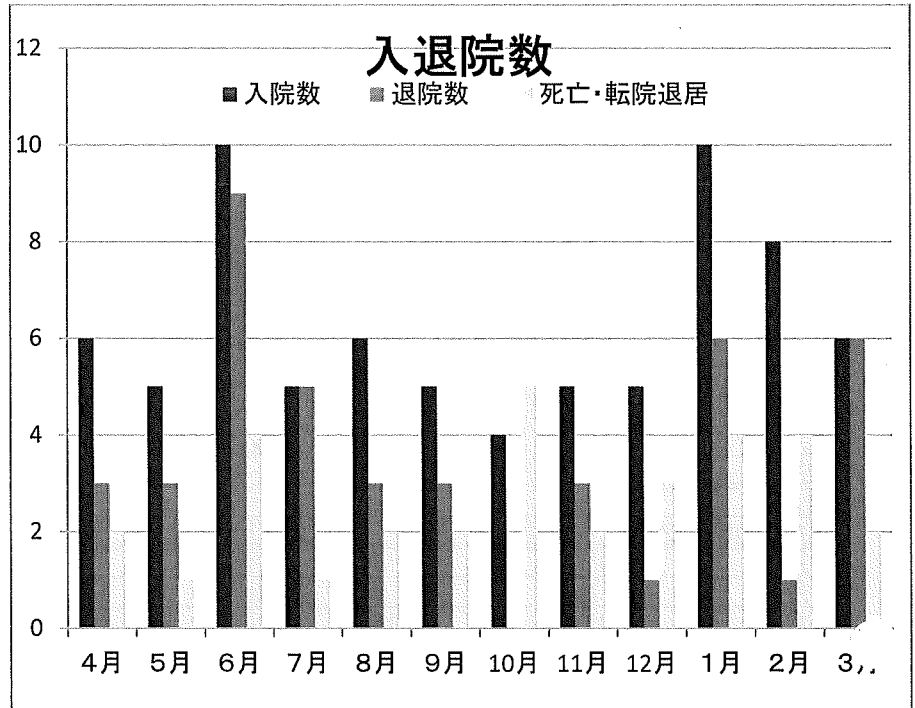


オンコール件数内訳

転倒	64
薬関係	6
熱発	16
嘔吐	11
心肺停止	1
その他	23
合計	121

	入院数	退院数	死亡・転 院退居
4月	6	3	2
5月	5	3	1
6月	10	9	4
7月	5	5	1
8月	6	3	2
9月	5	3	2
10月	4	0	5
11月	5	3	2
12月	5	1	3
1月	10	6	4
2月	8	1	4
3月	6	6	2
合計	75	43	32

医療処置対象者	
胃瘻	1
尿バルン	1
在宅酸素	0
インスリン	1
人工肛門	1



医療状況 前年度・今年度の比

	令和5年度	令和6年度
受診	514	448
オンコール	129	121
救急搬送	52	57
入院	74	75
退院	53	43
退居	25	32
心肺停止	3	1
診療情報提供書	128	121
歯科往診(口腔診査)	832	995
(治療)	171	299

<総括>

1. 受診件数について

昨年度の受診総数より66件の減少を認めました。受診科では例年通り内科が圧倒的に多かったものの昨年度より26件の減少でした。全体的に他科も減少しています。増加した科として皮膚科39件脳外科14件の増加あり、理由としては皮膚科では火傷による継続受診、脳外科は転倒による受診でした。減少した理由としてはカラー歯科クリニックの介入や心療内科往診開始により外部受診が減った事があげられます。

2. 救急搬送について

昨年度より5件増加でした。内訳は発熱が12件増加し関連する酸素飽和度の低下では変化なしでした。件数では57件ですが内訳で特養だけでなくショートステイ10件、デイサービス2件あり中には在宅医より救急要請し受診の指示があった事もありました。年々ショートステイではロングの利用者様が増え体調不良での対応が増えていきます。受診先としては近隣での対応への受け入れがスムーズにできて早期対応により病院へ繋ぐ事が出来ていたと思われます。

3. オンコールについて

昨年度に比べ8件の減少でした。内容的には昨年度と同様で転倒(ずり落ちも含む)、発熱が多くありました。転倒については20件の増加でしたが発熱、嘔吐など他減少していました。オンコール体制については22時以降の入居主任級だけでなく相談員やリーダー級の協力、又夜勤のEPAや特定技能の職員でも少しずつ対応ができました、言葉の問題から家族様への連絡が必要な場合は他フロアの夜勤者へ協力を得るなど体制も其々が協力し合い、対応でき又医務側への情報共有もスムーズにできていたのではないかと感じます。

4. 入退院数・ご退居について

昨年度に比べ入院数は1名増加しただけですが退院数は10名と少なく、退居(転院・死亡を含む)が7名と増加していました。既往疾患にもよりますが入居されても数日で入院となり、医療ニーズが高くなることで療養型へ転院や1ヶ月も経たないうちに再入院になるケースが多くありました。月によっては入退院、退居の申し出が目まぐるしい時がありました。以前と比較するとご入居者様の状態も高齢というだけでなく、既往疾患の中でも心疾患の方が多く医療ニーズが高い方が安定にて入居される状況が多くなってきているように感じました。

5. 人員などその他

デイサービスではこれまで3名の看護師で勤務していましたが現在は1名と特養からの日替わり応援にて回している状況です。今年度は年齢的などところで退職となる看護師がいましたが人員的には安定しています。特養からのデイサービスへの応援については両方を行き来する負担もあると思いますが皆が少しでも働きやすいように業務改善等を行い長く勤められるような環境作りに努力していきたいと思えます。

又、今年度はふらす館にとってご家族様の希望もあり初めての看取り対応を実施しました。看取り開始して10日程でしたがご家族様のご理解、ご協力のもと、又介護職員の頑張りで施設での看取り、お見送りをさせて頂けたことは改めて命の尊さを学ぶ上でもとても良い経験になったと思えます。引き続き今回の看取りでの振り返りを行いながら次へ繋げていけるようにしたいと考えます。

感染対策委員会 総括

- (1) 感染対策委員会として年4回(2月・5月・8月・11月)開催しました。今年度も特に問題なく開催できました。内容として標準予防策アンケートの実施、ノロウイルス感染を想定した嘔吐時の処理の仕方や感染症の小テストの実施、手洗いチェッカーを使用した正しい手洗い方法の確認を行いました。多くある感染症の中でコロナやインフルエンザウイルス感染症については周囲の情報を気にしながら、高齢者施設で日々、感染が広がりやすい状況にある事を認識し、感染被害をいかに最小限で食い止めることが出来るかを念頭に対応してきました。その一つとして感染症の「感染源を持ちこまない」「持ち込ませない」「広げない」を基本とし職員間の情報共有を行い感染対策に努めました。更にコロナについては2類から5類への変更に伴いやわらぎの里 感染対策委員会により職員やご入居者様、ご利用者様が感染した際の対応について変更時には共有できるように書面配布し意識付けに心掛けました。
- (2) 施設内での職員への感染対策の取り組みとして普段から「手洗い」「マスクの着用」は元より定期的な換気と職員同士、ご入居者様同士の関わり方で「3密」にならないように心がけるよう継続して声掛けを行いました。又ワクチン接種について令和6年度よりインフルエンザだけでなくコロナも定期接種となりましたがインフルエンザ程の接種はありませんが初回から未接種の方やDrストップ、入院中以外で65%程の方が接種されていました。
- (3) 施設内の感染状況としては令和6年1月に3階フロアでのコロナ感染、2階フロアでの感染性胃腸炎疑いでの嘔吐・下痢症状ありましたが以降落ち着いていました。7月に2階職員よりコロナ感染判明し感染対策開始しましたが2日後にご入居者様より発熱症状あり感染判明。2週間の感染対応で結果ご入居者様4名、職員3名の感染で終息しました。又同時期に同じ2階ショートステイでも発熱症状あり受診にてコロナ感染判明。時間の経過で発熱者続き結果として2週間の感染対応でご利用者様5名(うち3名入院)、職員3名の感染となりました。ショートステイでの感染はロング利用者で目が離せない方が多く帰宅も難しく施設にて感染対応となりました。11月には2階フロアよりご入居者様39℃台の発熱にて抗原検査しコロナ感染判明。一旦受診で対応も肺炎症状なく解熱剤処方で帰設。翌日夕方には酸素濃度の低下にて救急搬送し入院となりましたがその後、吸引が必要な状態で医療ニーズ高く退居となりました。今回は1名のみの感染でした。同月にデイサービスでもご利用者様よりコロナ感染情報連絡あり。日を追うごとに感染情報があり感染ルートとして利用者様のサ高住にて感染者ありの事。最終的にご利用者様9名、職員5名となりました。令和7年1月には3階、4階職員のコロナ感染判明し感染対応し3階はご入居者様6名、職員1名でした。4階はご入居者様5名(1名入院)、職員2名でした。以降も単発で特養職員のコロナ感染がありましたが拡がることはありませんでした。感染対応にあたってはゾーニングから居室対応に必要なゴミ箱、ポータブルトイレの設置、食事の提供の仕方、エプロンやマスクの補充など其々の部署が協力して対応できたのはとてもよかったと思っています。感染源を「持ち込まない」「持ち込ませない」「広げない」という所から職員も感染対応を経験していくことで落ち着いた行動がとれてきたのではないかと思います。これから先もコロナウイルスに関しては特に1年を通して発症すると思えます。これからも感染対策には十分気を付けて対応できたらと思います。
- (4) 病欠表の提出により職員や職員家族の体調不良からも感染症に対する施設内への持ち込みを防ぐきっかけになったり、早期の対応に繋がれたと感じます。職員の感染症に対する意識付けが出来ているのも発熱者があった際の対応など見て感じました。今年度のコロナウイルス感染者は職員39名、家族19名、インフルエンザ感染者は職員2名、家族7名でした。感染症対応については不明な点があれば日々の業務の中で早期に情報共有が出来、適切な対応が出来るように今後も務めていきたいと思っています。

事故報告及び出来事報告(R6年4月～R7年3月)

種別	対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
骨折	受診	2		1										3
	経過観察													0
打撲・捻挫・脱臼	受診		1	1	2							1	2	7
	経過観察	4	1	4	2	2	3	1	1	1	1			20
切傷・擦過傷	受診				1				2	1			2	6
	経過観察		3	1	4	3	1	6	1	2	1			22
異食・誤嚥	受診													0
	経過観察													0
やけど	受診		1			1								2
	経過観察													0
その他の外傷	受診													0
	経過観察													0
食中毒	受診													0
	経過観察													0
感染症・結核の伝染	受診													0
	経過観察													0
スタッフの法令違反、不祥事	受診													0
	経過観察													0
誤薬・服薬忘れ	受診													0
	経過観察	1			1		1	1		2		1	2	9
その他(外傷なし)	受診						1							1
	経過観察	4	10	6	1	1	7		6	12	9	2	6	64
発生後、受診総数		2	2	2	3	1	1	0	2	1	0	1	4	19
発生後、経過観察総数		9	14	11	8	6	12	8	8	17	11	3	8	115
計		11	16	13	11	7	13	8	10	18	11	4	12	134

総括

前年度と比較し、事故件数は約30件減少しております。特に転倒等により骨折された方が、令和5年度の10件から、3件に減少しましたが、転倒自体は増加しております。

事故防止委員会の中で、多職種、他部署の職員が様々な事故を多角的な角度から検証し、再発防止策の経過や効果を話し合いました。また、どのような研修が職員が求め、吸収できるか検討し、危険予知トレーニングや再発防止につながる事故報告書の研修を行いました。

事故を未然に防ぐためには、ご入居者様一人一人の生活史や体調の変化をこまめに観察や記録をとり、各職種で情報共有を図りながら分析していくことが重要です。これからも事故防止委員会を中心に研修等を重ね、ご入居者様が安全に過ごして頂けるように努めていきます。

身体拘束防止委員会 総括

令和6年度 身体拘束対象者数一覧表

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ベッド柵による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミトンによる拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柵の固定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抑制ベルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つなぎ服着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

総括

令和6年度においても身体拘束ゼロに向けて身体拘束適正化委員会で取り組み、身体拘束の件数は0件でした。委員会の中では、事例を上げ身体拘束に替わる安全確保のための代替支援の方法について多職種で話し合いを行ったり、センサーやベッド柵の使用適正化に向けて協議を行いました。また、全職員対象の身体拘束適正化、虐待防止の研修を行い身体拘束についての知識の向上に努めました。各職員が日頃のケアの振り返りを行うきっかけにもなるとともに、虐待が起きやすい環境について未然に防ぐことが出来るよう取り組みました。今後も引き続き身体拘束の件数を継続して0件とすると共に、ご入居者様の安心と安全をご提供できるよう質の高いケアの実現に尽力していきます。

やわらぎの里 西多田

＜ 令和 6 年 度 ＞

(自)令和6年4月1日 ～ (至)令和7年3月31日



介護老人福祉施設運営事業〈特別養護老人ホーム〉

1 潤いある当たり前の生活の継続

- (1) 令和6年度の事業目標として掲げていた「多角的な支援の提供」を達成するために各部署が連携し、日々のケアの見直しやレクリエーション・行事などお楽しみの提供に取り組みました。また定期的に更新するアセスメントシートに基づき多職種でケアプランを見直すことで、その方らしい生活を実現するための個別ケアの提供に努めました。
令和7年度も「我が家のようにくつろいでいただける場所」により近づくよう取り組みを継続し、潤いのある当たり前の生活を送っていただけるよう支援していきます。
- (2) 令和5年度に外部に公表を始めた看取りケアですが、令和6年度は「住み慣れた西多田で最期を迎えたい」というご本人、ご家族様の思いに応えるべく、各部署が一丸となって2名の方を見送らせていただくことができました。令和7年4月1日時点で看取りケアの対象の方は11名で、ご本人の体調やご意向に合わせ、穏やかに生活していただけるよう支援しています。令和7年度も「その方らしい最期」を迎えていただけるようご家族様とも連携し、定期的な対象者のカンファレンス、看取り委員会でのケアの検討、研修の開催、ご逝去後のデスカンファレンスを重ね、より良い看取りケアの提供に努めます。

2 組織力の強化

各フロアの2ユニットの統括役として配置したブロック長を中心にケア内容の検討やレクリエーション等、ご入居者様の健康と潤いある生活を目指した取り組みを進めてくれています。
また、ブロック長が介護に対するより深い知識を習得し、日々のケアに活かせるよう外部研修を受講し全体的な介護力の底上げに取り組みました。受講したブロック長が指導役となりスタッフへの教育を進め、全体の高い技術と知識の習得を目指します。
施設全体として組織力のさらなる強化を目指して部署間の連携をさらに強化し密な情報共有を行うことで、ご入居者様の生活がより安定したものになるよう努めます。

3 身体拘束廃止と虐待防止及び法令遵守

引き続き身体拘束ゼロの実現に向けて取り組みを進めていますが、現状は身体拘束3要件(切迫性、非代替性、一時性)を満たすと判断された数名のご入居者様についてはご本人様、ご家族様の同意のもと必要最低限の範囲で実施している状況です。身体拘束という行為がご入居者様のQOL(生活の質)を著しく損ない、精神的及び身体的機能を低下させるため容易に実施してはならないという共通認識を施設全体として有していますが、未だ解除が実現していません。
令和7年度も定期的なカンファレンスを実施し観察と見守り等の工夫を進めながら、身体拘束ゼロを実現するための取り組みを継続します。

4 安定経営の継続

令和6年度のご退居は23名。平均稼働率は98.98%、平均生活率は93.85%でした。令和5年度と比較しご退居は減少し、稼働率、生活率はやや増加しましたが、いまだ目標値には至っていませんので、令和7年度は目標を達成するべく取り組みます。その為にもより丁寧な相談対応や居宅のケアマネジャー様、近隣の病院、老健との密な情報共有を行い、待機者確保とスムーズな入居につなげます。食欲不振や誤嚥性肺炎等の理由による入院からのご退居も多くみられたため、食事摂取時のポジショニング、口腔ケア等、日頃の予防を重視し多職種が連携しながら健康管理を行っていきます。

5 地域の中の施設の役割

看護師が中心となって地域交流スペースで月2回開催している「暮らしの保健室」では体操で体を動かしたり、健康・介護に関するお困りごとをお伺いし介護サービスに繋ぐなど、施設と地域とのつながりを強めるための取り組みを行っています。今後も気軽に立ち寄っていただける憩いの場として継続していきます。また、イオンによる週2回の移動販売は、ご利用者様だけでなく近隣の方にも活用していただいております。今後も地域の中の施設として何ができるかを模索しながら、その役割が果たせるよう取り組んでまいります。

やわらぎの里 西多田 ご入居者様の概況報告

特別養護老人ホーム(令和7年3月末日現在)

年 齢

男性	85.64歳
女性	90.28歳
全体	88.12歳

最高齢者	106歳
最低齢者	67歳

介 護 度

1階	2階	3階	全体
3.65	3.40	3.83	3.62

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	2	6	35	42	15	100
比率	2.0%	6.0%	35.0%	42.0%	15.0%	100.0%

介護保険負担限度額

	第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
人数	4	10	10	27	49	100
比率	4.0%	10.0%	10.0%	27.0%	49.0%	100.0%

保険者

川西市	78人	78.0%	尼崎市	0人	0.0%
能勢町	0人	0.0%	福知山市	1人	1.0%
猪名川町	3人	3.0%	交野市	0人	0.0%
神戸市	1人	1.0%	箕面市	0人	0.0%
伊丹市	0人	0.0%	くすのき	0人	0.0%
宝塚市	6人	6.0%	明石市	1人	1.0%
池田市	1人	1.0%	大阪市	2人	2.0%
豊中市	2人	2.0%	枚方市	1人	1.0%
姫路市	1人	1.0%	堺市	1人	1.0%
加古川市	0人	0.0%	大東市	0人	0.0%
西宮市	1人	1.0%	三木市	1人	1.0%
八尾市	0人	0.0%	合計	100人	100.0%

○特養ご入居者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年3月27日～4月23日	春の喫茶
実施フロア	喫茶カウンターを使用し、洋菓子店で購入したケーキと特養主任が準備する飲み物を提供する。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 93名
普段のおやつとは違った豪華なケーキと淹れたてのコーヒーで喫茶店の雰囲気を楽しんでいただきました。コーヒーをおかわりされる方もおられました。		
実施日	令和6年4月8日～13日	お花見ドライブ
実施フロア	近隣をドライブし車窓から桜の花を見て楽しんでいただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 85名
清和台から猪名川町をドライブし車窓からお花見をしていただきました。途中、桜と菜の花が咲く場所では、「きれいねえ」と歓声が上がりました。		
実施日	令和6年4月19日	いちごパフェ
実施フロア	スタッフがいちごパフェを作り、おやつとして提供する。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 18名
いちごやかステラ、生クリームでパフェを作って召し上がっていただきました。普段なかなか食べる機会のないいちごを見て喜んでくださいました。		
実施日	令和6年4月25日	ミニカップ麺&ポテトスープ
実施フロア	お好きなミニカップ麺を選んでいただきおやつとして提供する。	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 38名
色々な種類のミニカップ麺の中を見て「どれにしようかなあ」と笑顔で選んでおられました。普通形態の食事が摂れない方にはポテトスープを楽しんでいただきました。		
実施日	令和6年5月23日	フルーチェ
実施フロア	フルーチェを作り召し上がっていただく。	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 35名
牛乳で手軽に作れるフルーチェを提供しました。口当たりもよく、おかわりされる方もおられました。		
実施日	令和6年5月25日～31日	お茶会
実施フロア	抹茶と練り切りを用意し、お茶会の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 95名
スタッフがたてた抹茶と練りきりを召し上がっていただきました。近隣の和菓子屋で購入した練り切りがとてもおいしいと喜んでいただけました。		

実施日	令和6年5月29日	チョコレートケーキ
実施フロア	豆腐、おからパウダーを使い、スタッフ手作りのチョコレートケーキを提供する。	
特養3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数19名		
材料を合わせ、電子レンジで調理するとユニット内がチョコレートの香りに包まれました。できあがったケーキはふわふわで、みなさま喜ばれていました。		
実施日	令和6年6月13日	駄菓子バイキング
実施フロア	懐かしい駄菓子を準備し、好きなものを選んでいただく。	
特養3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数18名		
いろんな種類の駄菓子の中から迷いながら選んでおられました。「なつかしいお菓子やわ」と喜んでいただけました。		
実施日	令和6年6月23日	バナナパフェ
実施フロア	ヨーグルト、アイスクリーム、バナナでパフェを作り提供する。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数18名		
スタッフがバナナパフェを作って召し上がっていただきました。ヨーグルトとアイスクリームが特に好評でした。		
実施日	令和6年6月24日	瀬戸内レモンミルクプリン
実施フロア	お取り寄せしたレモンミルクプリンをおやつとして提供する。	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数39名		
さっぱりとしたプリンで喜ばれていました。普段甘いものは召し上がらないご入居者様にも講評でした。		
実施日	令和6年8月9日～30日	流しそうめん
実施フロア	毎年恒例の流しそうめんでは季節を感じていただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数95名		
毎年恒例の行事で、そうめんをすくえない方も見学という形で参加していただきました。普段はお箸を使用されない方もお箸で上手にすくっておられました。		
実施日	令和6年8月20日	100歳お誕生日会
実施フロア	100歳を迎えられたご入居者様のお祝い会を行う。	
特養2階Bユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：有)参加人数10名		
獅子舞やお誕生日祝いの歌、ご本人のピアノ演奏で100歳のお祝いを行いました。ご家族様、同ユニットのご入居者様にも参加していただき、温かい会になりました。		

実施日	令和6年8月18日	もものパフェ
実施フロア	季節の果物を使ったパフェを作り、おやつとして提供する。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数18名		
桃、フルーチェ、クッキーでパフェを作りました。「桃がおいしい」と喜ばれていました。		
実施日	令和6年8月22日	カルピスカき氷
実施フロア	スタッフ手作りのカルピスカき氷を楽しんでいただく。	
特養CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数18名		
カルピス、ヨーグルト、はちみつを混ぜて凍らせ、かき氷を作りました。さっぱりとした口当たりが好評でした。		
実施日	令和6年8月23日	プリンアラモード
実施フロア	果物や生クリーム、アイスクリームでプリンを飾り付け、提供する。	
特養3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数19名		
果物や生クリーム、アイスクリーム、プリンとボリュウムのあるプリンアラモードでしたが、あっという間に召し上がっておられました。		
実施日	令和6年9月5日	花火大会
実施フロア	夏の風物詩の花火を楽しんでいただく。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数18名		
夕食後のひととき、手持ち花火と吹上花火を準備し、屋外で花火を楽しんでいただきました。「わあきれい」「やっぱり夏は花火やね」と喜んでいただきました。		
実施日	令和6年9月15日	敬老会
実施フロア	マツケンに扮したスタッフが各ユニットをまわり、マツケンサンバを披露した後プレゼントの靴下を贈呈する。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数96名		
マツケンに加え女装した男性スタッフがマツケンサンバに合わせて登場すると、歓声があがりみなさま笑顔で楽しんでおられました。プレゼントの靴下も喜んでいただきました。		
実施日	令和6年9月17日	ティラミス風のおやつ
実施フロア	スタッフ手作りのティラミス風おやつを楽しんでいただく。	
特養3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数17名		
ヨーグルト、チーズ、ビスケット、インスタントコーヒーで作ったティラミス風のおやつを召し上がっていただきました。「めずらしいおやつやね」「意外とおいしい」との声がありました。		

実施日	令和6年9月22日	プルプルタッパーチョコムース
実施フロア	スタッフ手作りのチョコムースを楽しんでいただく。	
特養3階ABユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 17名
湯煎したチョコレートをゼラチンでかため、フルーツで飾ったおやつを作りました。かたさもちょうど良く、おかわりされる方もおられました。		
実施日	令和6年10月22日	秋祭り
実施フロア	スタッフが焼きたこやきや、魚釣りゲーム等で秋祭りの雰囲気を楽しんでいただく。	
特養2階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 有)		参加人数 39名
魚釣りや輪投げなどのゲームをご家族様もいっしょに楽しんでいただきました。スタッフがたこ焼きを焼く様子をご覧になり、「おいしそうやね」「食べるのが楽しみ」と喜んでいただけました。事務所スタッフが仮装で登場し盛り上げました。		
実施日	令和6年10月27日	秋祭り
実施フロア	焼きそば、チョコバナナ、たこせんなどの屋台を準備し、秋祭りの雰囲気を楽しんでいただく。	
特養3階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 有)		参加人数 36名
フロア全体が秋祭りの雰囲気になり、屋台のメニューを楽しまれていました。ソフト食提供の方には管理栄養士がソフト食の焼きそばを手作りし、召し上がっていただきました。仮装した事務所スタッフとご入居者様とで寸劇を披露し喜んでいただきました。		
実施日	令和6年11月27日～30日	秋の喫茶
実施フロア	エントランスを利用し、近隣の店で購入した和菓子・洋菓子とお好きなお飲み物で喫茶店の雰囲気を楽しんでいただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 95名
和菓子・洋菓子の中から好きなものを選んでいただき、ドリップコーヒーとともに提供しました。主任がコーヒーを入れるとエントランスがコーヒーの香りに包まれ、喫茶店の雰囲気を楽しんでいただくことができました。		
実施日	令和6年12月21日～22日	クリスマス会
実施フロア	フロアごとにクリスマス会を開催し楽しんでいただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 95名
各フロアでクリスマス会を企画しました。ゲームやデザートを楽しんでいただいたあと、サンタやトナカイに扮したスタッフがプレゼントをお渡ししました。記念撮影も行い、喜んでいただくことができました。		
実施日	令和6年12月28日	フラワーアレンジメント
実施フロア	お正月用の生花を活着ていただき、新年を迎える準備をする。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 37名
毎年恒例のフラワーアレンジメントで楽しんでいただきました。花材も多く、みなさま慣れた手つきで個性豊かな作品ができあがりました。面会に来られたご家族様も喜ばれていました。		

実施日	令和6年12月30日	もちつき
実施フロア	スタッフ、ご入居者様、ご家族様でもちつきを行い、正月に飾る鏡もちを作る。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 有)		参加人数 95名
フロアごとにデイルームに集まり、できる方には杵を持ってついていただきました。みなさまの「よいしょ」のかけ声で盛り上がりました。今回はご家族様にも参加していただき、写真撮影も行いました。		
実施日	令和7年1月1日	お屠蘇
実施フロア	管理職が和装で各ユニットに行き、ご入居者様にお屠蘇を振る舞う。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 95名
和装の3名がご入居者様のもとに行き、一人ずつお屠蘇を振る舞いました。ほとんどの方がお酒を召し上がり、お正月気分を味わっていただきました。記念撮影も盛り上がりました。		
実施日	令和7年1月20日	インドネシアのおやつ(コラク)
実施フロア	バナナ、サツマイモ、黒砂糖を使ったインドネシアのおやつを手作りし、おやつをして提供する。	
特養3階CDユニット		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18名
インドネシアスタッフが協力して母国のおやつを作ってくれました。味、形態とも食べやすく、みなさまも「おいしいね」と喜んでくださいました。		
実施日	令和7年2月2日	節分豆まき
実施フロア	毎年恒例の節分行事で、季節感を味わっていただく。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 95名
職員が扮した赤鬼、青鬼に紅白の玉を投げ、豆まきを楽しんでいただきました。普段はあまりお話しされない方が大きな声を出して玉を投げる姿もありました。		
実施日	令和7年2月15日	白玉ぜんざい
実施フロア	スタッフ手作りの白玉ぜんざいをおやつとして提供する。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18名
寒い季節に甘くて温かいおやつを提供し、温まっていたことができました。ご入居者様のリクエストにお応えして白玉の数を多くしたので喜ばれていました。		
実施日	令和7年2月27日	インドネシアのおやつ(コラク)
実施フロア	バナナ、サツマイモ、黒砂糖を使ったインドネシアのおやつを手作りし、おやつをして提供する。	
特養1階		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 17名
インドネシアスタッフが協力して母国のおやつを作ってくれました。味、形態とも食べやすく、みなさまも「おいしいね」と喜んでくださいました。		

実施日	令和7年3月18日～29日	春の喫茶(前期)
実施フロア	喫茶カウンターを利用して、各フロアで「春の喫茶」を開催する。	
特養		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 54名
特養主任が淹れたてコーヒーとデザートでご入居者様をおもてなしました。4月には後半の部を開催予定です。		

入居計画委員会 総括 資料

①入居待機者数(令和7年3月31日現在)

計 136名の待機者の内訳

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
10	15	45	37	29

②月別入退居者数

5年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	4	1	2	96.33%
		3		
5月	4	2	1	95.35%
		3		
6月	2	0	2	98.37%
		2		
7月	2	3	0	97.26%
		3		
8月	2	2	0	97.65%
		2		
9月	3	1	3	97.07%
		4		
10月	4	0	1	97.10%
		1		
11月	0	1	0	98.50%
		1		
12月	2	0	1	99.71%
		1		
1月	2	2	3	97.55%
		5		
2月	2	2	1	95.17%
		3		
3月	3	2	0	96.16%
		2		
計	30	30		
年平均	2.50	2.50		97.19%

6年度

月	入居	退居	御逝去	月別入居率
4月	3	2	1	95.80%
		3		
5月	5	0	1	97.58%
		1		
6月	2	2	1	99.53%
		3		
7月	2	2	0	99.39%
		2		
8月	4	4	1	98.48%
		5		
9月	3	1	1	98.10%
		2		
10月	2	0	1	99.45%
		1		
11月	0	0	0	100.00%
		0		
12月	2	2	1	99.65%
		3		
1月	2	1	0	99.71%
		1		
2月	1	1	0	100.00%
		1		
3月	1	1	0	100.00%
		1		
計	27	23		
年平均	2.25	1.91		98.97%

短期入所生活介護施設運営事業〈ショートステイ〉

1 安心して過ごせる生活環境の提供

コロナ禍の期間は送迎時やご利用中の検温、マスク着用、密の回避、手指消毒等ご利用者様やご家族様にもご協力をお願いし、感染対策に注力しました。令和6年度は感染対策を継続しつつ、安心して過ごしていただけるようご本人の生活リズムや生活環境を大きく変えないよう配慮し、ご利用中の転倒やケガ等のリスクが回避できるような環境を整えました。今後も安心・安全な生活環境の提供に努め、信頼される事業所を目指します。

2 住まいと変わらぬ生活の継続

在宅生活を基盤とすることご利用者様にとって、ショートステイでの過ごし方が普段の生活と変わらず継続されることは、一日でも長く住み慣れた我が家で暮らすことにつながります。令和6年度も生活相談員が中心となりその方のニーズを捉え、日々のケアにつなげることでショートステイ利用に対する不安が払拭できるよう努めました。精神面でのフォローが必要なご利用者様や老老介護の方、介護者が疾患を抱えているケースが増えてきており、ご家族様も含めた支援が求められています。令和7年度もお一人おひとりの個性やリズムに合ったサービスを提供し、集団機能訓練やレクリエーションを通じてお楽しみやできる喜びを感じていただけるよう取り組みます。

3 チーム力の強化

認知症や医療ニーズの高いご利用者様が増えてきている中で、ブロック長、リーダーが中心となりそれぞれの方に合ったケアの組み立てを行い、安心して過ごしていただけるサービスの提供に努めました。スタッフ間の情報共有を確実なものにし、日々のサービス提供に反映したことで、ショートステイ利用に不安を感じておられるご利用者様、ご家族様からも「安心して任せられる」事業所として認めていただいております。令和7年度はスタッフ個々の力を更に伸ばしチーム力を強化することで、前年度以上に地域の中の信頼される事業所として認められるよう努めます。

4 安定した経営の維持、継続

令和6年度の年間平均稼働率は88.23%で令和5年度と比較し約0.7%下降する結果となりました。何とか目標は達成できましたが令和7年度は更に上昇させるべく、空室情報の発信や緊急利用、定期利用、長期利用などの積極的な受け入れを行い、ご利用者様、ご家族様、ケアマネジャー様との信頼関係をより強固なものにしながら、ニーズに合わせた柔軟かつスピーディーな対応を行います。また、月2回のお取り寄せスイーツの提供、外部講師を招いてのフラワーアレンジメント、自宅でもバランス良い食事を摂っていただくための弁当販売、ご家族様の負担軽減のためのリハビリパンツ・パッド販売もご好評いただいております。今後もご利用者様、ご家族様に喜んでいただける取り組みを充実させることで目標稼働率を達成し、安定した経営の維持、継続を目指します。

○ショートステイ ご利用者様 お楽しみ行事一覧

実施日	令和6年4月17日	プリンアラモード
実施フロア	スタッフが作ったプリンアラモードをおやつとして提供する。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18名
フルーツ、生クリームで飾ったプリンをお出しすると、「見た目もおおいしそうやわ」と好評でした。		
実施日	令和6年4月24日	春の喫茶
実施フロア	特養主任が淹れたコーヒーとケーキで喫茶店の雰囲気を楽しんでいただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 14名
盛り付けるケーキ皿も普段とは違うものを用意しカフェ風に盛り付けました。「コーヒーがいつもと違っておいしいわ」と喜んでいただけました。		
実施日	令和6年5月13日	フルーツポンチと屋外散歩
実施フロア	順番に屋外の散歩に案内し、その後フルーツポンチをお出しする。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18名
気候も良く、屋外の散歩を楽しんでいただきました。サイダー入りのフルーツポンチは「さっぱりしていておいしいわ」と喜ばれていました。		
実施日	令和6年6月9日	炊き込みご飯とみそ汁
実施フロア	昼食に炊き込みご飯を作り、数種類用意したインスタントみそ汁の中から好きなものを選んでいただき提供する。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18名
市販の炊き込みご飯の素とインスタントみそ汁で、いつもとは違う昼食を提供させていただきました。炊き込みご飯が特に好評で、おかわりされる方もおられました。		
実施日	令和6年7月10日	パンケーキ
実施フロア	スタッフ手作りのパンケーキをおやつとして提供する。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 17名
ホットプレートでパンケーキを焼き始めると、「いい匂いやね」「昔はよく作ったわ」とお話しされていきました。フルーツとアイスクリームで飾り付けをして提供しました。		
実施日	令和6年8月23日	流しそうめん
実施フロア	毎年恒例の流しそうめんを楽しんでいただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 19名
毎年恒例となっている流しそうめんで、みなさまお箸を使って上手にすくってくださいました。すくったそうめんは昼食の一品として召し上がっていただきました。		

実施日	令和6年9月15日	敬老会
実施フロア	マツケンに扮したスタッフが各ユニットをまわり、マツケンサンバを披露した後プレゼントの靴下を贈呈する。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 17名
マツケンに加え女装した男性スタッフがマツケンサンバに合わせて登場すると、歓声があがりみなさま笑顔で楽しんでおられました。プレゼントの最中も喜んでくださいました。		
実施日	令和6年9月25日	ミニ運動会
実施フロア	玉入れ、魚釣りゲームで体を動かしていただき、おやつはおとりよせスイーツを提供する。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18名
4グループに分かれて玉入れ、魚釣りゲームを行いました。玉入れは大いに盛り上がりました。競技のあとはおとりよせスイーツを楽しんでいただきました。		
実施日	令和6年11月29日	出前寿司
実施フロア	事前に注文をとり音羽寿司の出前で、ご希望のお寿司を昼食として召し上がっていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 16名
握り寿司やちらし寿司などお好みのお寿司とインスタントのお吸い物を召し上がっていただきました。どちらも好評でした。		
実施日	令和6年12月22日	クリスマス会
実施フロア	ゲームやスタッフの出し物でクリスマスの雰囲気を楽しんでいただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 17名
サンタクロースやトナカイに扮したスタッフがゲームや出し物を披露したあと、クリスマスプレゼントをお渡しして楽しんでいただきました。おやつにクリスマスケーキも提供しました。		
実施日	令和6年12月28日	フラワーアレンジメント
実施フロア	お正月用のフラワーアレンジメントで季節を感じていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 7名
お正月に施設内に飾るお花を活けていただきました。花材も豪華で真剣に取り組まれ、素晴らしい作品ができあがりました。		
実施日	令和6年12月30日	もちつき
実施フロア	デイルームでもちつきを行い、できる方には参加していただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 18名
フロアごとにデイルームに集まり、できる方には杵を持ってついていただきました。みなさまの「よいしょ」のかけ声で盛り上がりました。		

実施日	令和7年1月1日	お屠蘇
実施フロア	管理職が和装で各ユニットに行き、ご入居者様にお屠蘇を振る舞う。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 17名		
和装の3名がご入居者様のもとに行き、一人ずつお屠蘇を振る舞いました。ほとんどの方がお酒を召し上がり、お正月気分を味わっていただきました。記念撮影も盛り上がりました。		
実施日	令和7年1月20日	お茶会
実施フロア	羊羹と抹茶を準備し、お茶会の雰囲気を楽しんでいただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 18名		
抹茶碗を準備し抹茶と羊羹を召し上がっていただきました。お取り寄せした羊羹が好評でした。		
実施日	令和7年2月2日	節分豆まき
実施フロア	毎年恒例の節分行事で、季節感を味わっていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 16名		
職員が扮した赤鬼、青鬼に紅白の玉を投げ、豆まきを楽しんでいただきました。普段はあまりお話しされない方が大きな声を出して玉を投げる姿もありました。		
実施日	令和7年2月14日	クレープ
実施フロア	移動販売のクレープを各々注文していただき、おやつとして提供する。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 17名		
各々がメニューを見て好きなクレープを選んでいただきました。ハーフサイズで大きさもちょうどよく、「おいしいわ」と好評でした。		
実施日	令和7年3月15日	お汁粉
実施フロア	スタッフ手作りのお汁粉を召し上がっていただく。	
ショートステイ		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無) 参加人数 19名		
市販のあんこを使用してお汁粉を作りました。白玉団子は工夫することで柔らかく仕上げることで、みなさまも安心して召し上がられました。		

通所介護運営事業〈デイサービス〉

1 安心して過ごせる生活環境の提供

コロナ禍の期間は送迎時やご利用中の検温、マスク着用、密の回避、手指消毒等ご利用者様やご家族様にもご協力をお願いし、感染対策に注力しました。ご利用者様にご負担をかけることとなりましたが、「安心して利用できる」とのお声もいただくことができました。令和7年度も感染対策は継続しつつ、ご本人の生活リズムを大きく変えないように配慮しながら細やかな体調観察を行い、小さな変化にも早めに気づき対応できるよう各職種間の連携を強化します。

2 在宅生活の継続を目指して

一日でも長く住み慣れた我が家で暮らしたいというご利用者様の思いを実現するために、施設内の各職種だけでなく他事業所とも連携し、それぞれの方に合ったサービスの提供に取り組みました。ご利用者様は認知症の方、医療的ケアが必要な方、精神面でのフォローが必要な方、生活面でのプラスアルファの支援が必要な方などニーズが多様化しています。今後もチームケアに関わるすべてのメンバーとの情報共有を密にしながらケアプランに基づいた通所介護計画書を作成し、自宅での変わらぬ暮らしが継続できるような支援に努めます。

3 活気ある生活のための機能訓練

昨年度に引き続き、様々な疾患をお持ちのご利用者様の身体状況やニーズを把握した上で個別機能訓練計画書を作成し、生き生きとした在宅生活が継続できるようなメニューの提案に努めました。定期的な居宅訪問を行うことで、ご家族様との信頼関係を構築しつつ、ご利用者様が在宅生活において必要な訓練内容を見極め、より効果的なメニューの選定を行うことで、できることが増える喜びを体感していただけるように取り組みました。体験に来られた方からの「レッドコードや歩行浴がよかった」という声を活かし、西多田の強みである「機能訓練」をアピールしていきます。令和7年度もご利用者様が生きがいを感じながら、健康な「からだ」「こころ」が継続できるようにサポートしていきます。

4 安定した経営の維持、継続

令和6年度の平均稼働率は80.54%で令和5年度と比較し約2%上昇する結果となりましたが、目標を達成することはできませんでした。令和7年度もご利用者様、ご家族様、ケアマネジャー様との信頼関係をより強固なものにし、それぞれの方のニーズに合わせて柔軟かつスピーディーな対応を継続することで目標達成を目指します。そのためにはチーム力の強化は必須であり、リーダーや生活相談員を中心として専門職としての知識・技術を向上させケアの質を高めることでご利用者様、ご家族様とより強い信頼関係が構築できるよう努めます。また、月2回のお取り寄せスイーツの提供、外部講師を招いてのフラワーアレンジメント、自宅でもバランス良い食事を摂っていただくための弁当販売、ご家族様の負担軽減のためのリハビリパンツ・パッド販売もご好評いただいております。今後もご利用者様、ご家族様に喜んでいただける取り組みを充実させることで目標稼働率を達成し、安定した経営の維持、継続を目指します。

○デイサービス ご利用者様 お楽しみ行事一覧

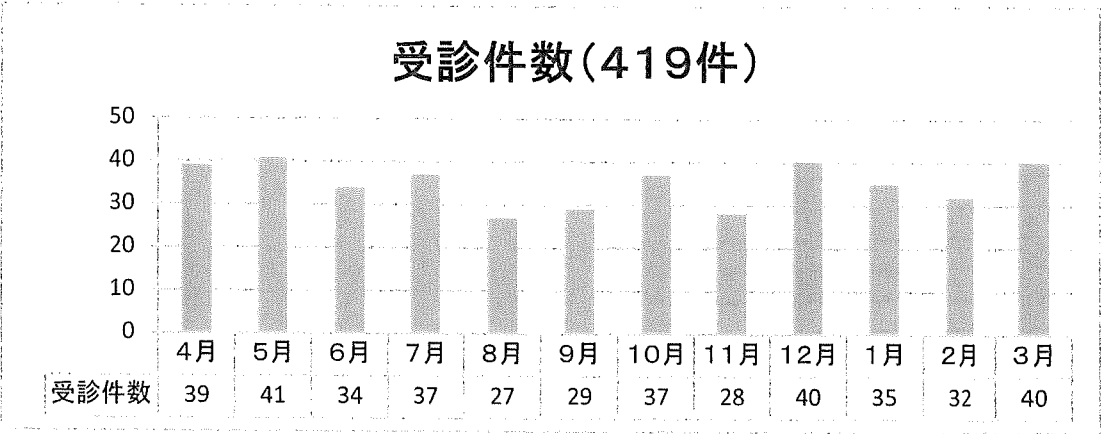
実施日	令和6年4月1日～6日	お花見ドライブ
実施フロア	期間中、午後から近隣のお花見スポットをドライブし桜を楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数73名		
数台の車に分かれ、清和台～猪名川町のお花見スポットをドライブしました。車窓から桜が見れて喜ばれていました。		
実施日	令和6年5月17日	餡プリン
実施フロア	洋菓子店で餡プリンを購入し、おやつとして提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数23名		
珍しい餡プリンを提供すると、「こんなプリンがあるんやね」と言われる方が多かったです。食べてみると程よい甘さで好評でした。		
実施日	令和6年6月15日	オリジナルピザ
実施フロア	ご利用者様と一緒にオリジナルピザを作り、ピザ窯で焼いて提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数24名		
ピザのトッピングはご利用者様にも参加していただきました。マルゲリータとデザートピザの2種類の味を楽しんでいただきました。		
実施日	令和6年7月16日	出前寿司(音羽寿司)
実施フロア	あらかじめ選んでいたお寿司のメニューを昼食として提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数28名		
握り寿司やちらし寿司などお好みのお寿司を召し上がっていただきました。普段は小食の方も全部召し上がっておられました。		
実施日	令和6年9月9日	アイスクリーム
実施フロア	ハーゲンダッツのアイスクリームをおやつとして提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数25名		
ハーゲンダッツアイスを1人1個ずつお配りしました。「やっぱりおいしいわ」と好評でした。		
実施日	令和6年9月14日、15日	ピザ作り
実施フロア	ピザ釜を利用しマルゲリータ、デザートピザを作り、おやつとして提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)参加人数49名		
デザートピザは栗の甘露煮とマロンホイップでマロンピザを作りました。「珍しいピザやね」と喜んでいただきました。		

実施日	令和6年10月17日	マロンプリン
実施フロア	市販のマロンプリンをおやつとして召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 23名
シャトレーゼでマロンプリンを購入し提供しました。「栗やから秋らしくていいわ」と喜んでいただきました。		
実施日	令和6年11月15日	秋祭り
実施フロア	ゲームや駄菓子でお祭りの雰囲気を楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 26名
魚釣り、輪投げ、ストラックアウトのゲームを順番に楽しんでいただき、好きな駄菓子を選んでいただきました。最後はみなさんで炭坑節を歌って踊り、盛り上がりました。		
実施日	令和6年12月21日	クリスマス会
実施フロア	毎年恒例のクリスマス会で楽しんでいただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 26名
スタッフが出し物を披露し楽しんでいただきました。おやつにはクリスマスケーキを提供し、最後にはビンゴ大会で盛り上がりました。お帰りの際は「今日は楽しかったわ。ありがとう」と言ってくれる方もありました。		
実施日	令和7年1月4日、6日	新年の甘酒の振る舞い
実施フロア	毎年恒例の甘酒を、新年に振る舞う。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 25名
新年のお屠蘇の代わりとして甘酒を振る舞いました。毎年恒例の行事で「今年も美味しくいただけたわ」と喜ばれていました。		
実施日	令和6年2月3日	節分豆まき
実施フロア	毎年恒例の節分行事で、季節感を味わっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 25名
職員が扮した赤鬼、青鬼に紅白の玉を投げ、豆まきを楽しんでいただきました。お元気な方は立ち上がり、大きな声を出しながら玉を投げる姿もありました。		
実施日	令和7年2月14日	クレープの移動販売
実施フロア	元スタッフによるキッチンカーでのクレープの販売でお好みのクレープを召し上がっていただく。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加 : 無)		参加人数 27名
事前にメニューの中から選ばれていたお好みのクレープを召し上がっていただきました。元スタッフが来てくれたことで再会を喜ばれるご利用者様もおられました。		

実施日	令和7年3月18日	たこ焼き
実施フロア	おやつとしてアツアツのたこ焼きを提供する。	
デイサービス		
ご入居者様、ご家族様の声(ご家族様の参加：無)		参加人数 27名
冷凍たこ焼きを温め、おやつとして提供しました。「おいしい」と喜ばれ、おかわりされる方もおられました。		

やわらぎの里・西多田 医務室
令和6年度 総括
医療状況
月別受診件数

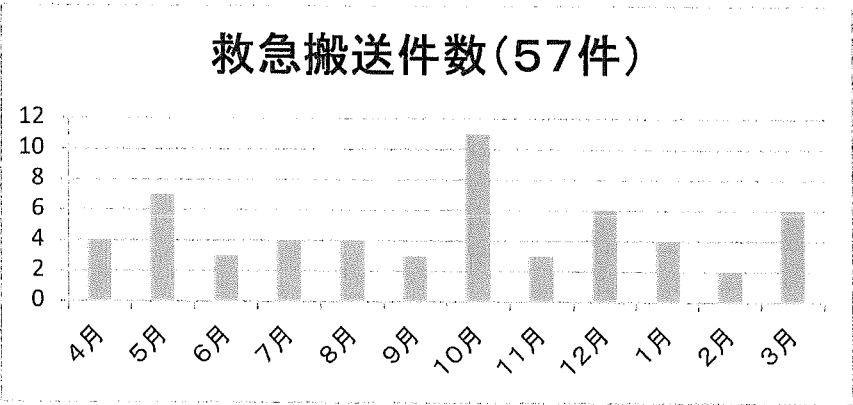
受診件数	
4月	39
5月	41
6月	34
7月	37
8月	27
9月	29
10月	37
11月	28
12月	40
1月	35
2月	32
3月	40
合計	419



月別受診内訳	外科	内科	整形	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	心療内科	脳外科	胃瘻交換	その他
4月	1	10	4	5	5	0	3	4	5	0	2
5月	1	16	7	5	2	0	3	3	2	1	1
6月	0	16	7	0	0	0	6	3	1	0	1
7月	2	11	6	2	4	0	3	4	4	0	1
8月	0	11	2	1	2	0	5	2	2	0	2
9月	0	13	4	0	1	0	4	3	1	1	2
10月	0	15	3	3	2	0	4	6	1	0	3
11月	1	7	4	1	3	0	2	6	2	1	1
12月	0	17	5	2	4	0	6	3	1	0	2
1月	0	12	4	4	2	0	5	3	4	0	1
2月	1	10	1	1	3	0	7	3	3	0	3
3月	2	8	3	3	4	0	6	5	6	1	2
合計	8	146	50	27	32	0	54	45	32	4	21

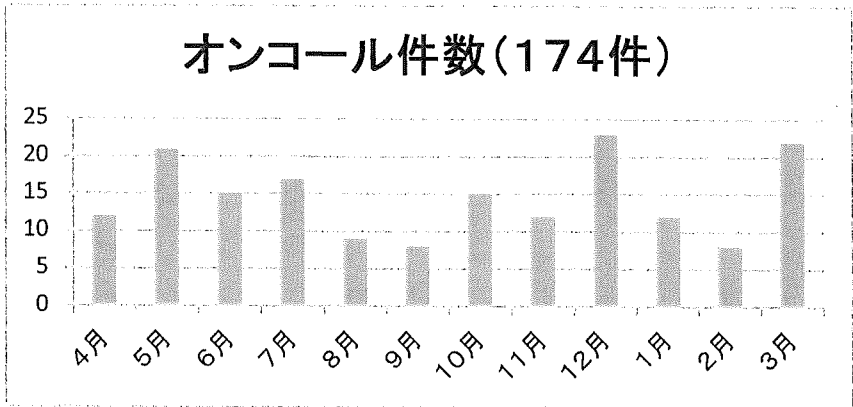
その他は耳鼻科、形成外科、婦人科、乳腺等を含みます。

救急搬送件数	
4月	4
5月	7
6月	3
7月	4
8月	4
9月	3
10月	11
11月	3
12月	6
1月	4
2月	2
3月	6
合計	57



救急搬送内訳	
熱発	12
吐血	3
転倒(骨折・外傷)	10
心筋梗塞	1
徐脈	2
呼吸・意識不良	22
痙攣	3
心肺停止	0
腰痛	3
嘔吐	1
合計	57

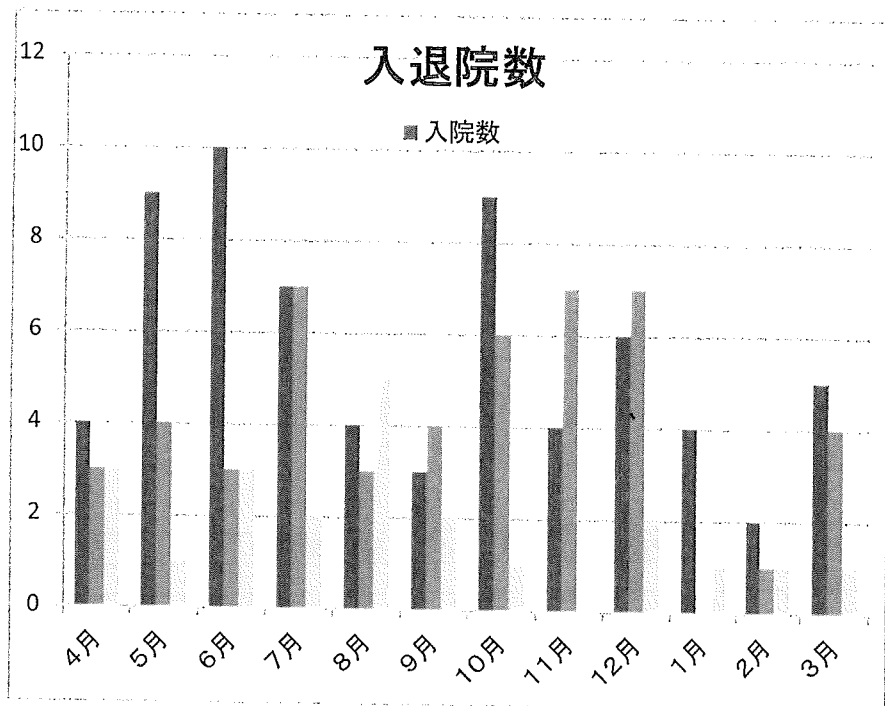
オンコール件数	
4月	12
5月	21
6月	15
7月	17
8月	9
9月	8
10月	15
11月	12
12月	23
1月	12
2月	8
3月	22
合計	174



オンコール件数内訳	
転倒	49
薬関係	5
熱発	30
その他	90
合計	174

	入院数	退院数	死亡・転 院退居
4月	4	3	3
5月	9	4	1
6月	10	3	3
7月	7	7	2
8月	4	3	5
9月	3	4	2
10月	9	6	1
11月	4	7	0
12月	6	7	2
1月	4	0	1
2月	2	1	1
3月	5	4	1
合計	67	49	22

医療処置対象者	
胃瘻	4
尿バルン	3
在宅酸素	0
インスリン	2



医療状況 前年度・今年度の比

		R5年度	R6年度
受診		501	419
オンコール		151	174
入院		59	67
退院		40	49
退居		27	22
心肺停止		1	0
診療情報提供書		91	100
歯科往診	口腔ケア	907	993
	治療	228	236

<総括>

1. 受診件数について

受診総数は、昨年度と比較して82件減少しています。内科・整形外科・皮膚科・心療内科など外部へ受診されていたご入居者様が、続いている新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、昨年より、更に施設処方の希望が増え、受診件数が減った事と、精神科医師の定期往診が開始になった事、看取り対応のご入居者様が11名と増えており、嘱託医処方薬で対応できている事なども影響していると思われます。

発熱件数は、昨年63件から今年度44件と3割減少しています。尿路感染の繰り返し、突発的な発熱もありましたが、基本的な感染対策を継続した取り組みの成果もあり、新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症共に早期対応でき重症化することなく接触者のユニットのみで終息できていました。

2. 救急搬送について

総数では、昨年度より9件の増加となっています。酸素濃度・意識レベルの低下による搬送は、昨年度より7件増えており大動脈解離・心筋梗塞など病院へ搬送後にご逝去、心タンポナーデ・急性呼吸不全・肺癌増悪など重症化する事例もありました。熱発は、昨年より8件増えており内訳では、総胆管結石・腸炎・アデノウイルス感染などの診断を受けたご入居者様もいましたが、3名共に加療後軽快し帰設しています。

(SS)ご利用者様の利用中の熱発で2件退所、熱源不明で精査目的での入院もありましたが、検査・処置後

の帰設対応が、15件もあり、そのうち2件は、再度受診し入院となりました。

今後も、異常の早期発見・早期対応、受診のタイミングなど家族様へのタイムリーな情報提供を一層心がけていきます。

3. オンコールについて

昨年度より23件増えていますが、オンコールで出向いての対応は、1件のみでした。内訳では、転倒件数が12件、熱発が10件増えていました。熱発の主な内訳は、インフルエンザ感染1名、新型コロナウイルス感染3名、誤嚥性肺炎・尿路感染症・偽痛風、転倒で救急搬送・受診対応した際の骨折診断は、4件でした。転倒に関しては、認知機能・ADL低下があるご入居者様が徐々に増えてきている影響と考えます。

4. 入退院数・ご退去について

入院・退院については昨年度より入院が8件、退院は、9件増え、退居が5件減っています。異常を早期に発見し加療し帰設できた事、看取り対応のご入居者様が11名に増え、施設内でできる薬対応での加療ができていた事の影響があると考えます。ご逝去は、昨年度より7件減っていました。

摂食不良目的の入院に関しては、経口摂取が難しく昨年度同様に胃ろう造設での帰設が2件ありました。看取りで2名ご逝去され、最期まで発熱・褥瘡発生なく自然な経過でお見送りすることができました。

5. 感染症発生について

新型コロナウイルスが5類に移行後も、換気・手指消毒・正しいマスク着用・職員の健康チェック・免疫力アップ・コロナワクチンの有効性などを啓蒙した取り組みをしていますが、残念なことに特養内で6月・R7.3月に新型コロナウイルス感染症を発生させてしまいました。施設内での感染症発生は、感染源の持ち込みと思われる為、職員が感染に対する意識を更に向上した行動が定着できるような活動に努めていきます。

6. 人員などその他

人員は、昨年末まで安定して経過していましたが、年末に3月末での退職希望が3名重なり募集をかけましたが、応募がなく、以前退職した看護師に声をかけ2月よりパートで入職していただき、1名は退職取り下げ、退職希望のパート看護師は、勤務時間調整し常勤として継続勤務となり、3月末の退職は1名に留める事ができ、なんとか人員の確保ができました。

今年度も、新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症もあり、集合での研修ができない状況が続いておりオンライン研修を利用しより良い生活支援ができるよう医務の役割達成に今後も努力を積み重ねていきたいと考えています。ほのぼの介護ソフト入力については、定期的に、入力方法の統一について協議し、3月より入力のみに移行できています。

感染対策委員会 総括

1. 事業内容

委員会開催と内容

第1回:令和6年6月26日

1 ノロウイルス感染防止研修結果について

アンケート回収 110名

ノロウイルスの消毒濃度、手の消毒など再度伝達

2 コロナウイルス感染症について

5月時点でKP.2株やKP.3株が拡大感染力が強い可能性あり。

コロナ感染発症状況

第2回:令和6年9月25日

1 インフルエンザ感染状況について

インフルエンザが低調ながらだらだら流行している。

インフルエンザ対策

インフルエンザ予防接種予定

2 標準予防策チェック実施

第3回:令和6年12月25日

1 感染症発症状況について

インフルエンザ対策

インフルエンザ発症時のマニュアル一部変更

2 標準予防策チェックアンケート結果

3 感染症にかからない対策に関するアンケート結果

第4回:令和7年3月26日

1 感染症発症状況について

2 ノロウイルス予防研修について

2. 総括

新型コロナウイルスは、2020年1月に国内で初めて感染症患者が確認され、一昨年には5類に移行となりましたが、変異しながら感染の波が来ています。今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を継続、感染対策発信に合わせ注意喚起を行いました。

今年度は、クラスターの発生はありませんでしたが、6月に職員1名・ご入居者様4名、R7.3月に2階職員1名よりご入居者様4名へ感染、3階ご入居者様の家族様よりご入居者様ご夫婦が感染し同ユニットのご入居者様3名への感染がありました。

今年度、特養内で3回コロナ感染が発症した時以外では、職員のコロナ感染は、17名、(SS)ご利用者様のコロナ・インフル同時感染もあり、対象ユニットのご利用者様1名が感染しましたが、広がることなく終息できました。これは、日々の感染対策が、継続できていたと考えます。

インフルエンザ感染に関しては、12月からR7.1月にかけて職員5名、ご入居者様1名、(SS)ご利用者様4名が感染し、(SS)ご利用者様1名は、5日間感染隔離対応し他への感染なく終息できました。新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症共に、急な発熱時に即、抗原検査で確認し、早期に治療薬を服用できていた為、重症化することなく経過できていました。感染性胃腸炎は、施設内での発症はありませんでしたが、職員の胃腸炎報告は2名ありました。ご入居者様のいつもと違う状態を、早期に察知し適切な対応がとれるよう各職種と連携し、ご入居者様の安全・安心できる環境を提供できるよう努めていきます。

新型コロナウイルス感染発症から5年経過の振り返りとして感染対策発信、全部署へ感染症にかからない対策に関する意識調査を実施しました。意識調査のコメントに「今や年中感染症が流行っているので季節に関係なく対策が必要と思う」との言葉がありました。各自に振り返りと今後に向けても継続して感染対策が必要という注意喚起になったように感じています。職員一人一人に、日々の基本的な感染対策が定着し、感染症発生時、速やかな行動がとれるように、次年度も働きかけていきます。

事故報告及び出来事報告(R6年4月～R7年3月)

種別	対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
骨折	受診	1	1				1				1			4
	経過観察													0
打撲・捻挫・脱臼	受診		1								1			2
	経過観察	4		8	6	5	1	6	7	1	3	2	10	53
切傷・擦過傷	受診				1					1			2	4
	経過観察	1	4	2	6	1		3		2		2		21
異食・誤嚥	受診													0
	経過観察													0
やけど	受診													0
	経過観察													0
その他の外傷	受診													0
	経過観察	1												1
食中毒	受診													0
	経過観察													0
感染症・結核の伝染	受診													0
	経過観察													0
スタッフの法令違反、不祥事	受診													0
	経過観察	1								1				2
誤薬・服薬忘れ	受診													0
	経過観察	3	1	3				3		3	3	1	3	20
その他(外傷なし)	受診													0
	経過観察	5	5	3	1	3	6	3	4	7	6	3	4	50
発生後、受診総数		1	2	0	1	0	1	0	0	1	2	0	2	10
発生後、経過観察総数		15	10	16	13	9	7	15	11	14	12	8	17	147
計		16	12	16	14	9	8	15	11	15	14	8	19	157

次年度に向けて

昨年度事故総件数184件に対して本年度事故総件数は157件と事故総件数としては27件の減少となりました。骨折など受診を伴う大きな事故に関しては昨年度の20件に対して10件と半減となっております。事故総件数の約60%は、打撲や何らかの外傷を伴う転倒やベッド、車椅子からの滑落事故が占めておりますが、昨年度からの課題であった早期の事故後カンファレンスの開催と再発防止策の策定とその実施や周知徹底が円滑に行えた事により、同一入居者様の類似事故を抑制出来た事が事故総件数の減少に繋がったと考えます。しかしながら、通年の目標である薬関係の事故件数は、ほぼ横ばいと削減には至りませんでした。ショートステイの誤薬や服薬忘れ等が依然多い為、問題点の抽出と分析をカンファレンスを通じて明確にし、有効且つ持続的な再発防止策の立案、実施に一層の注力していく事を本年度の課題として取り組んで参ります。

また、近年増加しつつある外国人スタッフに対して、別途事故に関する研修を定期的で開催する等して外国人スタッフが事故の予防や発生時の対応について、日本人スタッフに比肩するスキルを身に付けられる様に取り組んでいく事で、事故の予防や適切な事故後対応を更に充実させて参ります。

身体拘束防止委員会 総括

身体拘束という行為は、ご入居者様の人権擁護の観点からも問題があるだけでなく、QOL(生活の質)を著しく損ない、精神的及び身体的機能を低下させてしまう危険性があり、決して容易に実施してはならないという共通認識を施設全体として有しております。

しかしながら、ご入居者様の生命又は身体が危険にさらされる場合など、「身体拘束ゼロへの手引き」(厚生労働省 身体拘束ゼロ作戦推進会議)にある「緊急やむを得ない場合」に該当するものについては、本人様もしくはご家族様より同意書を頂き拘束を実施している状況にあります。

ご入居者の生命を守る為にやむを得ず身体拘束を行う際にも身体拘束3要件を満たしているかの慎重な判断と実施期間中の月1回の経過観察を基にしたカンファレンスを確実に実施する事により、安易に身体拘束を継続せず、常に早期の解除を模索しております。

令和5年度末以降、新規の身体拘束は一切行っておらず、以前から継続的に拘束を実施している入居者様について前述の様な取り組みに努めてはおりますが、根本的な問題解決には至っておらず、代替案を策定し、一時解除後を実施しても短期間で再拘束を開始せざるを得ない状態に戻る状況が続いております。

今後も身体拘束ゼロの実現を諦めることなく、施設一丸となり取り組んで参ります。

令和6年度 身体拘束対象者数一覧表

[illegible]

